

C07C 非環式化合物または炭素環式化合物  
(高分子化合物 C 0 8 ; 電気分解または電気泳動法による有機化合物の製造 C 2 5 B 3 / 0 0 , C 2 5 B 7 / 0 0 )

注

( 1 ) このサブクラスにおいては、下記の用語は以下に示す意味で用いる：

“ 架橋 ” とは、オルト、ペリ、スピロ以外の少なくとも 1 個の結合の存在を意味する；

少なくとも 1 個の環原子を共有する 2 個の環は“ 縮合している ”、すなわち “ スピロ ” および “ 架橋 ” は縮合しているものとみなす；

“ 縮合環系 ” とは、すべての環が相互に縮合している環系のことである；

縮合環系の “ 環の数 ” とは、当該環系を 1 個の非環式鎖に変換するのに必要な切断の数に等しい；

“ キノン ” とは、6 員芳香環、もしくは 6 員芳香環からなる系(縮合していてもしていなくてもよい)を含有する化合物から誘導された化合物で、それは 6 員芳香環の 2 個または 4 個の C H 基を > C = O 基で置換し、さらにこれに対応してそれぞれ 1 個または 2 個の炭素 炭素二重結合を取り除き、炭素 酸素二重結合を含めて交互二重結合を有する環または環系を与えるように残りの炭素 炭素二重結合を再配置するものである；これは、アセナフトキノンおよびカンファーキノンはキノンとみなされないということを意味する。[ 5 ]

( 2 ) サブクラス C 0 7 C から C 0 7 K に適用するラストプレイス優先ルールを規定するクラス C 0 7 に続くクラス注 ( 3 ) に注意すること。[ 8 ]

( 3 ) 化合物の治療活性は、サブクラス A 6 1 P にさらに分類する。[ 7 ]

( 4 ) このサブクラスに分類するとき、クロマトグラフィーに関係する一般分野の主題事項に関する限り、グループ B 0 1 D 1 5 / 0 8 にも分類する。[ 8 ]

( 5 ) このサブクラスにおいては、ラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、プロセスはこのサブクラス内の最後の適切な箇所に分類する。[ 3 ]

( 6 ) このサブクラスにおいては、相反する指示がない限り、“ 第 4 アンモニウム化合物 ” は、対応する非 4 級窒素化合物として分類する。[ 5 ]

( 7 ) グループ C 0 7 C 1 / 0 0 ~ C 0 7 C 7 1 / 0 0 および C 0 7 C 4 0 1 / 0 0 ~ C 0 7 C 4 0 9 / 0 0 の化合物の分類については、他の指示または C 0 7 C 6 9 / 0 0 における C 0 7 C 6 9 / 7 1 2 のように細展開から絶対的に誘導される場合を除いて [ 5 ]

化合物は分子全体を考慮して分類する( rule of the “ whole molecule approach ” = “ 分子全体によるアプローチ ” の規則)；

化合物は互いに多重結合で結合された炭素原子を含有しないとき、飽和であるとみなされる；

化合物は互いに多重結合で結合された炭素原子( 6 員芳香環を含む ) を含有するとき、不飽和であるとみなされる。

( 8 ) グループ C 0 7 C 2 0 1 / 0 0 ~ C 0 7 C 3 9 5 / 0 0 の化合物、すなわち、官能基が “ ラストプレイスルール ” に従って決定された後の分類付与については、その化合物を下記の法則に従って分類する：

化合物は官能基が結合している炭素原子の性質に従って分類する；

炭素骨格とは、カルボキシル基の炭素原子を除く 1 個の炭素原子または互いに結合した炭素原子から成る一本の鎖である；炭素骨格は炭素以外の原子またはカルボキシル基の炭素原子との結合ごとに終結するものとみなす；

分子がいくつかの官能基を含有するときは、最初に決定された炭素骨格と同じ炭素骨格に結合している官能基のみについて検討する。

炭素骨格は、互いに多重結合によって結合する炭素原子を含まないとき、飽和であるとみなされる。

炭素骨格は、互いに多重結合によって結合する炭素原子( 6 員芳香環を含む ) を含有するとき、不飽和であるとみなされる。

[ 5 ]

サブクラス内の索引

炭素および水素のみを含有する化合物

製造 ..... 1/00, 2/00, 4/00, 5/00, 6/00

精製, 分離, 安定化 ..... 7/00

化合物

脂肪族 ..... 9/00, 11/00

環式脂肪族; 芳香族 ..... 13/00, 15/00

炭素およびハロゲンを含む水素を有するかまたは有しない化合物

製造 ..... 17/00

化合物

脂肪族 ..... 19/00, 21/00

環式脂肪族; 芳香族 ..... 22/00, 23/00, 25/00

炭素および酸素を含む水素またはハロゲンを有するかまたは有しない化合物

製造

2 クラス以上の含酸素化合物の同時製法 ..... 27/00

アルコール; フェノール ..... 29/00; 37/00

エーテルまたはアセタール; オキシ化合物 ..... 41/00; 45/00

キノン ..... 46/00

カルボン酸, その塩または酸無水物 ..... 51/00

カルボン酸エステル ..... 67/00

炭酸エステルまたはハロゲン酸エステル ..... 68/00

化合物

脂肪族的に結合した O H 基をもつもの ..... 31/00, 33/00

環式脂肪族的に結合した O H 基をもつもの ..... 35/00

芳香族的に結合した O H 基をもつもの ..... 39/00

エーテル類, アセタール, オルトエステル; アルデヒド; ケトン

..... 43/00; 47/00; 49/00

キノン ..... 50/00

カルボン酸

非環式 ..... 53/00, 55/00, 57/00, 59/00

環式 ..... 61/00, 62/00, 63/00, 65/00, 66/00

エステル ..... 69/00, 71/00

炭素および窒素を含む水素, ハロゲンまたは酸素を有するか

または有しない化合物

製造

アミン	209/00
ヒドロキシアミン, アミノエーテル, またはアミノエステル	213/00
アミノアルデヒド, アミノケトン, アミノキノン	221/00
アミノカルボン酸	227/00
カルボン酸のアミド	231/00
カルボン酸のニトリル	253/00
ヒドラジンの誘導体	241/00
炭素 窒素二重結合を含有する化合物, 例 . イミン, ヒドラゾン, イソシアナート	249/00, 263/00
カルバミン酸の誘導体	269/00
尿素または誘導体	273/00
グアニジンまたは誘導体	277/00
ニトロまたはニトロソ化合物, または硝酸もしくは亜硝酸のエステル	201/00
化合物	
炭素, または炭素と水素, に結合した窒素をもつもの	
アミン	211/00
ヒドロキシアミン; アミノエーテル; アミノエステル	215/00, 217/00, 219/00
アミノアルデヒド, アミノケトン, アミノキノン	223/00, 225/00
アミノカルボン酸	229/00
カルボン酸のアミド	233/00, 235/00, 237/00
1 個以上の炭素 窒素二重結合を含有する化合物, 例 . イミン	251/00
カルボン酸のニトリル	255/00
アミジン, イミノエーテル	257/00
ヒドロキサム酸	259/00
シアン酸またはイソシアン酸の誘導体	261/00, 265/00
カルボジイミド	267/00
カルバミン酸	271/00
尿素	275/00
グアニジン	279/00
ハロゲンに結合している窒素をもつもの	239/00
酸素に結合している窒素をもつもの	
ニトロまたはニトロソ化合物	205/00, 207/00
亜硝酸エステルまたは硝酸エステル	203/00
ヒドロキシルアミン	239/00
オキシム	251/00
他の窒素に結合している窒素をもつもの	
ヒドラジン, ヒドラジド	243/00
セミカルバジン酸エステル, セミカルバジド	281/00
アゾ化合物, ジアゾ化合物	245/00
ヒドラゾン, ヒドラジジン	251/00, 257/00
セミカルバゾン	281/00
N ニトロまたはN ニトロソ化合物	243/00
相互結合している 3 個の窒素原子鎖を含有するもの	
トリアジン	245/00
アジド	247/00
窒素を含有するその他の化合物	291/00
硫黄, セレンもしくはテルルとともに炭素を含有し水素, ハロ	

ゲン, 酸素もしくは窒素を有するかまたは有しない化合物

製造

硫酸またはスルホン酸の誘導体	303/00
メルカプタン, チオフェノール, スルフィドまたはポリスルフィド	319/00
スルホンまたはスルホキシド	315/00
化合物	
酸素に結合している硫黄をもつもの	
亜硫酸または硫酸のエステル	301/00, 305/00
スルホン酸または誘導体	309/00
スルフェン酸またはスルフィン酸, または誘導体	313/00
スルホン, スルホキシド	317/00
炭素に結合している硫黄をもつもの	
メルカプタン, チオフェノール, スルフィドまたはポリスルフィド	321/00, 323/00
チオアルデヒド, チオケトン	325/00
チオカルボン酸または誘導体	327/00
チオ炭酸または誘導体	329/00
チオシアナートまたはイソチオシアナート	331/00
チオカルバミン酸または誘導体	333/00
チオ尿素	335/00
チオセミカルバジドまたはチオセミカルバゾン	337/00
窒素に結合している硫黄をもつもの	
スルホン酸アミド	311/00
スルフェン酸アミド, スルフィン酸アミド, スルフェニルカルバマートまたはスルフェニル尿素	313/00
硫酸のアミド	307/00
硫黄を含有するその他の化合物	381/00
セレンを含有する化合物	391/00
テルルを含有する化合物	395/00
コレステロールの照射産物	401/00
少なくとも 4 個の炭素原子を有する不飽和側鎖をもつシクロヘキサンまたはシクロヘキセンの誘導体	403/00
プロスタグランジンまたは誘導体	405/00
過酸化物; パーオキシ酸	
製造	407/00
化合物	409/00

炭化水素 [ 3 ]

1/00	いずれも炭化水素でない 1 個またはそれ以上の化合物からの炭化水素の製造
1/02	・炭素の酸化物から ( 不明確な組成の液体炭化水素混合の製造 C 1 0 G 2 / 0 0 ; 合成天然ガスの製造 C 1 0 L 3 / 0 6 ) [ 5 ]
1/04	・一酸化炭素と水素とから
1/06	・有機化合物, 例 . 炭化水素, の存在下
1/08	・イソ合成
1/10	・一酸化炭素と水蒸気とから
1/12	・二酸化炭素と水素とから
1/20	・異種原子として酸素原子のみを含有する有機化合物を原料とするもの
1/207	・カルボニル化合物から [ 5 ]

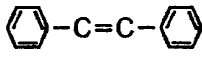
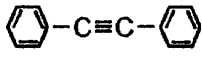
1/213	・ ・ ・ エステルの開裂によるもの [ 5 ]	2/42	・ ・ ディールス・アルダー反応以外の環化を伴うホモまたはコオリゴマー化 [ 3 ]
1/22	・ ・ 還元によるもの	2/44	・ ・ ・ 共役ジエンのみの [ 3 ]
1/24	・ ・ 水の脱離によるもの	2/46	・ ・ ・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]
1/247	・ ・ 環状エーテルの開裂によるもの [ 3 ]	2/48	・ ・ ・ 炭素 炭素三重結合を含有する炭化水素のみの [ 3 ]
1/26	・ 異種原子としてハロゲン原子のみを含有する有機化合物を原料とするもの	2/50	・ ・ ディールス・アルダー反応 [ 3 ]
1/28	・ ・ 閉環によるもの	2/52	・ ・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]
1/30	・ ・ 1つの分子からハロゲン化水素の脱離によるもの	2/54	・ 不飽和炭化水素の飽和炭化水素への付加または芳香環以外に不飽和結合をもたない6員芳香環を含有する炭化水素への付加によるもの [ 3 ]
1/32	・ 酸素またはハロゲン以外の異種原子を含有する化合物またはそれら異種原子を酸素またはハロゲンとともに含有する化合物を原料とするもの [ 3 ]	2/56	・ ・ 非環式炭化水素への付加 [ 3 ]
1/34	・ ・ ホスフィンとアルデヒドまたはケトンとの反応, 例 . ウィッティッヒ反応 [ 3 ]	2/58	・ ・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]
1/36	・ エステルの開裂によるもの ( C 0 7 C 1 / 2 1 3 , C 0 7 C 1 / 3 0 が優先 ) [ 3 , 5 ]	2/60	・ ・ ・ ・ ハライドを用いるもの [ 3 ]
2/00	少ない数の炭素原子を含有する炭化水素からの炭化水素の製造 [ 3 ]	2/62	・ ・ ・ ・ 酸を用いるもの [ 3 ]
2/02	・ 不飽和炭化水素相互の付加によるもの [ 3 ]	2/64	・ ・ 6員芳香環の炭素原子への付加 [ 3 ]
2/04	・ ・ 組成が明確な不飽和炭化水素のオリゴマー化で環化の生起しないもの [ 3 ]	2/66	・ ・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]
2/06	・ ・ ・ アルケンの, 例 . 1 個の炭素 炭素二重結合を有する非環式炭化水素 [ 3 ]	2/68	・ ・ ・ ・ ハライドを用いるもの [ 3 ]
2/08	・ ・ ・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]	2/70	・ ・ ・ ・ 酸を用いるもの [ 3 ]
2/10	・ ・ ・ ・ ・ 金属酸化物を用いるもの [ 3 ]	2/72	・ ・ 6員芳香環を含有する炭化水素中の非芳香族炭素原子への付加 [ 3 ]
2/12	・ ・ ・ ・ ・ 結晶性アルミノシリケートを用いるもの, 例 . 分子ふるい [ 3 ]	2/74	・ 水添を同時に伴う付加によるもの [ 3 ]
2/14	・ ・ ・ ・ ・ 無機酸を用いるもの ; 酸の塩または無水物を用いるもの [ 3 ]	2/76	・ 部分的な水素の脱離を伴う炭化水素の縮合によるもの [ 3 ]
2/16	・ ・ ・ ・ ・ 硫黄の酸 ; それらの塩 ; 硫黄酸化物 [ 3 ]	2/78	・ ・ 部分燃焼によるプロセス [ 3 ]
2/18	・ ・ ・ ・ ・ リンの酸 ; それらの塩 ; リン酸化物 [ 3 ]	2/80	・ ・ 電気的手段によるプロセス [ 3 ]
2/20	・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンの酸 ; それらの塩 [ 3 ]	2/82	・ ・ 酸化カップリング [ 3 ]
2/22	・ ・ ・ ・ ・ 金属ハライド ; それらの有機化合物との錯体 [ 3 ]	2/84	・ ・ ・ 接触の [ 3 ]
2/24	・ ・ ・ ・ ・ 金属を用いるもの [ 3 ]	2/86	・ 炭化水素と非炭化水素相互の縮合によるもの [ 3 ]
2/26	・ ・ ・ ・ ・ 水素化物または有機化合物を用いるもの ( C 0 7 C 2 / 2 0 が優先 ) [ 3 ]	2/88	・ ・ 成長反応および脱離反応によるもの [ 3 ]
2/28	・ ・ ・ ・ ・ イオン交換樹脂を用いるもの [ 3 ]	4/00	多い数の炭素原子を含有する炭化水素からの炭化水素の製造 [ 3 ]
2/30	・ ・ ・ ・ ・ 金属 炭素結合を含有するもの ; 金属水素化物 [ 3 ]	4/02	・ 単一の炭化水素または個々に成分の明らかな炭化水素混合物または通常ガス状の炭化水素留分の分解によるもの [ 3 ]
2/32	・ ・ ・ ・ ・ 錯体, 例 . アセチルアセトネート [ 3 ]	4/04	・ ・ 熱のプロセス [ 3 ]
2/34	・ ・ ・ ・ ・ 金属 炭化水素錯体 [ 3 ]	4/06	・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]
2/36	・ ・ ・ ・ ・ ホスフィン, アルシン, スチビン, ビスマシン [ 3 ]	4/08	・ 分子から脂肪族部分または環式脂肪族部分を離脱させることによるもの [ 3 ]
2/38	・ ・ ・ ジエンまたはアルキンの [ 3 ]	4/10	・ ・ 非環式炭化水素から [ 3 ]
2/40	・ ・ ・ ・ 共役ジエンの [ 3 ]	4/12	・ ・ 6員芳香環を含有する炭化水素から, 例 . プロピルトルエンからビニルトルエン [ 3 ]
		4/14	・ ・ ・ 芳香族 脂肪族結合における開裂 [ 3 ]
		4/16	・ ・ ・ ・ 熱のプロセス [ 3 ]
		4/18	・ ・ ・ ・ 接触のプロセス [ 3 ]
		4/20	・ ・ ・ ・ 反応系中で水素が生成するもの, 例 . 水蒸気から [ 3 ]
		4/22	・ 解重合によってもとの単量体を製造するもの, 例 . ジシクロペンタジエンからシクロペンタジエン [ 3 ]

- 4/24 ・多芳香族基置換脂肪族化合物における脂肪族 脂肪族結合の開裂によるもの, 例. 1, 4 ジフェニルブタンからスチレン [ 3 ]
- 4/26 ・多芳香環式化合物における縮合してない 6 員芳香環相互の結合の開裂によるもの, 例. ビフェニルからベンゼン [ 3 ]
- 5/00 同数の炭素原子を含有する炭化水素からの炭化水素の製造
- 5/02 ・水素添加によるもの
- 5/03 ・・非芳香族炭素 炭素二重結合の [ 3 ]
- 5/05 ・・・部分水添 [ 3 ]
- 5/08 ・・炭素 炭素三重結合の
- 5/09 ・・・炭素 炭素二重結合へ [ 3 ]
- 5/10 ・・6 員芳香環の
- 5/11 ・・・部分水添 [ 3 ]
- 5/13 ・・異性化を同時に伴うもの [ 3 ]
- 5/22 ・異性化によるもの ( 水素添加を同時に伴うもの C 0 7 C 5 / 1 3 )
- 5/23 ・・炭素 炭素不飽和結合の転位 [ 3 ]
- 5/25 ・・・炭素 炭素二重結合の移動 [ 3 ]
- 5/27 ・・炭化水素骨格における炭素原子の転位 [ 3 ]
- 5/29 ・・・環数は変化しないで環構成炭素原子数が変化するもの [ 3 ]
- 5/31 ・・・環数が変化するもの [ 3 ]
- 5/32 ・遊離水素の生成による脱水素によるもの [ 2 ]
- 5/327 ・・非芳香族炭素 炭素二重結合のみの生成 [ 3 ]
- 5/333 ・・・接触的プロセス [ 3 ]
- 5/35 ・・炭素 炭素三重結合のみの生成 [ 3 ]
- 5/367 ・・6 員環から 6 員芳香環の生成, 例. エチルシクロヘキサンの脱水素によるエチルベンゼンの製造 [ 3 ]
- 5/373 ・・異性化を同時に伴うもの [ 3 ]
- 5/387 ・・・6 員環以外の環状化合物から 6 員芳香環を含有する化合物の製造 [ 3 ]
- 5/393 ・・・6 員芳香環への環化を伴うもの, 例. n ヘキサンの脱水素によるベンゼンの製造 [ 3 ]
- 5/41 ・・・・接触的プロセス [ 3 ]
- 5/42 ・水素受容体による脱水素によるもの [ 2 ]
- 注
- ( 1 ) このグループにおいては:
- 触媒の還元が同時に起こる場合, その触媒は受容体の一部を形成しているものとみなす; [ 3 ]
- 還元された受容体を取得するために添加する化合物は受容体に属するものとみなさない。 [ 3 ]
- ( 2 ) 反応系中で受容体が生成する場合または反応系中で還元された受容体の再生が生起する場合の受容体はその添加物質に基づいて分類される。 [ 3 ]
- 5/44 ・・ハロゲンまたはハロゲン含有化合物を受容体として用いるもの [ 2 ]
- 5/46 ・・硫黄または硫黄含有化合物を受容体として用いるもの [ 2 ]
- 5/48 ・・酸素を受容体として用いるもの [ 2 ]
- 5/50 ・・有機化合物を受容体として用いるもの [ 2 ]
- 5/52 ・・・炭化水素を受容体として用いるもの, 例. 炭化水素の不均化, すなわち  $2C_nH_p \rightarrow C_nH_{p+q} + C_nH_{p-q}$  [ 2 ]
- 5/54 ・・C 0 7 C 5 / 4 4 ~ C 0 7 C 5 / 5 0 のグループの 2 以上に分類される少なくとも 2 つの化合物を含有する受容体を用いるもの [ 3 ]
- 5/56 ・・・酸素およびハロゲンまたはハロゲン含有化合物のいずれか一方のみを含有するもの [ 3 ]
- 6/00 再分配反応による異なった数の炭素原子を含有する炭化水素からの炭化水素の製造 [ 3 ]
- 6/02 ・不飽和炭素 炭素結合における複分解反応 [ 3 ]
- 6/04 ・・炭素 炭素二重結合における [ 3 ]
- 6/06 ・・・環式炭素 炭素二重結合における [ 3 ]
- 6/08 ・飽和炭素 炭素結合における転化によるもの [ 3 ]
- 6/10 ・・6 員芳香環を含有しない炭化水素における [ 3 ]
- 6/12 ・・6 員芳香環を含有する炭化水素のみの [ 3 ]
- 7/00 炭化水素の精製, 分離または安定化; 添加剤の使用 [ 5 ]
- 7/04 ・蒸留によるもの [ 3 ]
- 7/05 ・・補助化合物を用いるもの [ 3 ]
- 7/06 ・・・共沸蒸留によるもの
- 7/08 ・・・抽出蒸留によるもの
- 7/09 ・分別凝縮によるもの [ 3 ]
- 7/10 ・抽出によるもの, 例. 液剤を用いる液状炭化水素の精製または分離 [ 3 ]
- 7/11 ・吸収によるもの, 例. 液剤を用いるガス状炭化水素の精製または分離 [ 3 ]
- 7/12 ・吸着によるもの, 例. 固体吸着剤を用いる炭化水素の精製または分離 [ 3 ]
- 7/13 ・・分子ふるい技術によるもの [ 2 , 3 ]
- 7/135 ・ガスクロマトグラフィーによるもの [ 3 ]
- 7/14 ・結晶化によるもの; 結晶の精製または分離 [ 3 ]
- 7/144 ・薄膜を用いるもの, 例. 選択的透過 [ 3 ]
- 7/148 ・少なくとも 1 つの化合物の化学的变化をひきおこす処理によるもの [ 3 ]
- 7/152 ・・付加物または錯体を生成することによるもの [ 3 ]
- 7/156 ・・・銅塩の溶液を用いるもの [ 3 ]
- 7/163 ・・水素添加によるもの [ 3 ]

7/167	・ ・ ・ 炭素 炭素三重結合を含有する化合物の除去のためのもの [ 3 ]	13/04	・ ・ 3 員環をもつもの
7/17	・ ・ 酸または硫黄酸化物を用いるもの [ 3 ]	13/06	・ ・ 4 員環をもつもの
7/171	・ ・ ・ 硫酸または発煙硫酸 [ 7 ]	13/08	・ ・ 5 員環をもつもの
7/173	・ ・ 有機金属化合物を用いるもの [ 3 ]	13/10	・ ・ ・ シクロペンタン環をもつもの
7/177	・ ・ 混合物中の少なくとも 1 つの化合物の選択的低重合または選択的高重合によるもの [ 3 ]	13/11	・ ・ ・ ・ 不飽和炭化水素基で置換されたものの [ 2 ]
7/20	・ 添加剤の使用, 例, 安定化のためのもの [ 3 ]	13/12	・ ・ ・ シクロペンテン環をもつもの
9/00	非環式飽和炭化水素	13/15	・ ・ ・ シクロペンタジエン環をもつもの [ 3 ]
9/02	・ 1 ~ 4 個の炭素原子を有するもの [ 5 ]	13/16	・ ・ 6 員環をもつもの
9/04	・ ・ メタン ( 汚泥の処理による製造 C 0 2 F 1 1 / 0 4 ) [ 5 ]	13/18	・ ・ ・ シクロヘキサノール環をもつもの
9/06	・ ・ エタン	13/19	・ ・ ・ ・ 不飽和炭化水素基で置換されたものの [ 2 ]
9/08	・ ・ プロパン	13/20	・ ・ ・ シクロヘキセン環をもつもの
9/10	・ ・ 4 個の炭素原子を有するもの [ 5 ]	13/21	・ ・ ・ ・ メンタジエン [ 2 ]
9/12	・ ・ ・ イソブタン	13/23	・ ・ ・ シクロヘキサジエン環をもつもの [ 3 ]
9/14	・ 5 ~ 1 5 個の炭素原子を有するもの	13/24	・ ・ 7 員環をもつもの
9/15	・ ・ 鎖状炭化水素 [ 3 ]	13/26	・ ・ 8 員環をもつもの
9/16	・ ・ 分枝鎖状炭化水素	13/263	・ ・ ・ シクロオクテンまたはシクロオクタジエン環をもつもの [ 3 ]
9/18	・ ・ ・ 5 個の炭素原子を有するもの [ 5 ]	13/267	・ ・ ・ シクロオクタトリエンまたはシクロオクタテトラエン環をもつもの [ 3 ]
9/21	・ ・ ・ 2 , 2 , 4 トリメチルペンタン [ 3 ]	13/271	・ ・ 9 ~ 1 1 員環をもつもの [ 3 ]
9/22	・ 1 6 個以上の炭素原子を有するもの	13/273	・ ・ 1 2 員環をもつもの [ 3 ]
11/00	非環式不飽和炭化水素	13/275	・ ・ ・ 不飽和の 1 2 員環 [ 3 ]
11/02	・ アルケン	13/277	・ ・ ・ ・ シクロドデカトリエン環をもつものの [ 3 ]
11/04	・ ・ エチレン [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	13/28	・ 多環式炭化水素またはそれらの非環式炭化水素誘導体
11/06	・ ・ プロペン	注 非隣接二重結合を最大数有する縮合 6 員環のみからなる環系は 1 5 / 0 0 のグループに分類する。 [ 3 ]	
11/08	・ ・ 4 個の炭素原子を有するもの [ 5 ]		
11/09	・ ・ ・ イソブテン [ 3 ]	13/32	・ ・ 縮合環をもつもの
11/10	・ ・ 5 個の炭素原子を有するもの [ 5 ]	13/34	・ ・ ・ 4 個の炭素原子を含有するビスシクロ環系をもつもの
11/107	・ ・ 6 個の炭素原子を有するもの [ 5 ]	13/36	・ ・ ・ 5 個の炭素原子を含有するビスシクロ環系をもつもの
11/113	・ ・ ・ メチルペンテン [ 3 ]	13/38	・ ・ ・ 6 個の炭素原子を含有するビスシクロ環系をもつもの
11/12	・ アルカジエン	13/39	・ ・ ・ 7 個の炭素原子を含有するビスシクロ環系をもつもの [ 3 ]
11/14	・ ・ アレン	13/40	・ ・ ・ ・ ビシクロヘプタン環構造をもつものの [ 3 ]
11/16	・ ・ 4 個の炭素原子を有するもの	13/42	・ ・ ・ ・ ビシクロヘプテン環構造をもつものの [ 3 ]
11/167	・ ・ ・ 1 , 3 ブタジエン [ 3 ]	13/43	・ ・ ・ ・ ・ 非環式不飽和炭化水素基により置換されているもの [ 3 ]
11/173	・ ・ 5 個の炭素原子を有するもの [ 3 ]	13/44	・ ・ ・ 8 個の炭素原子を含有するビスシクロ環系をもつもの
11/18	・ ・ ・ イソブレン [ 3 ]	13/45	・ ・ ・ 9 個の炭素原子を含有するビスシクロ環系をもつもの [ 3 ]
11/20	・ ・ ・ 1 , 3 ペンタジエン [ 3 ]	13/465	・ ・ ・ ・ インデン ; 完全または部分水素化されたインデン [ 3 ]
11/21	・ アルカトリエン ; アルカテトラエン ; 他 のアルカポリエン [ 2 , 3 ]	13/47	・ ・ ・ 1 0 個の炭素原子を含有するビスシ
11/22	・ 炭素 炭素三重結合を含有するもの		
11/24	・ ・ アセチレン ( 湿式法によるアセチレン ガスの製造 C 1 0 H ) [ 5 ]		
11/28	・ 炭素 炭素二重結合と炭素 炭素三重結 合とを含有するもの		
11/30	・ ・ ブテニン		
13/00	6 員芳香環以外の環を含有する環式炭化水 素またはそれらの環と 6 員芳香環とを含有 する環式炭化水素		
13/02	・ 単環式炭化水素またはそれらの非環式炭 化水素誘導体		

- 口環系をもつもの [ 3 ]
- 13/48 ・・・・完全または部分水素化されたナフタレン [ 3 ]
- 13/50 ・・・・デカヒドロナフタレン [ 3 ]
- 13/52 ・・・・アズレン；完全または部分水素化されたアズレン [ 3 ]
- 13/54 ・・・・3 個の縮合環を有するもの
- 13/547 ・・・・少なくとも 1 個の環は 6 員環でなく，他の環は高々 6 員環であるもの [ 3 ]
- 13/553 ・・・・インダセン；完全または部分水素化されたインダセン [ 3 ]
- 13/567 ・・・・フルオレン；完全または部分水素化されたフルオレン [ 3 ]
- 13/573 ・・・・3 個の 6 員環をもつもの [ 3 ]
- 13/58 ・・・・完全または部分水素化されたアントラセン [ 3 ]
- 13/60 ・・・・完全または部分水素化されたフェナントレン [ 3 ]
- 13/605 ・・・・架橋環系をもつもの [ 3 ]
- 13/61 ・・・・架橋インデン，例．ジシクロペンタジエン [ 3 ]
- 13/615 ・・・・アダマンタン [ 3 ]
- 13/62 ・・・・4 個以上の縮合環をもつもの
- 13/64 ・・・・架橋環系をもつもの [ 3 ]
- 13/66 ・・・・4 個の環を含有する縮合環系 [ 3 ]
- 13/68 ・・・・架橋環系をもつもの [ 3 ]
- 13/70 ・・・・少なくとも 2 個の互に縮合していない芳香環系が，その芳香環の非隣接位置において炭素鎖により形成された環構造で結合された縮合環系をもつもの，例．シクロファン [ 3 ]
- 13/72 ・・・・スピロ炭化水素 [ 3 ]
- 15/00 環部分として 6 員芳香環のみを含有する環式炭化水素 [ 2 ]
- 15/02 ・単環式炭化水素
- 15/04 ・・・・ベンゼン
- 15/06 ・・・・トルエン
- 15/067 ・・・・ $C_8H_{10}$  炭化水素 [ 3 ]
- 15/073 ・・・・エチルベンゼン [ 3 ]
- 15/08 ・・・・キシレン [ 3 ]
- 15/085 ・・・・イソプロピルベンゼン [ 3 ]
- 15/107 ・・・・少なくとも 6 個の炭素原子を含有する飽和側鎖をもつもの，例．洗剤アルキレート [ 3 ]
- 15/113 ・・・・各々少なくとも 6 個の炭素原子を含有する少なくとも 2 個の飽和側鎖をもつもの [ 3 ]
- 15/12 ・非縮合多環式炭化水素
- 15/14 ・・・・すべてのフェニル基が直接結合しているもの [ 3 ]
- 15/16 ・・・・1 個の非環式炭素原子に結合する少なくとも 2 個のフェニル基を含有するもの
- 15/18 ・・・・少なくとも 1 個の次式で示される基を



- 15/20 ・縮合多環炭化水素
- 15/24 ・・・・2 個の環を含有するもの
- 15/27 ・・・・3 個の環を含有するもの [ 3 ]
- 15/28 ・・・・アントラセン [ 3 ]
- 15/30 ・・・・フェナントレン [ 3 ]
- 15/38 ・・・・4 個の環を含有するもの [ 3 ]
- 15/40 ・不飽和炭化水素基で置換されたもの [ 3 ]
- 15/42 ・・・・単環式のもの [ 3 ]
- 15/44 ・・・・炭素 炭素二重結合を含有する炭化水素置換基 [ 3 ]
- 15/46 ・・・・スチレン；環がアルキル化されたスチレン [ 3 ]
- 15/48 ・・・・炭素 炭素三重結合を含有する炭化水素置換基 [ 3 ]
- 15/50 ・・・・非縮合多環式のもの [ 3 ]
- 15/52 ・・・・次式で示される基を含有するもの
-  [ 3 ]
- 15/54 ・・・・次式で示される基を含有するもの
-  [ 3 ]
- 15/56 ・・・・縮合多環式のもの [ 3 ]
- 15/58 ・・・・2 個の環を含有するもの [ 3 ]
- 15/60 ・・・・3 個の環を含有するもの [ 3 ]
- 15/62 ・・・・4 個の環を含有するもの [ 3 ]

#### 炭素とハロゲンを含有し水素を有するかまたは有しない化合物

- 17/00 ハロゲン化された炭化水素の製造
- 17/007 ・炭素とハロゲン，または炭化物とハロゲンから [ 6 ]
- 17/013 ・ハロゲンの付加によるもの [ 6 ]
- 17/02 ・・・・不飽和炭化水素へ [ 6 ]
- 17/04 ・・・・ハロゲン化された不飽和炭化水素へ [ 6 ]
- 17/06 ・・・・水素のハロゲンによる置換と組み合わせたもの
- 17/07 ・ハロゲン化水素の付加によるもの [ 6 ]
- 17/08 ・・・・不飽和炭化水素へ [ 6 ]
- 17/087 ・・・・ハロゲン化された不飽和炭化水素へ [ 6 ]
- 17/093 ・ハロゲンによる置換によるもの [ 6 ]
- 17/10 ・・・・水素の（不飽和炭化水素へのハロゲンの付加と組み合わせたもの C 0 7 C 1 7 / 0 6 ） [ 6 ]
- 17/12 ・・・・芳香族化合物の環における [ 6 ]
- 17/14 ・・・・芳香族化合物の側鎖における [ 6 ]
- 17/15 ・・・・補助剤として酸素を用いるもの，例．オキシクロリネーション [ 2 ， 6 ]
- 17/152 ・・・・炭化水素の [ 3 ， 6 ]
- 17/154 ・・・・飽和炭化水素の [ 3 ， 6 ]
- 17/156 ・・・・不飽和炭化水素の [ 3 ， 6 ]
- 17/158 ・・・・ハロゲン化された炭化水素の [ 3 ， 6 ]

17/16	・水酸基の [ 3 , 6 ]	19/07	・ヨウ素を含有するもの [ 2 ]
17/18	・カルボニル基の酸素の [ 6 ]	19/075	・臭素を含有するもの [ 6 ]
17/20	・他のハロゲンによるハロゲンの [ 6 ]	19/08	・フッ素を含有するもの
17/21	・ハロゲンの原子数の増加を同時に伴うもの [ 6 ]	19/10	・さらに塩素を含有するもの [ 6 ]
17/23	・脱ハロゲン化によるもの [ 6 ]	19/12	・2 個の炭素原子を有するもの [ 6 ]
17/25	・ハロゲン化された炭化水素からのハロゲン化水素の脱離によるもの [ 6 ]	19/14	・さらに臭素を含有するもの [ 6 ]
17/26	・炭素骨格中の炭素原子数の増加を伴う反応によるもの	19/16	・さらにヨウ素を含有するもの [ 6 ]
17/263	・縮合反応によるもの [ 6 ]	21/00	ハロゲン原子を含有する非環式不飽和化合物 [ 5 ]
17/266	・炭化水素とハロゲン化された炭化水素の [ 6 ]	21/02	・炭素 炭素二重結合を含有するもの
17/269	・ハロゲン化された炭化水素のみの [ 6 ]	21/04	・クロロアルケン
17/272	・付加反応によるもの [ 6 ]	21/06	・塩化ビニル
17/275	・炭化水素とハロゲン化された炭化水素の [ 6 ]	21/067	・アリルクロライド ; メタリルクロライド [ 3 ]
17/278	・ハロゲン化された炭化水素のみの [ 6 ]	21/073	・ジクロロアルケン [ 3 ]
17/281	・一種の化合物のみの [ 6 ]	21/08	・塩化ビニリデン [ 3 ]
17/30	・ディールス - アルダー合成によるもの	21/09	・ジクロロブテン [ 3 ]
17/32	・環状化合物へのハロゲン化されたアルキル基の導入によるもの	21/10	・トリクロロエチレン [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
17/35	・分子内の炭素またはハロゲン原子数の変化しない反応によるもの [ 6 ]	21/12	・テトラクロロエチレン [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
17/354	・水素添加によるもの [ 6 ]	21/14	・臭素を含有するもの
17/357	・脱水素によるもの [ 6 ]	21/16	・臭化クロチル
17/358	・異性化によるもの [ 6 ]	21/17	・ヨウ素を含有するもの [ 5 ]
17/361	・炭素原子数の減少を伴う反応によるもの [ 6 ]	21/18	・フッ素を含有するもの
17/363	・カルボキシル基の脱離によるもの [ 6 ]	21/185	・テトラフルオロエチレン [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
17/367	・解重合によるもの [ 6 ]	21/19	・ハロゲン化されたジエン [ 3 ]
17/37	・ハロゲン化された炭化水素の不均化によるもの [ 6 ]	21/20	・ハロゲン化されたブタジエン [ 3 ]
17/38	・分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用	21/21	・クロロブレン [ 3 ]
17/383	・蒸留によるもの [ 6 ]	21/215	・3 個以上の炭素 炭素二重結合を有するハロゲン化されたポリエン [ 3 ]
17/386	・補助化合物を用いるもの [ 6 ]	21/22	・炭素 炭素三重結合を含有するもの
17/389	・固体への吸着によるもの [ 6 ]	22/00	非環式炭素原子に結合しているハロゲン原子を含有する環式化合物 [ 5 ]
17/392	・結晶化によるもの ; 結晶の精製または分離 [ 6 ]	22/02	・環内に不飽和結合をもつもの [ 5 ]
17/395	・少なくとも 1 個の化合物の化学的变化をひき起す処理によるもの [ 6 ]	22/04	・6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
17/42	・添加剤の使用 , 例 , 安定化のためのもの [ 3 , 6 ]	22/06	・トリクロロメチルベンゼン [ 5 ]
19/00	ハロゲン原子を含有する非環式飽和化合物 [ 5 ]	22/08	・フッ素を含有するもの [ 5 ]
19/01	・塩素を含有するもの [ 6 ]	23/00	6 員芳香環以外の環に結合している少なくとも 1 個のハロゲン原子を含有する化合物
19/03	・クロロメタン [ 6 ]	23/02	・ハロゲン化された単環式炭化水素
19/04	・クロロホルム [ 6 ]	23/04	・3 員環をもつもの
19/041	・四塩化炭素 [ 6 ]	23/06	・4 員環をもつもの
19/043	・クロロエタン [ 6 ]	23/08	・5 員環をもつもの
19/045	・ジクロロエタン [ 3 , 6 ]	23/10	・6 員環をもつもの
19/05	・トリクロロエタン [ 3 , 6 ]	23/12	・ヘキサクロロシクロヘキサン
19/055	・テトラクロロエタン [ 3 , 6 ]	23/14	・7 員環をもつもの
		23/16	・8 員環をもつもの
		23/18	・ハロゲン化された多環式炭化水素
		23/20	・いずれの環も芳香族性を有しない縮合環系を有するもの
		23/22	・4 個の炭素原子を含有するビスクロ

	環系をもつもの		
23/24	・ ・ ・ 5 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの	27/18	・ アルキンをアルデヒド，ケトンまたはアルキレンオキシドに付加することによるもの
23/26	・ ・ ・ 6 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの	27/20	・ オキシ反応によるもの
23/27	・ ・ ・ 7 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの [ 5 ]	27/22	・ ・ このプロセスに特有の触媒を用いるもの
23/28	・ ・ ・ ・ 飽和ビシクロ環系 [ 5 ]	27/24	・ ・ 移動触媒を用いるもの
23/30	・ ・ ・ ・ 単不飽和ビシクロ環系 [ 5 ]	27/26	・ 精製；分離；安定化
23/32	・ ・ ・ 8 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの	27/28	・ ・ 蒸留によるもの
23/34	・ ・ ・ ハロゲン化された完全または部分水素化されたインデン	27/30	・ ・ ・ 共沸蒸留によるもの
23/36	・ ・ ・ ハロゲン化された完全または部分水素化されたナフタレン	27/32	・ ・ ・ 抽出蒸留によるもの
23/38	・ ・ ・ 3 個の縮合環をもつもの	27/34	・ ・ 抽出によるもの
23/40	・ ・ ・ ・ ハロゲン化された完全または部分水素化されたフルオレン	29/00	6 員芳香環に属していない炭素原子に結合している水酸基または O 金属基をもつ化合物の製造
23/42	・ ・ ・ ・ ハロゲン化された完全または部分水素化されたアントラセン	29/03	・ 不飽和炭素 炭素結合に水酸基を付加することによるもの，例．H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> を用いるもの [ 3 ]
23/44	・ ・ ・ ・ ハロゲン化された完全または部分水素化されたフェナントレン	29/04	・ ・ 炭素 炭素二重結合の水和によるもの
23/46	・ ・ ・ 4 個以上の縮合環を有するもの	29/05	・ ・ ・ 鉱酸中で吸収生成物を形成しそれを加水分解することによるもの [ 3 ]
25/00	6 員芳香環に結合している少なくとも 1 個のハロゲン原子を含有する化合物	29/06	・ ・ ・ ・ 酸が硫酸であるもの [ 3 ]
25/02	・ ハロゲン化された単環式芳香族炭化水素	29/08	・ ・ ・ ・ 酸がリン酸であるもの [ 3 ]
25/06	・ ・ モノクロロベンゼン [ 3 ]	29/09	・ 加水分解によるもの（有機酸エステルの加水分解 C 0 7 C 2 7 / 0 2 ） [ 3 ]
25/08	・ ・ ジクロロベンゼン [ 3 ]	29/10	・ ・ エーテル（環状エーテルを含む）の，例．オキシラン
25/10	・ ・ トリクロロベンゼン [ 3 ]	29/12	・ ・ 鉱酸エステルの [ 3 ]
25/12	・ ・ ヘキサクロロベンゼン [ 3 ]	29/124	・ ・ ・ ハロゲン化物の [ 3 ]
25/125	・ ・ ハロゲン化されたキシレン [ 2 ， 3 ]	29/128	・ アルコール分解によるもの（有機酸エステルのアルコール分解 C 0 7 C 2 7 / 0 2 ） [ 3 ]
25/13	・ ・ フッ素を含有するもの [ 2 ， 3 ]	29/132	・ 酸素含有官能基の還元によるもの [ 3 ]
25/18	・ ハロゲン化された多環式芳香族炭化水素	29/136	・ ・ > C = O 含有基の，例．- C O O H [ 3 ]
25/20	・ ・ ジクロロ ジフェニル トリクロロエタン（DDT）	29/14	・ ・ ・ C H O 基の [ 3 ]
25/22	・ ・ 縮合環をもつもの	29/141	・ ・ ・ 水素または水素含有ガスによるもの [ 5 ]
25/24	・ 不飽和側鎖をもつハロゲン化された芳香族炭化水素	29/143	・ ・ ・ ケトンの [ 5 ]
25/28	・ ・ ハロゲン化されたスチレン [ 3 ]	29/145	・ ・ ・ 水素または水素含有ガスによるもの [ 5 ]
<u>炭素および酸素を含有し水素またはハロゲンを有するかまたは有しない化合物 [ 2 ]</u>		29/147	・ ・ ・ カルボン酸またその誘導体の [ 5 ]
27/00	2 クラス以上の酸素を含む化合物を同時に製造することから成るプロセス	29/149	・ ・ ・ ・ 水素または水素含有ガスによるもの [ 5 ]
27/02	・ 有機酸エステルのケン化	29/15	・ 炭素の酸化物の還元のみによるもの [ 3 ]
27/04	・ 酸素を含む化合物の還元によるもの（C 0 7 C 2 9 / 1 4 が優先）	29/151	・ ・ 水素または水素含有ガスによるもの [ 5 ]
27/06	・ ・ 炭素の酸化物の水素添加によるもの	29/152	・ ・ ・ 用いられる反応器に特徴のあるもの [ 5 ]
27/08	・ ・ ・ 移動触媒を用いるもの	29/153	・ ・ ・ 用いられる触媒に特徴のあるもの [ 5 ]
27/10	・ 炭化水素の酸化によるもの	29/154	・ ・ ・ ・ 銅，銀，金またはその化合物を含有するもの [ 5 ]
27/12	・ ・ 酸素を用いるもの	29/156	・ ・ ・ ・ 鉄族金属，白金族金属またはその化合物を含有するもの [ 5 ]
27/14	・ ・ ・ 完全ガス状反応	29/157	・ ・ ・ ・ ・ 白金族金属またはその化合物を
27/16	・ ・ 他の酸化剤を用いるもの		



	含有するもの [ 5 ]	29/66	・次亜ハロゲン酸 ( その場で形成される場合も含む ) の炭素 炭素不飽和結合への付加によるもの [ 3 ]
29/158	・ . . . . ロジウムまたはその化合物を含有するもの [ 5 ]	29/68	・金属アルコラートの製造 ( C 0 7 C 2 9 / 4 2 , C 0 7 C 2 9 / 5 4 が優先 ) [ 3 ]
29/159	・水素または水素含有ガス以外の還元剤によるもの [ 5 ]	29/70	・水酸基を O 金属基に変換することによるもの [ 3 ]
29/16	・還元と組み合わせたオキソ反応によるもの	29/72	・炭素 金属結合の酸化によるもの [ 3 ]
29/17	・炭素 炭素二重結合または三重結合の水素添加によるもの [ 3 ]	29/74	・分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [ 3 ]
29/19	・ 6 員芳香環における [ 3 ]	29/76	・物理的处理によるもの [ 3 ]
29/20	・水酸基が置換している非縮合環における [ 3 ]	29/78	・凝縮または結晶化によるもの [ 3 ]
29/32	・ O H 基の生成を伴わない炭素原子数の増加する反応によるもの [ 3 ]	29/80	・蒸留によるもの [ 3 ]
29/34	・水酸基またはその鉱酸エステルの関与する縮合反応によるもの , 例 . G u e r b e t 反応 [ 3 ]	29/82	・共沸蒸留によるもの [ 3 ]
29/36	・水酸基の生成を伴う炭素原子数の増加する反応によるもの。水酸基の誘導体 , 例 . O 金属基 , を中間体として経由する場合も含む [ 3 ]	29/84	・抽出蒸留によるもの [ 3 ]
29/38	・アルデヒドまたはケトンとの反応によるもの [ 3 ]	29/86	・液 液処理によるもの [ 3 ]
29/40	・炭素 金属結合を含有する化合物とのもの [ 3 ]	29/88	・少なくとも 1 つの化合物の化学的変性をひきおこす処理によるもの [ 3 ]
29/42	・炭素 炭素三重結合を含有する化合物とのもの , 例 . 金属アルキンとのもの [ 3 ]	29/90	・水素のみを使用するもの [ 3 ]
29/44	・付加反応により炭素原子数が増加するもの , 例 . 少なくとも 1 つの炭素 炭素二重結合または三重結合が関与する反応 ( C 0 7 C 2 9 / 1 6 が優先 ) [ 3 ]	29/92	・連続的変換および再生によるもの [ 3 ]
29/46	・ジエン合成によるもの [ 3 ]	29/94	・添加剤の使用 , 例 . 安定化のためのもの [ 3 ]
29/48	・水酸基の形成を伴う酸化反応によるもの [ 3 ]	31/00	非環式炭素原子に結合した水酸基または O 金属基をもつ飽和化合物
29/50	・分子状酸素のみを用いるもの [ 3 ]	31/02	・非環式一価アルコール
29/52	・無機ホウ素化合物の存在下 , 必要に応じて形成された中間体の加水分解を伴うもの [ 3 ]	31/04	・メタノール
29/54	・炭素 金属結合を含有する化合物を原料とし , O 金属を水酸基に変換するもの [ 3 ]	31/08	・エタノール
29/56	・異性化によるもの [ 3 ]	31/10	・ 3 個の炭素原子を含有するもの
29/58	・ハロゲンの脱離によるもの , 例 . 水素化分解 , 離脱によるもの ( C 0 7 C 2 9 / 1 2 4 が優先 ) [ 3 ]	31/12	・ 4 個の炭素原子を含有するもの
29/60	・水酸基の脱離によるもの , 例 . 脱水によるもの ( C 0 7 C 2 9 / 3 4 が優先 ) [ 3 ]	31/125	・ 5 ないし 2 2 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
29/62	・ハロゲンの導入によるもの ; ハロゲン原子を他のハロゲン原子で置換するもの [ 3 ]	31/13	・飽和環を含有する一価アルコール [ 2 , 3 ]
29/64	・水酸基とハロゲンを同時に導入するもの [ 3 ]	31/133	・単環式のもの [ 3 ]
		31/135	・ 5 または 6 員環を有するもの ; ナフテンアルコール [ 3 ]
		31/137	・縮合環系を有する多環式のもの [ 3 ]
		31/18	・非環式多価アルコール
		31/20	・二価アルコール
		31/22	・三価アルコール , 例 . グリセリン [ 3 ]
		31/24	・四価アルコール , 例 . ペンタエリスリトール [ 3 ]
		31/26	・六価アルコール
		31/27	・飽和環を含有する多価アルコール [ 3 ]
		31/28	・金属アルコラート
		31/30	・アルカリ金属またはアルカリ土類金属アルコラート
		31/32	・アルミニウムアルコラート
		31/34	・ハロゲン化アルコール
		31/36	・フッ素以外のハロゲン [ 3 ]
		31/38	・ハロゲンとしてフッ素のみを含有するもの [ 3 ]
		31/40	・パーハロゲン化されたもの [ 3 ]
		31/42	・ハロゲン化された非環式多価アルコー

	ル [ 3 ]		
31/44	・ ・ 飽和環を含有するハロゲン化アルコール [ 3 ]	33/46	・ ・ 環部分として 6 員芳香環のみを含有するもの [ 3 ]
33/00	非環式炭素原子に結合する水酸基または O 金属基をもつ不飽和化合物	33/48	・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合を有するものの [ 3 ]
注		33/50	・ ・ 6 員芳香環および他の環を含有するものの [ 3 ]
このグループにおいては, 6 員芳香環およびその他の環からなる縮合環系においては, ベンゼン環の二重結合は縮合している非芳香環の不飽和結合とはみなさない。例 . 1 , 2 , 3 , 4		35/00	6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個の水酸基または O 金属基をもつ化合物 [ 2 ]
テトラヒドロナフタレン環は芳香環以外が飽和であるとみなす。 [ 3 ]		35/02	・ 単環式のもの
33/02	・ 炭素 炭素二重結合を有する非環式アルコール	35/04	・ ・ 3 または 4 員環を含有するもの
33/025	・ ・ ただ 1 個の二重結合を有するもの [ 3 ]	35/06	・ ・ 5 員環を含有するもの
33/03	・ ・ ・ 位に有するもの, 例 . アリルアルコール, メタリルアルコール [ 3 ]	35/08	・ ・ 6 員環を含有するもの
33/035	・ ・ ・ アルケンジオール [ 3 ]	35/12	・ ・ ・ メントール
33/04	・ 炭素 炭素三重結合を有する非環式アルコール	35/14	・ ・ ・ 環に結合している 2 個以上の水酸基を有するもの
33/042	・ ・ 1 個の三重結合を有するもの [ 3 ]	35/16	・ ・ ・ イノシトール
33/044	・ ・ ・ アルキンジオール [ 3 ]	35/17	・ ・ ・ 環以外にのみ不飽和結合を有するものの [ 3 ]
33/046	・ ・ ・ プチンジオール [ 3 ]	35/18	・ ・ ・ 環に少なくとも不飽和結合を有するものの [ 3 ]
33/048	・ ・ 二重結合および三重結合を有するもの [ 3 ]	35/20	・ ・ 7 または 8 員環を有するもの
33/05	・ 6 員芳香環以外の環を含有するアルコール [ 2 ]	35/205	・ ・ 9 ~ 1 2 員環を含有するもの, 例 . シクロデカノール [ 3 ]
33/12	・ ・ 5 員環を含有するもの [ 3 ]	35/21	・ 多環式のもの, 非縮合環に結合している少なくとも 1 つの水酸基をもつもの [ 2 ]
33/14	・ ・ 6 員環を含有するもの [ 3 ]	35/22	・ 多環式のもの, 縮合環系に結合している少なくとも 1 つの水酸基をもつもの [ 2 ]
33/16	・ ・ 7 員環以上の環を含有するもの [ 3 ]	35/23	・ ・ 2 個の環をもつ縮合環系に水酸基を有するもの [ 3 ]
33/18	・ 環部分として 6 員芳香環のみを含有する一価アルコール [ 3 ]	35/24	・ ・ ・ 5 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [ 3 ]
33/20	・ ・ 単環式のもの [ 3 ]	35/26	・ ・ ・ ビシクロペンタジエノール [ 3 ]
33/22	・ ・ ・ ベンジルアルコール; フェニルエチルアルコール [ 3 ]	35/27	・ ・ ・ 6 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [ 3 ]
33/24	・ ・ 縮合環系を有しない多環式のもの [ 3 ]	35/28	・ ・ ・ 7 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [ 3 ]
33/26	・ 環部分として 6 員芳香環のみを含有する多価アルコール [ 3 ]	35/29	・ ・ ・ ・ { 2 . 2 . 1 } 系 [ 3 ]
33/28	・ 環部分として 6 員芳香環のみを含有し, 芳香環以外に不飽和結合を有するアルコール [ 3 ]	35/30	・ ・ ・ ・ ボルネオール; イソボルネオール [ 3 ]
33/30	・ ・ 単環式のもの [ 3 ]	35/31	・ ・ ・ 8 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [ 3 ]
33/32	・ ・ ・ 桂皮アルコール [ 3 ]	35/32	・ ・ ・ { 4 . 3 . 0 } 系の縮合環系のもの, 例 . インデノール [ 3 ]
33/34	・ 6 員芳香環および他の環を含有する一価アルコール [ 3 ]	35/34	・ ・ ・ { 5 . 3 . 0 } 系の縮合環系のもの, 例 . アズレノール [ 3 ]
33/36	・ 6 員芳香環および他の環を含有する多価アルコール [ 3 ]	35/36	・ ・ ・ { 4 . 4 . 0 } 系の縮合環系のもの, 例 . 水素化されたナフトール [ 3 ]
33/38	・ 6 員芳香環および他の環を含有し, 芳香環以外に不飽和結合をもつアルコール [ 3 ]	35/37	・ ・ 3 個の環をもつ縮合環系に水酸基を有するもの [ 3 ]
33/40	・ ハロゲン化されている不飽和アルコール [ 3 ]	35/38	・ ・ ・ フルオレン骨格から誘導されるもの [ 3 ]
33/42	・ ・ 非環式のもの [ 3 ]	35/40	・ ・ ・ アントラセン骨格から誘導されるもの [ 3 ]
33/44	・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]		

	の [ 3 ]	37/56	・カルボキシル基またはアルデヒド基を水酸基によって置換することによるもの [ 3 ]
35/42	・フェナントレン骨格から誘導されるもの [ 3 ]	37/58	・分子状酸素を用いて 6 員芳香環の C H 基に直接水酸基を導入する酸化反応によるもの [ 3 ]
35/44	・4 個以上の環をもつ縮合環系に水酸基を有するもの	37/60	・分子状酸素以外の酸化剤またはそれらと分子状酸素との混合物を用いて 6 員芳香環の C H 基に直接水酸基を導入する酸化反応によるもの [ 3 ]
35/46	・環に結合した水酸基の O 金属誘導体 [ 3 ]	37/62	・ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [ 3 ]
35/48	・ハロゲン化された誘導体 [ 3 ]	37/64	・6 員芳香環の炭素原子に結合する O 金属基を有する O 金属化合物の製造 [ 3 ]
35/50	・少なくとも 2 個の環を有するアルコール [ 3 ]	37/66	・水酸基の O 金属基への転換によるもの [ 3 ]
35/52	・縮合環系を有するアルコール [ 3 ]	37/68	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [ 3 ]
37/00	6 員芳香環の炭素原子に結合している水酸基または O 金属基をもつ化合物の製造	37/70	・物理的処理によるもの [ 3 ]
37/01	・6 員芳香環に結合している官能基を水酸基によって置換することによるもの, 例, 加水分解によるもの [ 3 ]	37/72	・液 液処理によるもの [ 3 ]
37/02	・ハロゲンの置換によるもの [ 3 ]	37/74	・蒸留によるもの [ 3 ]
37/04	・S O <sub>3</sub> H 基またはその誘導体の置換によるもの [ 3 ]	37/76	・水蒸気蒸留によるもの [ 3 ]
37/045	・環に結合した窒素をもつ基の置換によるもの [ 3 ]	37/78	・共沸蒸留によるもの [ 3 ]
37/05	・N H <sub>2</sub> 基の置換によるもの [ 3 ]	37/80	・抽出蒸留によるもの [ 3 ]
37/055	・環に結合した酸素をもつ基, 例, エーテル基の置換によるもの [ 3 ]	37/82	・固 液処理によるもの; 化学吸着によるもの [ 3 ]
37/06	・非芳香族 6 員環の転換によるものまたはその場で芳香族 6 員環を生成する環の転換によるもの, 例, 脱水素反応	37/84	・結晶化によるもの [ 3 ]
37/07	・同時に環における C = O 基の還元を伴うもの [ 3 ]	37/86	・化学的変性をひきおこす処理によるもの ( 化学吸着 C 0 7 C 3 7 / 8 2 ) [ 3 ]
37/08	・ヒドロパーオキシドの分解によるもの, 例, クメンヒドロパーオキシド	37/88	・添加剤の使用, 例, 安定化のためのもの [ 3 ]
37/11	・炭素原子数の増加する反応によるもの [ 3 ]	39/00	6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個の水酸基または O 金属基をもつ化合物
37/14	・付加反応によるもの, すなわち, 少なくとも 1 個の炭素 炭素不飽和結合が関与する反応 [ 3 ]	注 このグループにおいては, 6 員芳香環と他の環との縮合環系においては, ベンゼン環の二重結合はベンゼン環に縮合する非芳香環の不飽和結合とはみなさない。 [ 3 ]	
37/16	・フェノールまたはアルコールの水酸基またはそれらから誘導されるエーテルまたは鉍酸エステル基が関与する縮合反応によるもの [ 3 ]		
37/18	・ハロゲン化された化合物のハロゲン原子が関与する縮合反応によるもの	39/02	・芳香環以外に不飽和結合を有しない単環式のもの
37/20	・アルデヒドまたはケトンを用いるもの	39/04	・フェノール
37/48	・置換されていてもよい炭化水素基と他の化合物との交換によるもの, 例, トランスアルキル化反応 [ 3 ]	39/06	・アルキル化フェノール
37/50	・炭素原子数の減少する反応によるもの ( C 0 7 C 3 7 / 0 1 , C 0 7 C 3 7 / 0 8 , C 0 7 C 3 7 / 4 8 が優先 ) [ 3 ]	39/07	・アルキル基としてメチル基のみを含むもの, 例, クレゾール, キシレノール [ 3 ]
37/52	・多環式芳香族化合物の開裂によるもの, 例, ポリフェノールアルカン [ 3 ]	39/08	・ジヒドロキシベンゼン; それらのアルキル誘導体
37/54	・リグニンまたは亜硫酸塩廃液の加水分解によるもの [ 3 ]	39/10	・ポリヒドロキシベンゼン; それらのアルキル誘導体 ( C 0 7 C 3 9 / 0 8 が優先 )
		39/11	・非環式的に結合している水酸基を含むアルキル化ヒドロキシベンゼン, 例, サリゲノール [ 3 ]

- 39/12 ・芳香環以外に不飽和結合を有しない多環式のもの
- 39/14 ・・少なくとも1個の水酸基を，2個の環を含有する1個の縮合環系に有するもの [ 3 ]
- 39/15 ・・すべての水酸基を非縮合環に有するもの [ 3 ]
- 39/16 ・・・ビス(ヒドロキシフェニル)アルカン；トリス(ヒドロキシフェニル)アルカン [ 3 ]
- 39/17 ・・6員芳香環とともに他の環を含有するもの [ 2 ]
- 39/18 ・芳香環以外に不飽和結合を有する単環式のもの
- 39/19 ・・炭素 炭素二重結合を含有するが炭素炭素三重結合は含有しないもの [ 3 ]
- 39/20 ・・・ヒドロキシシチレン [ 3 ]
- 39/205 ・環部分として6員芳香環のみを含有し，環以外に不飽和結合を有する多環式のもの [ 3 ]
- 39/21 ・・少なくとも1個の水酸基を非縮合環に有するもの [ 3 ]
- 39/215 ・・・  $\text{HO}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}(\text{I})=\text{C}(\text{I})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{OH}$  構造を含有するもの，例．ジエチルスチルベストール [ 3 ]
- 39/225 ・・少なくとも1個の水酸基を縮合環系に有するもの [ 3 ]
- 39/23 ・6員芳香環および他の環を含有し，芳香環以外に不飽和結合を有する多環式のもの [ 3 ]
- 39/235 ・6員芳香環に結合している水酸基の金属誘導体 [ 3 ]
- 39/24 ・ハロゲン誘導体
- 39/26 ・・環の炭素原子に結合しているハロゲンを含有する単環式で1個の水酸基を有するもの
- 39/27 ・・・すべてのハロゲン原子が環についているもの
- 39/28 ・・・・ハロゲンが1個の塩素原子であるもの
- 39/30 ・・・・ハロゲンが2個の塩素原子であるもの
- 39/32 ・・・・ハロゲンが3個の塩素原子であるもの
- 39/34 ・・・・ハロゲンが4個の塩素原子であるもの
- 39/36 ・・・・ペンタクロロフェノール
- 39/367 ・・6員芳香環のみを含有する多環式，非縮合のもの，例．ハロゲン化ポリ(ヒドロキシフェニル)アルカン [ 3 ]
- 39/373 ・・すべての水酸基を非縮合環に有し，芳香環以外に不飽和結合を有するもの [ 3 ]
- 39/38 ・・少なくとも1個の水酸基を，2個の環を含有する縮合環系に有するもの
- 39/40 ・・少なくとも1個の水酸基を，3個以上の環を含有する縮合環系に有するもの [ 3 ]
- 39/42 ・・6員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]
- 39/44 ・・6員芳香環の炭素原子に結合している水酸基の金属誘導体 [ 3 ]
- 41/00 エーテルの製造；  
 $\text{>C} \begin{array}{l} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基，  
 $\text{-C} \begin{array}{l} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基または  $\text{C} \begin{array}{l} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基をもつ  
 化合物の製造 [ 3 ]
- 41/01 ・エーテルの製造 [ 3 ]
- 41/02 ・・オキシランからのもの [ 3 ]
- 41/03 ・・・オキシラン環と水酸基との反応によるもの [ 3 ]
- 41/05 ・・不飽和化合物への化合物の付加によるもの [ 3 ]
- 41/06 ・・・有機化合物のみの付加によるもの [ 3 ]
- 41/08 ・・・炭素 炭素三重結合への [ 3 ]
- 41/09 ・・水酸基を含有する化合物の脱水によるもの [ 3 ]
- 41/14 ・・エーテル基の酸素原子に結合する有機基を他の有機基によって交換することによるもの，例．トランスエーテル化によるもの [ 3 ]
- 41/16 ・・鉱酸または有機酸のエステルと水酸基またはO 金属基との反応によるもの [ 3 ]
- 41/18 ・・エーテル基の酸素結合を生成しない反応によるもの [ 3 ]
- 41/20 ・・・炭素 炭素二重結合または三重結合の水素化によるもの [ 3 ]
- 41/22 ・・・ハロゲンの導入によるもの；ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [ 3 ]
- 41/24 ・・・ハロゲンの脱離によるもの，例．HClの脱離 [ 3 ]
- 41/26 ・・・水酸基またはO 金属基の導入によるもの [ 3 ]
- 41/28 ・・・アセタールからのもの，例．脱アルコール分解によるもの [ 3 ]
- 41/30 ・・・炭素原子数の増加によるもの，例．オリゴマー化によるもの [ 3 ]
- 41/32 ・・異性化によるもの [ 3 ]
- 41/34 ・・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 41/36 ・・・固 液処理によるもの；化学吸着によるもの [ 3 ]
- 41/38 ・・・液 液処理によるもの [ 3 ]

- 41/40 ・ ・ ・ 物理的状態の変化によるもの，例．結晶化によるもの [ 3 ]
- 41/42 ・ ・ ・ ・ 蒸留によるもの [ 3 ]
- 41/44 ・ ・ ・ 化学的変性をひきおこす処理によるもの（化学吸着によるもの C 0 7 C 4 1 / 3 6 ） [ 3 ]
- 41/46 ・ ・ ・ 添加剤の使用，例．安定化のためのもの [ 3 ]
- 41/48 ・  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基をもつ化合物の製造 [ 3 ]
- 41/50 ・  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基を生成する反応によるもの [ 3 ]
- 41/52 ・ ・ ・ ハロゲンのみの置換によるもの [ 3 ]
- 41/54 ・ ・ ・ 不飽和炭素 炭素結合への化合物の付加によるもの [ 3 ]
- 41/56 ・ ・ ・ アルデヒド，パラホルムアルデヒド，またはケトンの縮合によるもの [ 3 ]
- 41/58 ・ ・ 分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 41/60 ・  $\text{---C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基または  $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基をもつ化合物の製造 [ 3 ]
- 43/00 エーテル；  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基，  $\text{---C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基  
または  $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基をもつ化合物
- 43/02 ・ エーテル
- 43/03 ・ ・ すべてのエーテル基の酸素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/04 ・ ・ ・ 飽和エーテル [ 3 ]
- 43/06 ・ ・ ・ ・ ジエチルエーテル [ 3 ]
- 43/10 ・ ・ ・ ・ ポリヒドロキシ化合物の [ 3 ]
- 43/11 ・ ・ ・ ・ 2 n 1 0 の O ( C C O ) n 単位を含有するポリエーテル [ 2 , 3 ]
- 43/115 ・ ・ ・ ・ 炭素環を含有するもの [ 3 ]
- 43/12 ・ ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 43/13 ・ ・ ・ ・ 水酸基または O 金属基を含有するもの ( C 0 7 C 4 3 / 1 1 が優先 ) [ 3 ]
- 43/14 ・ ・ ・ 不飽和エーテル [ 3 ]
- 43/15 ・ ・ ・ ・ 非芳香族炭素 炭素二重結合のみを含有するもの [ 3 ]
- 43/16 ・ ・ ・ ・ ・ ビニルエーテル [ 3 ]
- 43/162 ・ ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 43/164 ・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 43/166 ・ ・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 43/168 ・ ・ ・ ・ ・ 6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]
- 43/17 ・ ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 2 , 3 ]
- 43/172 ・ ・ ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 43/174 ・ ・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 43/176 ・ ・ ・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 43/178 ・ ・ ・ ・ 水酸基または O 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 43/18 ・ ・ エーテル基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの
- 43/184 ・ ・ ・ 非縮合環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/188 ・ ・ ・ 不飽和エーテル [ 3 ]
- 43/192 ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 43/196 ・ ・ ・ 水酸基または O 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 43/20 ・ ・ エーテル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの
- 43/205 ・ ・ ・ 芳香環が非縮合環であるもの [ 3 ]
- 43/21 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 43/215 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 43/225 ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 43/23 ・ ・ ・ 水酸基または O 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 43/235 ・ ・ エーテル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子および 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/243 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 43/247 ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 43/253 ・ ・ ・ 水酸基または O 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 43/257 ・ ・ エーテル基の酸素原子がともに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/263 ・ ・ ・ 芳香環が非縮合環であるもの [ 3 ]
- 43/267 ・ ・ ・ 他の環を含有するもの [ 3 ]
- 43/275 ・ ・ ・ すべてのエーテル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/285 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 43/29 ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 43/295 ・ ・ ・ 水酸基または O 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 43/30 ・  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基をもつ化合物

注

アセタールの炭素原子は  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \diagup \diagdown \\ \text{O} \end{smallmatrix} \text{---C}$  基の炭素原子である

[ 3 ]

- 43/303 ・ ・ アセタールの炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/305 ・ ・ アセタールの炭素原子が環を構成しているかまたは 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]
- 43/307 ・ ・ アセタールの炭素原子が 6 員芳香環に結合しているもの [ 3 ]
- 43/313 ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 43/315 ・ ・ アセタールの炭素原子以外の炭素原子に単結合している酸素原子を含有するもの [ 3 ]
- 43/317  $\begin{array}{c} \text{O-X} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O-C} \end{array}$  基をもつもの、ただし X は水素または金属 [ 3 ]
- 43/32  $\begin{array}{c} \text{O-} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O-C} \end{array}$  基または  $\begin{array}{c} \text{O-} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O-C} \end{array}$  基をもつ化合物
- 45/00 炭素原子または水素原子のみに結合している  $>C=O$  基をもつ化合物の製造；それらの化合物のキレート製造 [ 2 ]
- 45/26 ・ 炭素 炭素三重結合の水和によるもの [ 3 ]
- 45/27 ・ 酸化によるもの [ 3 ]
- 45/28 ・ ・  $CH_x$  部分の [ 3 ]
- 45/29 ・ ・ 水酸基の [ 3 ]
- 45/30 ・ ・ ハロゲン含有化合物を用いるもの、例、ハイポハロゲネーション (h y p o h a l o g e n a t i o n) [ 3 ]
- 45/31 ・ ・ 水銀原子を含有する化合物を用いるもの。その化合物は、たとえば酸素によってその場で再生されたものでもよい [ 3 ]
- 45/32 ・ ・ 分子状酸素を用いるもの [ 3 ]
- 45/33 ・ ・ ・  $CH_x$  部分の [ 3 ]
- 45/34 ・ ・ ・ ・ 不飽和化合物における [ 3 ]
- 45/35 ・ ・ ・ ・ ・ プロペンまたはイソブテンにおける [ 3 ]
- 45/36 ・ ・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有する化合物における [ 3 ]
- 45/37  $\begin{array}{c} \text{O-} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O-} \end{array}$  基の  $>C=O$  基への [ 3 ]
- 45/38 ・ ・ ・ ・ 第一級水酸基の [ 3 ]
- 45/39 ・ ・ ・ ・ 第二級水酸基の [ 3 ]
- 45/40 ・ オゾンによる酸化によるもの；オゾン分解によるもの [ 3 ]
- 45/41 ・ カルボキシル基またはその官能基の誘導体の水添分解または還元によるもの [ 3 ]
- 45/42 ・ 加水分解によるもの [ 3 ]
- 45/43 ・ ・  $>CX_2$  の、X はハロゲン [ 3 ]
- 45/44 ・ ニトリルの還元および加水分解によるもの [ 3 ]

の [ 3 ]

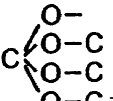
- 45/45 ・ 縮合によるもの [ 3 ]
- 45/46 ・ ・ フリーデル クラフツ反応によるもの [ 3 ]
- 45/47 ・ ・ ホスゲンを用いるもの [ 3 ]
- 45/48 ・ ・ 脱カルボキシル反応の関与するもの [ 3 ]
- 45/49 ・ 一酸化炭素との反応によるもの [ 3 ]
- 45/50 ・ ・ オキシ反応によるもの [ 3 ]
- 45/51 ・ 熱分解、転位または分解によるもの [ 3 ]
- 45/52 ・ ・ 同一分子中の 2 つの水酸基の関与する脱水および転位反応によるもの [ 3 ]
- 45/53 ・ ・ ヒドロパーオキシドの [ 3 ]
- 45/54 ・ ・ 二重結合している酸素原子を含有する化合物の、例、エステル [ 3 ]
- 45/55 ・ ・ オキシ化合物のオリゴマーまたはポリマーの [ 3 ]
- 45/56 ・ 複素環式化合物からのもの ( C 0 7 C 4 5 / 5 5 が優先 ) [ 3 ]
- 45/57 ・ ・ 異種原子として酸素原子を有するもの [ 3 ]
- 45/58 ・ ・ ・ 3 員環の [ 3 ]
- 45/59 ・ ・ ・ 5 員環の ( オゾナイドからのもの C 0 7 C 4 5 / 4 0 ) [ 3 ]
- 45/60 ・ ・ ・ 6 員環の [ 3 ]
- 45/61 ・  $>C=O$  基の生成を伴わない反応によるもの [ 3 ]
- 45/62 ・ ・ 炭素 炭素二重結合または三重結合の水素化によるもの [ 3 ]
- 45/63 ・ ・ ハロゲンの導入によるもの；ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [ 3 ]
- 45/64 ・ ・ 単結合の酸素原子を含有する官能基の導入によるもの [ 3 ]
- 45/65 ・ ・ 水素原子または官能基の離脱によるもの；官能基の水添分解によるもの [ 3 ]
- 45/66 ・ ・ ・ 脱水反応によるもの [ 3 ]
- 45/67 ・ ・ 異性化によるもの；炭素骨格の大きさを变化させることによるもの [ 3 ]
- 45/68 ・ ・ ・ 炭素数の増加によるもの [ 3 ]
- 45/69 ・ ・ ・ ・ 炭素 炭素二重結合または三重結合への付加によるもの [ 3 ]
- 45/70 ・ ・ ・ ・ 単結合の酸素原子を含有する官能基との反応によるもの [ 3 ]
- 45/71 ・ ・ ・ ・ ・ 水酸基であるもの [ 3 ]
- 45/72 ・ ・ ・ ・  $>C=O$  基を含有する化合物と  $>C=O$  基を含有する同一または他の化合物との反応によるもの [ 3 ]
- 45/73 ・ ・ ・ ・ ・ 水素化と組み合せたもの [ 3 ]
- 45/74 ・ ・ ・ ・ ・ 脱水と組み合せたもの [ 3 ]
- 45/75 ・ ・ ・ ・ ・ ホルムアルデヒドとの反応 [ 3 ]
- 45/76 ・ ・ ・ ケテンを用いるもの [ 3 ]
- 45/77 ・ アルデヒドのキレートまたはケトンのキレートの製造 [ 3 ]

- 45/78 ・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 45/79 ・固 液処理によるもの；化学吸着によるもの [ 3 ]
- 45/80 ・液 液処理によるもの [ 3 ]
- 45/81 ・物理的状態の変化によるもの，例．結晶化 [ 3 ]
- 45/82 ・蒸留によるもの [ 3 ]
- 45/83 ・抽出蒸留によるもの [ 3 ]
- 45/84 ・共沸蒸留によるもの [ 3 ]
- 45/85 ・化学的変性をひきおこす処理によるもの [ 3 ]
- 45/86 ・添加剤の使用，例．安定化のためのもの [ 3 ]
- 45/87 ・ケテンまたはケテン二量体の製造 [ 3 ]
- 45/88 ・ケトンからのもの [ 3 ]
- 45/89 ・カルボン酸，その酸無水物，エステルまたは酸ハロゲン化物からのもの [ 3 ]
- 45/90 ・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 46/00 キノンの製造 [ 3 ]
- 46/02 ・キノン構造を生成する酸化反応によるもの [ 3 ]
- 46/04 ・6 員芳香環の置換していない環炭素原子の [ 3 ]
- 46/06 ・6 員芳香環上の少なくとも 1 個の水酸基の [ 3 ]
- 46/08 ・分子状酸素を用いるもの [ 3 ]
- 46/10 ・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 47/00 C H O 基をもつ化合物
- 47/02 ・非環式炭素原子または水素に結合している C H O 基をもつ飽和化合物
- 47/04 ・ホルムアルデヒド
- 47/042 ・一酸化炭素からの製造 [ 3 ]
- 47/045 ・解重合による製造 [ 3 ]
- 47/048 ・炭化水素の酸化による製造 [ 3 ]
- 47/052 ・メタノールの酸化による製造 [ 3 ]
- 47/055 ・触媒として貴金属またはその化合物を用いるもの [ 3 ]
- 47/058 ・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 47/06 ・アセトアルデヒド
- 47/07 ・酸化による製造 [ 3 ]
- 47/09 ・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 3 ]
- 47/105 ・環を含有するもの [ 3 ]
- 47/11 ・単環式のもの [ 3 ]
- 47/115 ・縮合環系を含有するもの [ 3 ]
- 47/12 ・2 以上の C H O 基を含有するもの
- 47/127 ・グリオキサル [ 3 ]
- 47/133 ・環を含有するもの [ 3 ]
- 47/14 ・ハロゲンを含むもの
- 47/16 ・トリクロロアセトアルデヒド
- 47/17 ・環を含有するもの [ 3 ]
- 47/19 ・水酸基を含有するもの [ 2 , 3 ]
- 47/192 ・環を含有するもの [ 3 ]
- 47/195 ・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 47/198 ・エーテル基， $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基，  
 $\text{-C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基，または  $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基を含有するもの [ 3 ]
- 47/20 ・非環式炭素原子に結合している C H O 基をもつ不飽和化合物
- 47/21 ・不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの [ 3 ]
- 47/22 ・アクロレイン；メタクロレイン [ 3 ]
- 47/222 ・不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [ 3 ]
- 47/225 ・6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 47/228 ・6 員芳香環を含有するもの，例．フェニルアセトアルデヒド [ 3 ]
- 47/23 ・多環式のもの [ 3 ]
- 47/232 ・芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 47/235 ・6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]
- 47/238 ・芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 47/24 ・ハロゲンを含むもの
- 47/26 ・水酸基を含有するもの [ 3 ]
- 47/263 ・非環式のもの [ 3 ]
- 47/267 ・6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 47/27 ・6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 47/273 ・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 47/277 ・エーテル基， $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基， $\text{-C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基，  
 $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基，または  $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$  基を含有するもの [ 3 ]
- 47/28 ・6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している C H O 基をもつ飽和化合物
- 47/293 ・3 または 4 員環を有するもの [ 3 ]
- 47/30 ・5 員環を有するもの
- 47/32 ・6 員環を有するもの
- 47/33 ・7 ~ 12 員環を有するもの [ 3 ]
- 47/34 ・多環式のもの
- 47/347 ・縮合環系上に C H O 基をもつもの [ 3 ]
- 47/353 ・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 47/36 ・水酸基を含有するもの

47/37	<p> <math>\text{&gt;C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>-\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, または <math>\text{O-C}</math> 基を含有するもの [ 3 ]</p>
47/38	<p>         ・ 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合する <math>\text{C H O}</math> 基をもつ不飽和化合物          ・ ・ 3 または 4 員環を有するもの [ 3 ]          ・ ・ 5 員環を有するもの [ 3 ]          ・ ・ 6 員環を有するもの [ 3 ]          ・ ・ 7 ~ 1 2 員環を有するもの [ 3 ]          ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]          ・ ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 3 ]          ・ ・ 環以外に不飽和結合をもつもの [ 2 ]          ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]          ・ ・ ハロゲン含有するもの [ 3 ]          ・ ・ 水酸基含有するもの       </p>
47/47	<p> <math>\text{&gt;C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>-\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, または <math>\text{O-C}</math> 基を含有するもの [ 3 ]</p>
47/52	<p>         ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合している <math>\text{C H O}</math> 基をもつ化合物          ・ ・ ベンズアルデヒド          ・ ・ アルキル化ベンズアルデヒド [ 3 ]          ・ ・ ジホルミル ベンゼン; そのアルキル化誘導体 [ 3 ]          ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]          ・ ・ 6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]          ・ ・ ハロゲン含有するもの [ 2 ]          ・ ・ 水酸基含有するもの          ・ ・ ・ すべての水酸基が環に結合してるもの [ 3 ]          ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]       </p>
47/575	<p> <math>\text{&gt;C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>-\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, または <math>\text{O-C}</math> 基を含有するもの [ 3 ]</p>
47/58	<p>         ・ ・ ・ バニリン       </p>
49/00	<p>         ケトン; ケテン; 二量化ケテン; ケトン性キレート       </p>

49/04	<p>         ・ 非環式炭素原子に結合しているケト基を含有する飽和化合物       </p>
49/08	<p>         ・ ・ アセトン [ 3 ]       </p>
49/10	<p>         ・ ・ メチル エチルケトン [ 3 ]       </p>
49/105	<p>         ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/11	<p>         ・ ・ ・ 単環式のもの [ 3 ]       </p>
49/115	<p>         ・ ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/12	<p>         ・ ・ 2 個以上のケト基を含有するケトン       </p>
49/14	<p>         ・ ・ ・ アセチルアセトン; すなわち, 2, 4 ペンタンジオン       </p>
49/15	<p>         ・ ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/16	<p>         ・ ・ ハロゲンを含むもの       </p>
49/163	<p>         ・ ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/167	<p>         ・ ・ ・ ハロゲンとしてフッ素のみを含有するもの [ 3 ]       </p>
49/17	<p>         ・ ・ 水酸基を含有するもの [ 2 ]       </p>
49/172	<p>         ・ ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/173	<p>         ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]       </p>
49/175	<p> <math>\text{&gt;C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>-\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, <math>\text{C} \begin{array}{l} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{array}</math> 基, または <math>\text{O-C}</math> 基を含有するもの [ 2, 3 ]       </p>
49/185	<p>         ・ ・ <math>\text{C H O}</math> 基を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/20	<p>         ・ 非環式炭素原子に結合しているケト基を含有する不飽和化合物       </p>
49/203	<p>         ・ ・ 不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの [ 3 ]       </p>
49/205	<p>         ・ ・ ・ メチル ビニルケトン [ 3 ]       </p>
49/207	<p>         ・ ・ 不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [ 3 ]       </p>
49/21	<p>         ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/213	<p>         ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/215	<p>         ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]       </p>
49/217	<p>         ・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]       </p>
49/223	<p>         ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]       </p>
49/225	<p>         ・ ・ 6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/227	<p>         ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]       </p>
49/23	<p>         ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/233	<p>         ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/235	<p>         ・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]       </p>
49/237	<p>         ・ ・ ・ 6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/24	<p>         ・ ・ 水酸基を含有するもの       </p>
49/242	<p>         ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]       </p>
49/245	<p>         ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]       </p>



- 49/248 . . . . 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 49/252 . . . 6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]
- 49/255 .. エーテル基,  基,   
  
 基, または  基を含有するもの [ 3 ]
- 49/258 . . . C H O 基を含有するもの [ 3 ]
- 49/29 . . . 環に結合しているケト基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 49/293 . . . 3 または 4 員環に [ 3 ]
- 49/297 . . . 5 員環に [ 3 ]
- 49/303 . . . 6 員環に [ 3 ]
- 49/307 . . . 7 ~ 12 員環に [ 3 ]
- 49/313 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/317 . . . ケト基に結合している炭素原子がともに環に属しているもの [ 3 ]
- 49/323 . . . 縮合環系に結合しているケト基をもつもの [ 3 ]
- 49/327 . . . ハロゲン含有するもの [ 3 ]
- 49/333 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/337 . . . 水酸基含有するもの [ 3 ]
- 49/345 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/35 .. エーテル基,  基,   
  
 基, または  基を含有するもの [ 3 ]
- 49/355 . . . C H O 基を含有するもの [ 3 ]
- 49/385 . . . 環部分を構成しているケト基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 49/39 . . . 3 または 4 員環の [ 3 ]
- 49/395 . . . 5 員環の [ 3 ]
- 49/403 . . . 6 員環の [ 3 ]
- 49/407 . . . . メントン [ 3 ]
- 49/413 . . . 7 ~ 12 員環の [ 3 ]
- 49/417 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/423 . . . ケト基が縮合環系の一部を構成しているもの [ 3 ]
- 49/427 . . . . 2 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/433 . . . . 縮合環系が 7 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
- 49/437 . . . . . 樟脳; フェンコン [ 3 ]
- 49/443 . . . . . 縮合環系が 8 または 9 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
- 49/447 . . . . . 縮合環系が 10 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
- 49/453 . . . . 3 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/457 . . . ハロゲン含有するもの [ 3 ]
- 49/463 . . . ケト基が 6 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/467 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/473 . . . . ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/477 . . . . . 2 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/483 . . . . . 3 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/487 . . . 水酸基含有するもの [ 3 ]
- 49/493 . . . ケト基が 3 ~ 5 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/497 . . . ケト基が 6 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/503 . . . ケト基が 7 ~ 12 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/507 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/513 . . . . ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/517 .. エーテル基,  基,   
  
 基, または  基を含有するもの [ 3 ]
- 49/523 . . . C H O 基を含有するもの [ 3 ]
- 49/527 . . . 6 員芳香環以外の環に結合しているケト基を含有する不飽和化合物 [ 3 ]
- 49/533 . . . 3 または 4 員環に [ 3 ]
- 49/537 . . . 5 員環に [ 3 ]
- 49/543 . . . 6 員環に [ 3 ]
- 49/547 . . . 7 ~ 12 員環に [ 3 ]
- 49/553 . . . 多環式のもの [ 3 ]
- 49/557 . . . 環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 49/563 . . . 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 49/567 . . . ハロゲン含有するもの [ 3 ]
- 49/573 . . . 水酸基含有するもの [ 3 ]
- 49/577 .. エーテル基,  基,   
  
 基, または  基を含有するもの [ 3 ]
- 49/583 . . . C H O 基を含有するもの [ 3 ]
- 49/587 . . . 環部分を構成しているケト基を含有する不飽和化合物 [ 3 ]
- 49/593 . . . 3 または 4 員環の [ 3 ]

- 49/597 ・ ・ 5 員環の [ 3 ]
- 49/603 ・ ・ 6 員環のもの, 例 . キノンメチド [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 49/607 ・ ・ 7 ~ 1 2 員環の [ 3 ]
- 49/613 ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/617 ・ ・ ・ ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/623 ・ ・ ・ ・ 2 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/627 ・ ・ ・ ・ 縮合環系が 7 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
- 49/633 ・ ・ ・ ・ 縮合環系が 8 または 9 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
- 49/637 ・ ・ ・ ・ 縮合環系が 1 0 個の炭素原子を含有するもの [ 3 ]
- 49/643 ・ ・ ・ ・ 3 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/647 ・ ・ 環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 49/653 ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/657 ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 49/665 ・ ・ ・ ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/67 ・ ・ ・ ・ 2 個の環をもつもの, 例 . テトラロン [ 3 ]
- 49/675 ・ ・ ・ ・ 3 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/683 ・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 49/687 ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 49/693 ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/697 ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 49/703 ・ ・ 水酸基を含有するもの [ 3 ]
- 49/707 ・ ・ ・ ケト基が 3 ~ 5 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/713 ・ ・ ・ ケト基が 6 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/717 ・ ・ ・ ケト基が 7 ~ 1 2 員環の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/723 ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/727 ・ ・ ・ ・ ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 49/733 ・ ・ ・ ・ 2 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/737 ・ ・ ・ ・ 3 個の環をもつもの [ 3 ]
- 49/743 ・ ・ ・ 環以外に不飽和結合をもつもの, 例 . フムロン, ルブロン [ 3 ]
- 49/747 ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 49/753 ・ ・ エーテル基,  $\begin{array}{c} \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基,  $\begin{array}{c} \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基, または  $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \text{C} \diagup \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基, または  $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \text{C} \diagup \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基を含有するもの [ 3 ]
- 49/755 ・ ・ ・ ケト基が, 少なくとも 1 個の環が 6 員芳香環である 2 または 3 個の環を有す

る縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]

- 49/757 ・ ・ C H O 基を含有するもの [ 3 ]
- 49/76 ・ 6 員芳香環に結合しているケト基を含有するケトン( 縮合環系の環部分を構成し, 6 員芳香環に結合しているケト基をもつ化合物 C 0 7 C 4 9 / 6 5 7 ~ C 0 7 C 4 9 / 7 5 7 )
- 49/78 ・ ・ アセトフェノン
- 49/782 ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/784 ・ ・ ・ すべてのケト基が非縮合環に結合しているもの [ 3 ]
- 49/786 ・ ・ ・ ベンゾフェノン [ 3 ]
- 49/788 ・ ・ ・ ケト基が縮合環系に結合しているもの [ 3 ]
- 49/792 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 49/794 ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 49/796 ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/798 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 49/80 ・ ・ ハロゲンを含むもの
- 49/807 ・ ・ ・ すべてのハロゲン原子が環に結合しているもの [ 3 ]
- 49/813 ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/82 ・ ・ 水酸基を含有するもの [ 3 ]
- 49/825 ・ ・ ・ すべての水酸基が環に結合しているもの [ 3 ]
- 49/83 ・ ・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
- 49/835 ・ ・ ・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]

- 49/84 ・ ・ エーテル基,  $\begin{array}{c} \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基,  $\begin{array}{c} \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基, または  $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \text{C} \diagup \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基を含有するもの [ 2 , 3 ]

- 49/86 ・ ・ C H O 基を含有するもの [ 3 ]
- 49/88 ・ ケテン; 二量化ケテン [ 3 ]
- 49/90 ・ ・ ケテン, すなわち, C<sub>2</sub>H<sub>2</sub>O [ 3 ]
- 49/92 ・ ケトン性キレート [ 3 ]
- 50/00 キノン [ 2 0 0 6 . 0 1 ]

## 注

このグループにおいては, キンヒドロンはそのキノイド部分にしたがって分類する。 [ 3 ]

- 50/02 ・ 単環式キノイド構造を有するもの [ 3 ]
- 50/04 ・ ・ ベンゾキノン, すなわち, C<sub>6</sub>H<sub>4</sub>O<sub>2</sub> [ 3 ]
- 50/06 ・ ・ キノイド構造以外に不飽和結合を有するもの [ 3 ]
- 50/08 ・ 多環式非縮合キノイド構造を有するもの [ 3 ]

- 50/10 ・キノイド構造が2個の環を含有する縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 50/12 ・・ナフトキノン, すなわち,  $C_{10}H_6O_2$  [ 3 ]
- 50/14 ・・環系以外に不飽和結合を有するもの, 例. ビタミン $K_1$  [ 3 ]
- 50/16 ・キノイド構造が3個の環を含有する縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 50/18 ・・アントラキノン, すなわち,  $C_{14}H_8O_2$  [ 3 ]
- 50/20 ・・環系以外に不飽和結合を有するもの [ 3 ]
- 50/22 ・キノイド構造が4個以上の環を含有する縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 50/24 ・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 50/26 ・炭素原子に単結合している酸素原子をもつ基を含有するもの [ 3 ]
- 50/28 ・・単環式キノイド構造を有するもの [ 3 ]
- 50/30 ・・多環式非縮合キノイド構造を有するもの [ 3 ]
- 50/32 ・・キノイド構造が2個の環をもつ縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 50/34 ・・キノイド構造が3個の環をもつ縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 50/36 ・・キノイド構造が4個以上の環をもつ縮合環系の環部分を構成しているもの [ 3 ]
- 50/38 ・  $CHO$  または非キノイドケト基を含有するもの [ 3 ]
- 51/00 カルボン酸またはその塩, 酸ハロゲン化物または酸無水物の製造 [ 2 ]
- 51/02 ・カルボン酸の塩から
- 51/04 ・カルボン酸ハロゲン化物から
- 51/06 ・カルボン酸アミドのけん化によるもの
- 51/08 ・ニトリルから
- 51/083 ・カルボン酸無水物から [ 3 ]
- 51/087 ・・加水分解によるもの [ 3 ]
- 51/09 ・カルボン酸エステルまたはラクトンから (カルボン酸エステルのけん化  $C 0 7 C 2 7 / 0 2$ )
- 51/093 ・  $CX_3$  基 (Xはハロゲン) の加水分解によるもの [ 3 ]
- 51/097 ・ニトロ置換有機化合物からまたはそれを経由するもの [ 3 ]
- 51/10 ・一酸化炭素との反応によるもの
- 51/12 ・・有機化合物中の酸素含有基におけるもの, 例. アルコール
- 51/14 ・・有機化合物中の炭素 炭素不飽和結合におけるもの [ 3 ]
- 51/145 ・・酸化を同時に伴うもの [ 3 ]
- 51/15 ・有機化合物と二酸化炭素との反応によるもの, 例. コルベ-シュミット合成 [ 2 ]
- 51/16 ・酸化によるもの (  $C 0 7 C 5 1 / 1 4 5$  が優先 ) [ 3 ]
- 51/21 ・・分子状酸素を用いるもの [ 3 ]
- 51/215 ・・・飽和ヒドロカルビル基の [ 3 ]
- 51/225 ・・・・パラフィンワックスの [ 3 ]
- 51/23 ・・・酸素含有基のカルボキシル基への [ 3 ]
- 51/235 ・・・・  $CHO$  基または第一級アルコール基の [ 3 ]
- 51/245 ・・・・ケト基または第二級アルコール基の [ 3 ]
- 51/25 ・・・6員芳香環を含有しない不飽和化合物の [ 3 ]
- 51/255 ・・・6員芳香環を含有する化合物の環開裂を伴わないもの [ 3 ]
- 51/265 ・・・・アルキル側鎖を酸化してカルボキシル基にするもの [ 3 ]
- 51/27 ・・窒素酸化物または窒素を含有する鉱酸を用いるもの [ 3 ]
- 51/275 ・・・炭化水素基の [ 3 ]
- 51/285 ・・過酸化物を用いるもの [ 3 ]
- 51/29 ・・その場で形成してもよいハロゲンを含有する化合物を用いるもの [ 3 ]
- 51/295 ・・無機塩基を用いるもの, 例. アルカリ熔融によるもの [ 3 ]
- 51/305 ・・硫黄または硫黄を含有する化合物を用いるもの [ 3 ]
- 51/31 ・・環式化合物の環開裂を伴うもの [ 3 ]
- 51/34 ・オゾン酸化によるもの; オゾニドの加水分解によるもの [ 3 ]
- 51/347 ・カルボキシル基の生成を伴わない反応によるもの [ 3 ]
- 51/353 ・・異性化によるもの; 炭素骨格の大きさを変化させることによるもの [ 3 ]
- 51/36 ・・炭素 炭素不飽和結合の水素添加によるもの [ 3 ]
- 51/363 ・・ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [ 3 ]
- 51/367 ・・単結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの [ 3 ]
- 51/373 ・・二重結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの [ 3 ]
- 51/377 ・・水素または官能基の離脱によるもの; 官能基の水添分解によるもの [ 3 ]
- 51/38 ・・・脱炭酸によるもの [ 3 ]
- 51/41 ・酸またはその塩をその酸部分において塩に変換することによるカルボン酸塩の製造 (石けんの製造  $C 1 1 D$ ) [ 3 ]
- 51/42 ・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [ 3 ]
- 51/43 ・・物理的状態の変化によるもの, 例. 結晶化 [ 3 ]
- 51/44 ・・・蒸留によるもの [ 3 ]
- 51/46 ・・・・共沸蒸留によるもの [ 3 ]
- 51/47 ・・固 液処理によるもの; 化学吸着によるもの [ 3 ]

- 51/48 ・ ・ 液 液処理によるもの
- 51/487 ・ ・ 化学的变化をひきおこす処理によるもの ( 化学吸着によるもの C 0 7 C 5 1 / 4 7 ) [ 3 ]
- 51/493 ・ ・ ・ カルボン酸エステルを形成することによるもの [ 3 ]
- 51/50 ・ ・ 添加剤の使用, 例 . 安定化のためのもの [ 3 ]
- 51/54 ・ カルボン酸無水物の製造 ( 酸化によるもの C 0 7 C 5 1 / 1 6 )
- 51/56 ・ ・ 有機酸, その塩またはそのエステルからのもの
- 51/567 ・ ・ カルボン酸無水物基の関与しない反応によるもの [ 3 ]
- 51/573 ・ ・ 分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [ 3 ]
- 51/58 ・ カルボン酸ハロゲン化物の製造
- 51/60 ・ ・ カルボン酸またはその無水物をその酸部分においてハロゲン化物に変換することによるもの [ 3 ]
- 51/62 ・ ・ カルボン酸ハロゲン化物基の関与しない反応によるもの [ 3 ]
- 51/64 ・ ・ 分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [ 3 ]
- 53/00 非環式炭素原子または水素に結合している 1 個のカルボキシル基をもつ飽和化合物
- 53/02 ・ ぎ酸
- 53/04 ・ ・ 一酸化炭素からの製造
- 53/06 ・ ・ その塩
- 53/08 ・ 酢酸
- 53/10 ・ ・ その塩
- 53/12 ・ 無水酢酸 ( ケテン C 0 7 C 4 9 / 9 0 )
- 53/122 ・ プロピオン酸 [ 3 ]
- 53/124 ・ 4 個の炭素原子を含有する酸 [ 3 ]
- 53/126 ・ 5 個以上の炭素原子を含有する酸 [ 3 ]
- 53/128 ・ ・ カルボキシル基が少なくとも 2 個の他の炭素原子に結合している炭素原子に結合しているもの, 例 . ネオ酸 [ 3 ]
- 53/132 ・ 環を含有するもの [ 3 ]
- 53/134 ・ ・ 単環式のもの [ 3 ]
- 53/136 ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 3 ]
- 53/138 ・ ・ ・ アダマンタン環系を含有するもの [ 3 ]
- 53/15 ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 53/16 ・ ・ ハロ酢酸 [ 3 ]
- 53/18 ・ ・ ・ フッ素を含有するもの [ 3 ]
- 53/19 ・ ・ 3 個以上の炭素原子を含有する酸 [ 3 ]
- 53/21 ・ ・ ・ フッ素を含有するもの [ 3 ]
- 53/23 ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]
- 53/38 ・ 酸ハロゲン化物 [ 3 ]
- 53/40 ・ ・ 酢酸ハロゲン化物 [ 3 ]
- 53/42 ・ ・ 3 個以上の炭素原子を含有する酸の [ 3 ]
- 53/44 ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]
- 53/46 ・ ・ カルボニルハライド基以外にハロゲン含有するもの [ 3 ]
- 53/48 ・ ・ ・ ハロゲン化酢酸ハロゲン化物 [ 3 ]
- 53/50 ・ ・ ・ 3 個以上の炭素原子を含有する酸の [ 3 ]
- 55/00 非環式炭素原子に結合している 2 個以上のカルボキシル基をもつ飽和化合物 [ 2 ]
- 55/02 ・ 二塩基性カルボン酸
- 55/06 ・ ・ しゅう酸
- 55/07 ・ ・ ・ その塩 [ 3 ]
- 55/08 ・ ・ マロン酸
- 55/10 ・ ・ こはく酸
- 55/12 ・ ・ グルタル酸
- 55/14 ・ ・ アジピン酸
- 55/16 ・ ・ ピメリン酸
- 55/18 ・ ・ アゼライン酸
- 55/20 ・ ・ セバシン酸
- 55/21 ・ ・ 1 2 個の炭素原子をもつ二塩基性カルボン酸 [ 3 ]
- 55/22 ・ 三塩基性カルボン酸
- 55/24 ・ 4 個以上のカルボキシル基を含有するもの
- 55/26 ・ 環を含有するもの [ 3 ]
- 55/28 ・ ・ 単環式のもの [ 3 ]
- 55/30 ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 3 ]
- 55/32 ・ ハロゲン含有するもの [ 3 ]
- 55/34 ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]
- 55/36 ・ 酸ハロゲン化物 [ 3 ]
- 55/38 ・ ・ 環を含有するもの [ 3 ]
- 55/40 ・ ・ カルボニルハライド基以外にハロゲン含有するもの [ 3 ]
- 57/00 非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつ不飽和化合物 [ 2 ]
- 57/02 ・ 不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの
- 57/03 ・ ・ 一塩基性カルボン酸 [ 3 ]
- 57/04 ・ ・ ・ アクリル酸 ; メタクリル酸 [ 3 ]
- 57/045 ・ ・ ・ 液相酸化による製造 [ 3 ]
- 57/05 ・ ・ ・ 気相酸化による製造 [ 3 ]
- 57/055 ・ ・ ・ ・ 不飽和アルデヒドを原料とするもの [ 3 ]
- 57/065 ・ ・ ・ H X ( X はハロゲン, O R または N R<sub>2</sub> ( R は水素または炭化水素基 )) の脱離による製造 [ 3 ]
- 57/07 ・ ・ ・ 分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [ 3 ]
- 57/075 ・ ・ ・ ・ 添加剤の使用, 例 . 安定化のためのもの [ 3 ]
- 57/08 ・ ・ ・ クロトン酸 [ 3 ]
- 57/10 ・ ・ ・ ソルビン酸 [ 3 ]
- 57/12 ・ ・ ・ 1 8 個の炭素原子を含有する直鎖カルボン酸 [ 3 ]
- 57/13 ・ ・ 二塩基性カルボン酸 [ 3 ]
- 57/145 ・ ・ ・ マレイン酸 [ 3 ]
- 57/15 ・ ・ ・ フマル酸 [ 3 ]
- 57/155 ・ ・ ・ シトラコン酸 [ 3 ]

- 57/16 ・・・・ムコン酸 [ 3 ]
- 57/18 ・不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみをもつもの
- 57/20 ・・プロピオール酸
- 57/22 ・・アセチレンジカルボン酸
- 57/24 ・・ジアセチレンまたはポリアセチレンジカルボン酸
- 57/26 ・6員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 57/28 ・・アダマンタン環系を含有するもの [ 3 ]
- 57/30 ・6員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 57/32 ・・フェニル酢酸 [ 3 ]
- 57/34 ・・2個以上のカルボキシル基を含有するもの [ 3 ]
- 57/36 ・・・・フェニルマロン酸 [ 3 ]
- 57/38 ・・多環式のもの [ 3 ]
- 57/40 ・・・・縮合環系を含有するもの [ 3 ]
- 57/42 ・・環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 57/44 ・・・・桂皮酸 [ 3 ]
- 57/46 ・6員芳香環および他の環を含有するもの、例・シクロヘキシルフェニル酢酸 [ 3 ]
- 57/48 ・・芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 57/50 ・・縮合環系を含有するもの [ 3 ]
- 57/52 ・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 57/54 ・・ハロアクリル酸またはハロメタクリル酸 [ 3 ]
- 57/56 ・・6員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 57/58 ・・6員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 57/60 ・・・・環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
- 57/62 ・・6員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]
- 57/64 ・酸ハロゲン化物 [ 3 ]
- 57/66 ・・不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの [ 3 ]
- 57/68 ・・不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [ 3 ]
- 57/70 ・・6員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
- 57/72 ・・6員芳香環を含有するもの [ 3 ]
- 57/74 ・・6員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]
- 57/76 ・・カルボニルハライド基以外にハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 59/00 非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基およびOH, O 金属, CHO, ケト, エーテル,  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基,  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基または  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基を含有する化合物 [ 2 ]
- 59/01 ・1個のカルボキシル基をもち、水酸基またはO 金属基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 59/06 ・・グリコール酸 [ 3 ]
- 59/08 ・・乳酸 [ 3 ]
- 59/10 ・・ポリヒドロキシカルボン酸
- 59/105 ・・・・5個以上の炭素原子をもつもの、例・アルドン酸 [ 3 ]
- 59/11 ・・環を含有するもの [ 3 ]
- 59/115 ・・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 59/125 ・1個のカルボキシル基をもち、エーテル基,  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基,  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基または  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 59/13 ・・環を含有するもの [ 3 ]
- 59/135 ・・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 59/147 ・1個のカルボキシル基をもち, CHO 基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 59/153 ・・グリオキシル酸 [ 3 ]
- 59/185 ・1個のカルボキシル基をもち、ケト基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 59/19 ・・ピルピン酸 [ 3 ]
- 59/195 ・・アセト酢酸 [ 3 ]
- 59/205 ・・環を含有するもの [ 3 ]
- 59/21 ・・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 59/215 ・・単結合の酸素を含有する基を含有するもの [ 3 ]
- 59/225 ・・CHO基を含有するもの [ 3 ]
- 59/235 ・2個以上のカルボキシル基をもつ飽和化合物 [ 3 ]
- 59/245 ・・水酸基またはO 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 59/255 ・・・・酒石酸 [ 3 ]
- 59/265 ・・・・クエン酸 [ 3 ]
- 59/285 ・・・・5個以上の炭素原子をもつポリヒドロキシ二塩基性カルボン酸、例・糖酸 [ 3 ]
- 59/29 ・・・・環を含有するもの [ 3 ]
- 59/295 ・・・・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 59/305 ・・エーテル基,  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基,  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基または  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \text{C} \diagdown \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$  基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
- 59/31 ・・・・環を含有するもの [ 3 ]
- 59/315 ・・・・ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
- 59/325 ・・CHO基を含有するもの [ 3 ]
- 59/347 ・・ケト基を含有するもの [ 3 ]
- 59/353 ・・・・環を含有するもの [ 3 ]
- 59/40 ・不飽和化合物 [ 3 ]
- 59/42 ・・水酸基またはO 金属基を含有するもの [ 3 ]
- 59/44 ・・・・リシノール酸 [ 3 ]

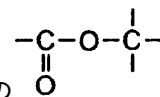
59/46	・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]	61/12	・ 飽和多環式化合物 [ 3 ]
59/48	・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]	61/125	・ ・ 縮合環系に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 3 ]
59/50	・ ・ ・ ・ マンデル酸 [ 3 ]	61/13	・ ・ ・ 2 個の環をもつもの [ 3 ]
59/52	・ ・ ・ 水酸基または O 金属基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]	61/135	・ ・ ・ 3 個の環をもつもの [ 3 ]
59/54	・ ・ ・ 6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]	61/15	・ ハロゲンを含有する飽和化合物 [ 3 ]
59/56	・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]	61/16	・ 不飽和化合物 [ 3 ]
59/58	・ ・ エーテル基 , $\text{>C<}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基 , $-\text{C}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基または $\text{C}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基を含有する不飽和化合物 [ 3 ]	61/20	・ ・ 5 員環に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 3 ]
59/60	・ ・ ・ エーテルの非カルボキシル基部分が不飽和であるもの [ 3 ]	61/22	・ ・ 6 員環に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 3 ]
59/62	・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]	61/24	・ ・ ・ 部分的に水素化されたベンゼンジカルボン酸 [ 3 ]
59/64	・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]	61/26	・ ・ 7 ~ 1 2 員環に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 3 ]
59/66	・ ・ ・ ・ エーテルの非カルボキシル基部分が 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]	61/28	・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
59/68	・ ・ ・ ・ エーテル基の酸素原子が非縮合 6 員芳香環に結合しているもの [ 3 ]	61/29	・ ・ ・ 縮合環系に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 3 ]
59/70	・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシ酢酸のエーテル [ 3 ]	61/35	・ ・ 環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
59/72	・ ・ ・ 6 員芳香環および他の環を含有するもの [ 3 ]	61/37	・ ・ ・ 菊酸 [ 3 ]
59/74	・ ・ C H O 基を含有するもの [ 3 ]	61/39	・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]
59/76	・ ・ ケト基を含有するもの [ 3 ]	61/40	・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
59/80	・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]	62/00	6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもち , O H , O 金属 , C H O , ケト , エーテル , $\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ $\text{>C<}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基 , $\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基または $\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基のうちのいずれかの基を含有する化合物 [ 3 ]
59/82	・ ・ ・ ケト基が環部分を構成しているもの [ 3 ]	62/02	・ 水酸基または O 金属基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
59/84	・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 3 ]	62/04	・ ・ 6 員環を有するもの [ 3 ]
59/86	・ ・ ・ 6 員芳香環と他の環を含有するもの [ 3 ]	62/06	・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
59/88	・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]	62/08	・ エーテル基 , $\text{>C<}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基 , $-\text{C}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基または $\text{C}\begin{smallmatrix} \text{O}^- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基を含有するもの [ 3 ]
59/90	・ ・ ・ 単結合の酸素含有基を含有するもの [ 3 ]	62/10	・ ・ 6 員環を有するもの [ 3 ]
59/92	・ ・ ・ C H O 基を含有するもの [ 3 ]	62/12	・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
61/00	6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつ化合物	62/14	・ ・ ・ 縮合環系上にカルボキシル基をもつもの [ 3 ]
61/04	・ 3 員環または 4 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [ 3 ]	62/16	・ C H O 基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
61/06	・ 5 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [ 3 ]	62/18	・ ケト基を含有する飽和化合物 [ 3 ]
61/08	・ 6 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [ 3 ]	62/20	・ ・ 6 員環を有するもの [ 3 ]
61/09	・ ・ 完全に水素化されたベンゼンジカルボン酸 [ 2 , 3 ]	62/22	・ ・ 多環式のもの [ 3 ]
61/10	・ 7 ~ 1 2 員環に結合しているカルボキシ	62/24	・ ・ ケト基が環部分を構成しているもの [ 3 ]
		62/26	・ ・ 単結合の酸素含有基を含有するもの [ 3 ]
		62/28	・ ・ C H O 基を含有するもの [ 3 ]

62/30	・不飽和化合物 [ 3 ]		
62/32	・水酸基またはO 金属基を含有するもの [ 3 ]		
62/34	・エーテル基, $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基, $-\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基, $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基または $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基を含有するもの [ 3 ]	63/48	[ 3 ] ・縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 3 個以上含有するもの [ 3 ]
62/36	・ CHO 基を含有するもの [ 3 ]	63/49	・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
62/38	・ ケト基を含有するもの [ 3 ]	63/64	・ 芳香環以外に不飽和結合を有する単環式カルボン酸 [ 3 ]
63/00	6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつ化合物 [ 2 ]	63/66	・ 芳香環以外に不飽和結合を有する多環式カルボン酸 [ 3 ]
63/04	・ 単環式一塩基性カルボン酸	63/68	・ ハロゲンを含有するもの [ 3 ]
63/06	・ 安息香酸	63/70	・ 一塩基酸 [ 3 ]
63/08	・ その塩	63/72	・ 多塩基酸 [ 3 ]
63/10	・ そのハロゲン化物	63/74	・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
63/14	・ 単環式二塩基性カルボン酸	65/00	6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもち, OH, O 金属, C HO, ケト, エーテル, $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基, $-\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基 または $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基のいずれかの官能基を含有する化合物
63/15	・ すべてのカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 3 ]	65/01	・ 水酸基またはO 金属基を含有するもの [ 3 ]
63/16	・ 1, 2 ベンゼンジカルボン酸 [ 3 ]	65/03	・ すべての水酸基またはO 金属基が環に結合している単環式のもの [ 3 ]
63/20	・ その塩 [ 3 ]	65/05	・ o ヒドロキシカルボン酸 [ 3 ]
63/22	・ そのハロゲン化物 [ 3 ]	65/10	・ サリチル酸 [ 3 ]
63/24	・ 1, 3 ベンゼンジカルボン酸 [ 3 ]	65/105	・ 多環式のもの [ 3 ]
63/26	・ 1, 4 ベンゼンジカルボン酸 [ 3 ]	65/11	・ 2 個の環からなる縮合環系にカルボキシル基を有するもの [ 3 ]
63/28	・ その塩 [ 3 ]	65/15	・ 3 個以上の環からなる縮合環系にカルボキシル基を有するもの [ 3 ]
63/30	・ そのハロゲン化物 [ 3 ]	65/17	・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
63/307	・ 単環式三塩基性カルボン酸 [ 3 ]	65/19	・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
63/313	・ 4 個以上のカルボキシル基を含有する単環式の酸 [ 3 ]		
63/33	・ 多環式の酸 [ 2, 3 ]	65/21	・ エーテル基, $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基, $-\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基, $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基, または $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O}- \\ \text{O}-\text{C} \\ \text{O}-\text{C} \end{smallmatrix}$ 基を含有するもの [ 3 ]
63/331	・ すべてのカルボキシル基が非縮合環に結合しているもの [ 3 ]	65/24	・ 多環式のもの [ 3 ]
63/333	・ 4, 4 ビフェニルジカルボン酸 [ 2, 3 ]	65/26	・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
63/337	・ カルボキシル基が縮合環系に結合しているもの [ 2, 3 ]	65/28	・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
63/34	・ 2 個の環を含有するもの [ 3 ]	65/30	・ CHO 基を含有するもの [ 3 ]
63/36	・ 1 個のカルボキシル基を含有するもの [ 3 ]	65/32	・ ケト基を含有するもの [ 3 ]
63/38	・ 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 2 個含有するもの [ 3 ]	65/34	・ 多環式のもの [ 3 ]
63/40	・ 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 3 個以上含有するもの [ 3 ]	65/36	・ 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 3 ]
63/42	・ 3 個以上の環を含有するもの [ 3 ]	65/38	・ 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [ 3 ]
63/44	・ 1 個のカルボキシル基を含有するもの [ 3 ]	65/40	・ 単結合の酸素含有基を含有するもの [ 3 ]
63/46	・ 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 2 個含有するもの [ 3 ]	65/42	・ CHO 基を含有するもの [ 3 ]

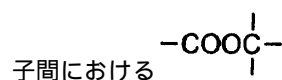
- 66/00 キノンカルボン酸 [ 2 ]  
 66/02 ・アントラキノンカルボン酸 [ 2 ]  
 67/00 カルボン酸エステルの製造  
 注  
 このグループにおいては、原料として使用されるラク톤はエステルとみなす。 [ 3 ]  
 67/02 ・エステル基相互の反応によるもの、すなわちエステル交換反応によるもの  
 67/03 ・エステル基と水酸基との反応によるもの [ 2 ]  
 67/035 ・カルボン酸または対称無水物と飽和炭化水素との反応によるもの [ 3 ]  
 67/04 ・カルボン酸または対称無水物と炭素 炭素不飽和結合との反応によるもの [ 2 ]  
 67/05 ・酸化によるもの [ 2 , 3 ]  
 67/055 ・白金族金属またはそれらの化合物の存在下に行なうもの [ 3 ]  
 67/08 ・カルボン酸または対称無水物と有機化合物の水酸基または O 金属基との反応によるもの [ 2 ]  
 67/10 ・カルボン酸または対称無水物とエステル基または炭素 ハロゲン結合との反応によるもの [ 2 ]  
 67/11 ・鉱酸エステル基であるもの [ 3 ]  
 67/12 ・非対称無水物からのもの [ 2 ]  
 67/14 ・カルボン酸ハロゲン化物からのもの [ 2 ]  
 67/16 ・1 個の酸素原子が硫黄、セレンまたはテルル原子で置換されているカルボン酸、エステルまたは無水物からのもの [ 2 ]  
 67/18 ・窒素含有基のエステルへの転換によるもの [ 2 ]  
 67/20 ・アミドまたはラクタムからのもの [ 2 ]  
 67/22 ・ニトリルからのもの [ 2 ]  
 67/24 ・カルボン酸またはその誘導体と炭素 酸素エーテル結合、例、アセタール、テトラヒドロフラン、との反応によるもの [ 2 ]  
 67/26 ・オキシラン環を用いるもの [ 2 ]  
 67/27 ・オルトエステルからのもの [ 3 ]  
 67/28 ・エステル基を導入することなくエステルのヒドロキシル部分を変化させることによるもの [ 2 ]  
 67/283 ・炭素 炭素不飽和結合の水素添加によるもの [ 3 ]  
 67/287 ・ハロゲンの導入によるもの；ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換させることによるもの [ 3 ]  
 67/29 ・酸素含有官能基の導入によるもの [ 3 ]  
 67/293 ・異性化によるもの；炭素骨格の大きさを変化させるもの [ 3 ]  
 67/297 ・水素または官能基の離脱によるもの；官能基の水添分解によるもの [ 3 ]  
 67/30 ・エステル基を導入することなくエステル

の酸部分を変化させることによるもの [ 2 ]

- 67/303 ・炭素 炭素不飽和結合の水素添加によるもの [ 3 ]  
 67/307 ・ハロゲンの導入によるもの；ハロゲン原子を他のハロゲン原子で置換することによるもの [ 3 ]  
 67/31 ・単結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの [ 3 ]  
 67/313 ・二重結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの、例、カルボキシ基 [ 3 ]  
 67/317 ・水素または官能基の離脱によるもの；官能基の水添分解によるもの [ 3 ]  
 67/32 ・脱カルボキシ基化 [ 2 , 3 ]  
 67/327 ・単結合の酸素を含有する官能基の脱離によるもの [ 3 ]  
 67/333 ・異性化によるもの；炭素骨格の大きさを変化させることによるもの（カルボキシ基の導入または脱離によるもの C 0 7 C 6 7 / 3 1 3 , C 0 7 C 6 7 / 3 2 ） [ 3 ]



- 67/34 ・分子中の 基の移動 [ 2 , 3 ]  
 67/343 ・炭素原子数が増加することによるもの [ 3 ]  
 67/347 ・炭素 炭素不飽和結合への付加によるもの [ 3 ]  
 67/36 ・一酸化炭素またはホルメートとの反応によるもの（C 0 7 C 6 7 / 0 2 , C 0 7 C 6 7 / 0 3 , C 0 7 C 6 7 / 1 0 が優先） [ 2 ]  
 67/37 ・一酸化炭素とエーテルとの反応によるもの [ 2 ]  
 67/38 ・炭素 炭素不飽和結合への付加によるもの [ 2 ]  
 67/39 ・エステルの酸部分に変化する官能基の酸化によるもの [ 3 ]  
 67/40 ・第一級アルコールの酸化によるもの [ 2 , 3 ]  
 67/42 ・第二級アルコールまたはケトンの酸化によるもの [ 2 , 3 ]  
 67/44 ・アルデヒドの酸化 還元によるもの、例、ティシエンコ反応 [ 2 ]  
 67/46 ・ケテンまたはポリケテンからのもの [ 2 ]  
 67/465 ・低量重合によるもの [ 3 ]  
 67/47 ・テロメリ化によるもの（高分子化合物 C 0 8 ） [ 3 ]  
 67/475 ・炭素 炭素結合の開裂および再分配によるもの、例、不均化反応または異種の分



子間における 基の移動 [ 3 ]



67/48	・分離；精製；安定化；添加剤の使用[ 2 , 3 ]		炭素原子に結合している不飽和アルコールでエステル化されているもの[ 3 ]
67/52	・物理状態の変化によるもの，例．結晶化[ 3 ]	69/03	・エステル化されている水酸基が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアルコールでエステル化されているもの[ 3 ]
67/54	・蒸留によるもの[ 3 ]		
67/56	・固 液処理によるもの；化学吸着によるもの[ 3 ]	69/035	・エステル化されている水酸基が6員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物でエステル化されているもの[ 3 ]
67/58	・液 液処理によるもの[ 3 ]		
67/60	・化学的变化をひきおこす処理によるもの(化学吸着C 0 7 C 6 7 / 5 6)[ 3 ]	69/04	・ぎ酸エステル
67/62	・添加剤の使用，例．安定化のためのもの[ 3 ]	69/06	・1個の水酸基を有する化合物の
68/00	炭酸またはハロギ酸のエステルの製造[ 2 0 2 0 . 0 1 ]	69/07	・不飽和アルコールのもの[ 2 ]
68/01	・一酸化炭素および酸素からの[ 2 0 2 0 . 0 1 ]	69/08	・2個の水酸基を有する化合物の
68/02	・ホスゲンまたはハロホルメートからの[ 2 ]	69/10	・3個の水酸基を有する化合物の
68/04	・二酸化炭素または無機カーボネートからの[ 2 ]	69/12	・酢酸エステル
68/06	・有機カーボネートからの[ 2 0 2 0 . 0 1 ]	69/14	・1個の水酸基を有する化合物の
68/065	・アルキレンカーボネートからの[ 2 0 2 0 . 0 1 ]	69/145	・不飽和アルコールのもの[ 2 ]
68/08	・精製；分離；安定化[ 2 ]	69/15	・酢酸ビニル[ 2 ]
69/00	カルボン酸のエステル；炭酸またはハロギ酸のエステル	69/155	・酢酸アリル[ 2 ]
注		69/157	・6員芳香環を含有するもの[ 3 ]
このサブクラスのタイトルに続く注( 6 )に注意すること。[ 5 ]		69/16	・2個の水酸基を有する化合物の
69/003	・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している飽和アルコールのエステル[ 3 ]	69/18	・3個の水酸基を有する化合物の
69/007	・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコールのエステル[ 3 ]	69/21	・4個以上の水酸基を有する化合物の[ 2 ]
69/01	・ビニルエステル[ 3 ]	69/22	・酸部分に3個以上の炭素原子をもつものの
69/013	・エステル化されている水酸基が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアルコールのエステル[ 3 ]	69/24	・1個の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの
69/017	・エステル化されている水酸基が6員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物のエステル[ 3 ]	69/26	・合成ろう
注		69/28	・2個の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの
択一的に特定された酸部分をもつエステル，すなわち6 9 / 0 2 , 6 9 / 3 4 , 6 9 / 5 2 , 6 9 / 6 0 8 , 6 9 / 6 1 2 , 6 9 / 6 2 , 6 9 / 6 6 , 6 9 / 7 4 , 6 9 / 7 6 , 6 9 / 9 5 , 6 9 / 9 6 の2以上のグループに包含されるエステルは，それらのアルコール部分に応じて6 9 / 0 0 3 から6 9 / 0 1 7 までのグループに包含される。[ 3 ]		69/30	・3個の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの
69/02	・カルボキシ基が非環式炭素原子または水素に結合している非環式飽和一塩基酸のエステル	69/33	・4個以上の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの[ 2 ]
69/025	・エステル化されている水酸基が非環式	69/34	・エステル化されているカルボキシ基が非環式炭素原子に結合している非環式飽和多塩基酸のエステル[ 3 ]
		69/347	・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコールでエステル化されているもの[ 3 ]
		69/353	・エステル化されている水酸基が6員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物でエステル化されているもの[ 3 ]
		69/36	・しゅう酸エステル[ 3 ]
		69/38	・マロン酸エステル[ 3 ]
		69/40	・こはく酸エステル[ 3 ]
		69/42	・グルタル酸エステル[ 3 ]
		69/44	・アジピン酸エステル[ 3 ]
		69/46	・ピメリン酸エステル[ 3 ]
		69/48	・アゼライン酸エステル[ 3 ]

- 69/50 ・セバシン酸エステル [ 3 ]
- 69/52 ・エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子に結合している非環式不飽和カルボン酸のエステル [ 3 ]
- 69/527 ・不飽和ヒドロキシ化合物の [ 3 ]
- 69/533 ・炭素 炭素二重結合を 1 個もつ一塩基酸のエステル [ 3 ]
- 69/54 ・アクリル酸エステル; メタクリル酸エステル [ 3 ]
- 69/56 ・クロトン酸エステル; ビニル酢酸エステル [ 3 ]
- 69/58 ・酸部分に 1 8 個の炭素原子をもつ直鎖カルボン酸のエステル [ 3 ]
- 69/587 ・炭素 炭素二重結合を少なくとも 2 個有する一塩基酸のエステル [ 3 ]
- 69/593 ・炭素 炭素二重結合を 1 個有する二塩基酸のエステル [ 3 ]
- 69/60 ・マレイン酸エステル; フマル酸エステル [ 3 ]
- 69/602 ・炭素 炭素二重結合を少なくとも 2 個有する二塩基酸のエステル [ 3 ]
- 69/604 ・多塩基酸のエステル, 酸部分に 3 個以上のカルボキシル基を含有するもの [ 3 ]
- 69/606 ・カルボン酸部分に不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [ 3 ]
- 69/608 ・カルボキシル基が非環式炭素原子に結合し, 酸部分に 6 員芳香環以外の環を有するカルボン酸のエステル [ 3 ]
- 69/612 ・カルボキシル基が非環式炭素原子に結合し, 酸部分に 6 員芳香環を有するカルボン酸のエステル [ 3 ]
- 69/614 ・フェニル酢酸の [ 3 ]
- 69/616 ・多環式のもの [ 3 ]
- 69/618 ・6 員芳香環以外に不飽和結合をもつものの [ 3 ]
- 69/62 ・ハロゲン含有エステル [ 2 ]
- 69/63 ・飽和酸のもの [ 2 ]
- 69/635 ・酸部分に環を含有するもの [ 3 ]
- 69/65 ・不飽和酸のもの [ 2 ]
- 69/653 ・アクリル酸エステル; メタクリル酸エステル; ハロアクリル酸エステル; ハロメタクリル酸エステル [ 3 ]
- 69/657 ・マレイン酸エステル; フマル酸エステル; ハロマレイン酸エステル; ハロフマル酸エステル [ 3 ]
- 69/66 ・エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子に結合し, 酸部分に OH, O 金属, CHO, ケト, エーテル, アシルオキシ,  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{smallmatrix}$  基,  $\text{-C} \begin{smallmatrix} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{smallmatrix}$  基または  $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{smallmatrix}$  基のい

ずれかをもつカルボン酸のエステル

- 69/67 ・飽和酸のもの [ 2 ]
- 69/675 ・飽和ヒドロキシ カルボン酸の [ 3 ]
- 69/68 ・乳酸エステル [ 3 ]
- 69/70 ・酒石酸エステル [ 3 ]
- 69/704 ・クエン酸エステル [ 3 ]
- 69/708 ・エーテル [ 3 ]
- 69/712 ・エーテルの水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合する水酸基をもつヒドロキシ化合物でエーテル化されているもの [ 3 ]
- 69/716 ・ケト カルボン酸のエステル [ 3 ]
- 69/72 ・アセト酢酸エステル [ 3 ]
- 69/73 ・不飽和酸のもの [ 2 ]
- 69/732 ・不飽和ヒドロキシ カルボン酸の [ 3 ]
- 69/734 ・エーテル [ 3 ]
- 69/736 ・エーテルの水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合する水酸基をもつヒドロキシ化合物でエーテル化されているもの [ 3 ]
- 69/738 ・ケト カルボン酸のエステル [ 3 ]
- 69/74 ・エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているカルボン酸のエステル
- 69/743 ・3 員環を有し, 環以外に不飽和結合を有する酸の [ 3 ]
- 69/747 ・菊酸エステル [ 3 ]
- 69/75 ・6 員環を有する酸の [ 3 ]
- 69/753 ・多環式酸の [ 3 ]
- 69/757 ・酸部分に OH, O 金属, CHO, ケト, エーテル, アシルオキシ,  $\text{>C} \begin{smallmatrix} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{smallmatrix}$  基,  $\text{-C} \begin{smallmatrix} \text{O-} \\ \text{O-C} \end{smallmatrix}$  基または  $\text{C} \begin{smallmatrix} \text{O-} \\ \text{O-C} \\ \text{O-C} \end{smallmatrix}$  基のいずれかの基をもつもの [ 3 ]
- 69/76 ・エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボン酸のエステル
- 69/767 ・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコールでエステル化されているもの [ 3 ]
- 69/773 ・エステル化されている水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物でエステル化されているもの [ 3 ]
- 69/78 ・安息香酸エステル
- 69/80 ・フタル酸エステル [ 2 ]
- 69/82 ・テレフタル酸エステル
- 69/83 ・不飽和アルコールのエステル [ 2 ]

69/84	・水酸基とカルボキシル基がともに6員芳香環の炭素原子に結合している単環式ヒドロキシカルボン酸の	205/07	・炭素骨格がさらにハロゲン原子で置換されているもの〔5〕
69/86	・エステル化された水酸基をもつもの	205/08	・非環式炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕
69/88	・エステル化されたカルボキシル基をもつもの	205/09	・不飽和炭素骨格の〔5〕
69/90	・エステル化された水酸基とカルボキシル基をもつもの	205/10	・6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕
69/92	・エーテル化された水酸基をもつもの〔2〕	205/11	・6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕
69/94	・水酸基とカルボキシル基がともに6員芳香環の炭素原子に結合している多環式ヒドロキシカルボン酸の〔2〕	205/12	・6員芳香環または縮合環系がハロゲン原子で置換されているもの〔5〕
69/95	・キノンカルボン酸のエステル〔2〕	205/13	・炭素骨格がさらに水酸基で置換されているもの〔5〕
69/96	・炭酸またはハロギ酸のエステル〔2〕	205/14	・非環式炭素原子に結合しているニトロ基と水酸基をもつもの〔5〕
71/00	ハロゲンのオキシ酸のエステル	205/15	・飽和炭素骨格の〔5〕
<u>炭素および窒素を含有し、水素、ハロゲンまたは酸素を有するかまたは有しない化合物〔5〕</u>		205/16	・6員芳香環を含有する炭素骨格の〔5〕
201/00	硝酸もしくは亜硝酸のエステルまたは炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基を含有する化合物の製造〔5〕	205/17	・非環式炭素原子に結合しているニトロ基と6員芳香環の炭素原子に結合している水酸基をもつもの〔5〕
201/02	・硝酸エステルの製造〔5〕	205/18	・6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基または水酸基をもつもの〔5〕
201/04	・亜硝酸エステルの製造〔5〕	205/19	・6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と非環式炭素原子に結合している水酸基をもつもの〔5〕
201/06	・ニトロ化合物の製造〔5〕	205/20	・6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と水酸基をもつもの〔5〕
201/08	・水素原子をニトロ基で置換するもの〔5〕	205/21	・同じ非縮合6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と水酸基をもつもの〔5〕
201/10	・官能基をニトロ基で置換するもの〔5〕	205/22	・環に結合している1個のニトロ基をもつもの〔5〕
201/12	・ニトロ基の形成が関与しない反応によるもの〔5〕	205/23	・環に結合している2個のニトロ基をもつもの〔5〕
201/14	・ニトロ基の形成が関与しない反応とニトロ基の形成反応が同時に起こるもの〔5〕	205/24	・環に結合している3個のニトロ基をもつもの〔5〕
201/16	・分解; 精製; 安定化; 添加剤の使用〔5〕	205/25	・縮合環系の一部である6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕
203/00	硝酸または亜硝酸のエステル〔5〕	205/26	・そしてさらにハロゲン原子で置換されているもの〔5〕
203/02	・硝酸のエステル〔5〕	205/27	・炭素骨格がさらにエーテル化された水酸基で置換されているもの〔5〕
203/04	・非環式炭素原子に結合している硝酸基をもつもの〔5〕	205/28	・炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基とエーテル化された水酸基をもつもの〔5〕
203/06	・三硝酸グリセリン〔5〕	205/29	・炭素骨格が飽和であるもの〔5〕
203/08	・6員芳香環以外の環の炭素原子に結合している硝酸基をもつもの〔5〕	205/30	・少なくとも1個のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに6員芳香環の炭素原子に結合しているもの〔5〕
203/10	・6員芳香環の炭素原子に結合している硝酸基をもつもの〔5〕	205/31	・炭素骨格が6員芳香環を含有するもの〔5〕
205/00	炭素骨格に結合しているニトロ基を含有する化合物〔5〕		
205/01	・非環式炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕		
205/02	・飽和炭素骨格の〔5〕		
205/03	・不飽和炭素骨格の〔5〕		
205/04	・6員芳香環を含有するもの〔5〕		
205/05	・6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕		
205/06	・6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの〔5〕		

- 205/32 ・ ・ 非環式炭素原子に結合しているニトロ基と炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/33 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基またはエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/34 ・ ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/35 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基とエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/36 ・ ・ ・ 同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子または同じ縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 205/37 ・ ・ ・ ・ 1 個以上のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 205/38 ・ ・ ・ ・ 1 個以上のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの, 例 . ニトロジフェニルエーテル [ 5 ]
- 205/39 ・ 炭素骨格がさらにエステル化された水酸基で置換されているもの [ 5 ]
- 205/40 ・ ・ 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基とエステル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/41 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基またはエステル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/42 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基またはエステル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
- 205/43 ・ ・ ・ 同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子または同じ縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 205/44 ・ 炭素骨格がさらに  $\text{CHO}$  基で置換されているもの [ 5 ]
- 205/45 ・ 炭素骨格がさらに  $\text{CHO}$  基の一部ではない少なくとも 1 個の二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 205/46 ・ ・ 炭素骨格がキノン環の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
- 205/47 ・ ・ ・ ニトロ基を含有するアントラキノン [ 5 ]
- 205/48 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 205/49 ・ 炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されているもの [ 5 ]
- 205/50 ・ ・ 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 205/51 ・ ・ ・ 炭素骨格が飽和のもの [ 5 ]
- 205/52 ・ ・ ・ ・ ニトロ酢酸 [ 5 ]
- 205/53 ・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 205/54 ・ ・ 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基と 6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 205/55 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基またはカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 205/56 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 205/57 ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 205/58 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子で置換されているもの [ 5 ]
- 205/59 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 205/60 ・ ・ ・ ・ カルボキシル基のオルト位にあるもの, 例 . ニトロ サリチル酸 [ 5 ]
- 205/61 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 207/00 炭素骨格に結合しているニトロソ基を含有する化合物 [ 5 ]
- 207/02 ・ 炭素骨格がさらに置換されていないもの [ 5 ]
- 207/04 ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 209/00 炭素骨格に結合しているアミノ基を含有する化合物の製造 [ 5 ]
- 209/02 ・ 水素原子をアミノ基で置換するもの [ 5 ]
- 209/04 ・ 官能基をアミノ基で置換するもの [ 5 ]
- 209/06 ・ ・ ハロゲン原子を置換するもの [ 5 ]
- 209/08 ・ ・ ・ 非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基を形成するもの [ 5 ]
- 209/10 ・ ・ ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基を形成するものまたは 6 員芳香環の炭素原子に結合している窒素原子をもつアミンからのもの [ 5 ]
- 209/12 ・ ・ ・ 第 4 アンモニウム化合物の形成によるもの [ 5 ]
- 209/14 ・ ・ 水酸基またはエーテル化もしくはエステル化された水酸基を置換するもの [ 5 ]
- 209/16 ・ ・ ・ 非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基の形成によるもの [ 5 ]
- 209/18 ・ ・ ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合してい

	るアミノ基を形成するものまたは6員芳香環の炭素原子に結合している窒素原子をもつアミンからのもの [ 5 ]		( C 0 7 C 2 0 9 / 2 4 優先 ) [ 5 ]
209/20	・ ・ ・ 第4アンモニウム化合物の形成によるもの [ 5 ]	209/64	・ 不均化によるもの [ 5 ]
209/22	・ ・ 他の官能基を置換するもの [ 5 ]	209/66	・ 有機金属化合物からのものまたは有機金属化合物を経由するもの [ 5 ]
209/24	・ アンモニア, アミンまたはアミノ基に還元可能な官能基をもつ化合物のカルボニル化合物による還元アルキル化によるもの [ 5 ]	209/68	・ アミノ基の関与しない反応によるアミノからのもの, 例: 不飽和アミンの還元, 芳香族化または炭素骨格の置換 [ 5 ]
209/26	・ ・ 水素による還元によるもの [ 5 ]	209/70	・ ・ 不飽和アミンの還元によるもの [ 5 ]
209/28	・ ・ 他の還元剤による還元によるもの [ 5 ]	209/72	・ ・ ・ 6員芳香環の還元によるもの [ 5 ]
209/30	・ 窒素 酸素結合または窒素 窒素結合の還元によるもの [ 5 ]	209/74	・ ・ ハロゲン化, ハロゲン化水素化, 脱ハロゲン化または脱ハロゲン化水素化によるもの [ 5 ]
209/32	・ ・ ニトロ基の還元によるもの [ 5 ]	209/76	・ ・ ニトロ化によるもの [ 5 ]
209/34	・ ・ ・ 非環式炭素原子または6員芳香環以外の環の炭素に結合しているニトロ基の還元によるもの [ 5 ]	209/78	・ ・ カルボニル化合物, 例: ホルムアルデヒド, と6員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつアミンからメチレンジアリアルアミンを形成するもの [ 5 ]
209/36	・ ・ ・ 6員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基の還元によるもの [ 5 ]	209/80	・ 光化学反応によるもの; 遊離基を用いるもの [ 5 ]
209/38	・ ・ ニトロソ基の還元によるもの [ 5 ]	209/82	・ 精製; 分離; 安定化; 添加剤の使用 [ 5 ]
209/40	・ ・ ヒドロキシルアミノ基またはオキシイミノ基の還元によるもの [ 5 ]	209/84	・ ・ 精製 [ 5 ]
209/42	・ ・ 窒素 窒素結合の還元によるもの [ 5 ]	209/86	・ ・ 分離 [ 5 ]
209/44	・ カルボン酸またはそのエステルのアンモニアまたはアミン存在下における還元によるもの, またはニトリル, カルボン酸アミド, イミンまたはイミノ エーテルの還元によるもの [ 5 ]	209/88	・ ・ ・ 光学異性体の分離 [ 5 ]
209/46	・ ・ カルボン酸またはそのエステルのアンモニアまたはアミン存在下における還元によるもの [ 5 ]	209/90	・ ・ 安定化; 添加物の使用 [ 5 ]
209/48	・ ・ ニトリルの還元によるもの [ 5 ]	211/00	炭素骨格に結合しているアミノ基を含有する化合物 [ 5 ]
209/50	・ ・ カルボン酸アミドの還元によるもの [ 5 ]	211/01	・ 非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
209/52	・ ・ イミンまたはイミノ エーテルの還元によるもの( C 0 7 C 2 0 9 / 2 4 優先 ) [ 5 ]	211/02	・ ・ 非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
209/54	・ 転位反応によるもの [ 5 ]	211/03	・ ・ ・ モノアミン [ 5 ]
209/56	・ ・ ホフマン, クルチウス, シュミットまたはロッセン型の転位が関与するカルボン酸からのもの [ 5 ]	211/04	・ ・ ・ ・ モノ , ジ , またはトリ メチルアミン [ 5 ]
209/58	・ ・ アミドからのものまたはアミドを経由するもの [ 5 ]	211/05	・ ・ ・ ・ モノ , ジ , またはトリ エチルアミン [ 5 ]
209/60	・ 縮合反応または付加反応によるもの, 例: マンニヒ反応, アルケンまたはアルキンへのアンモニアまたはアミンの付加, シッフ塩基, キノンイミンまたはアジランへの活性水素原子を含有する化合物の付加 [ 5 ]	211/06	・ ・ ・ ・ n またはイソ プロピル基のみを含有するもの [ 5 ]
209/62	・ 炭素 窒素結合, 硫黄 窒素結合またはリン 窒素結合の開裂によるもの, 例: アミドの加水分解, アミンまたは4級アンモニウム化合物のN 脱アルキル化	211/07	・ ・ ・ ・ 1個, 2個または3個のアルキル基を含有し, そのアルキル基のそれぞれが3個を超える同数の炭素原子をもつもの [ 5 ]
		211/08	・ ・ ・ ・ 異なった数の炭素原子をもつアルキル基を含有するもの [ 5 ]
		211/09	・ ・ ・ ジアミン [ 5 ]
		211/10	・ ・ ・ ・ ジアミノエタン [ 5 ]
		211/11	・ ・ ・ ・ ジアミノプロパン [ 5 ]
		211/12	・ ・ ・ ・ 1, 6 ジアミノヘキサン [ 5 ]
		211/13	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している3個以上のアミノ基を含有するアミン [ 5 ]
		211/14	・ ・ ・ 少なくとも2個のアミノアルキル基に結合しているアミノ基を含有するアミン, 例: ジエチレントリアミン [ 5 ]
		211/15	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子また

	はニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]		アミノ基をもつもの [ 5 ]
211/16	・ 6 員芳香環以外の環を含有する飽和炭素骨格の [ 5 ]	211/45	・ ・ ・ モノアミン [ 5 ]
211/17	・ ・ ・ 非縮合環のみを含有するもの [ 5 ]	211/46	・ ・ ・ ・ アニリン [ 5 ]
211/18	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のアミノ基を含有するもの [ 5 ]	211/47	・ ・ ・ ・ トルイジン ; その同族体 [ 5 ]
211/19	・ ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 5 ]	211/48	・ ・ ・ ・ N アルキル化アミン [ 5 ]
211/20	・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の [ 5 ]	211/49	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のアミノ基をもつもの [ 5 ]
211/21	・ ・ ・ モノアミン [ 5 ]	211/50	・ ・ ・ ・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 2 個のアミノ基をもつもの [ 5 ]
211/22	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のアミノ基を含有するもの [ 5 ]	211/51	・ ・ ・ ・ ・ フェニレンジアミン [ 5 ]
211/23	・ ・ ・ 炭素骨格が炭素 炭素三重結合を含有するもの [ 5 ]	211/52	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
211/24	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]	211/53	・ ・ ・ さらにアミノ基置換炭化水素基に結合している少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子をもつもの [ 5 ]
211/25	・ 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]	211/54	・ 2 個または 3 個の 6 員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
211/26	・ 少なくとも 1 個の 6 員芳香環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]	211/55	・ ・ ・ ジフェニルアミン [ 5 ]
211/27	・ ・ 飽和炭素鎖によって 6 員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	211/56	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
211/28	・ ・ ・ 不飽和炭素鎖によって 6 員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	211/57	・ 炭素骨格の縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
211/29	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]	211/58	・ ・ ・ ナフチルアミン ; その N 置換誘導体 [ 5 ]
211/30	・ ・ ・ 6 員芳香環が 2 個の環からなる縮合環系の一部であるもの [ 5 ]	211/59	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
211/31	・ ・ ・ 6 員芳香環が少なくとも 3 個の環からなる縮合環系の一部であるもの [ 5 ]	211/60	・ ・ ・ 少なくとも 1 個の縮合環系の一部を形成している 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]
211/32	・ ・ ・ ジベンゾシクロヘプタンまたはジベンゾシクロヘプテン環系またはそれらの縮合誘導体を含有するもの [ 5 ]	211/61	・ ・ ・ 少なくとも 1 個の縮合環系が 3 個以上の環で形成されているもの [ 5 ]
211/33	・ 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	211/62	・ 4 級アンモニウム化合物 [ 5 ]
211/34	・ 飽和炭素骨格の [ 5 ]	211/63	・ 非環式炭素原子に結合している 4 級窒素原子をもつもの [ 5 ]
211/35	・ ・ ・ 非縮合環のみを含有するもの [ 5 ]	211/64	・ 6 員芳香環の炭素原子に結合している 4 級窒素原子をもつもの [ 5 ]
211/36	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のアミノ基を含有するもの [ 5 ]	211/65	・ アミンの金属錯体 [ 5 ]
211/37	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]	213/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と水酸基, アミノ基とエーテル化された水酸基またはアミノ基とエステル化された水酸基を含有する化合物の製造 [ 5 ]
211/38	・ ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 5 ]	213/02	・ 水酸基またはエーテル化もしくはエステル化された水酸基を含有する化合物からのアミノ基の形成が関与する反応によるもの [ 5 ]
211/39	・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]	213/04	・ アンモニアまたはアミンと, オレフィンオキシドまたはハロヒドリンの反応によるもの [ 5 ]
211/40	・ ・ ・ 非縮合環のみを含有するもの [ 5 ]		
211/41	・ ・ ・ 縮合環系を含有するもの [ 5 ]		
211/42	・ ・ ・ 6 員芳香環が縮合環系の一部となっているもの [ 5 ]		
211/43	・ 炭素骨格の 6 員芳香環系の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]		
211/44	・ ただ 1 個の 6 員芳香環に結合している		

- 213/06 ・ヒドロキシアミンから水酸基のエーテル化またはエステル化が関与する反応によるもの [ 5 ]
- 213/08 ・アミノ基, 水酸基またはエーテル化もしくはエステル化された水酸基のいずれの形成も関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 213/10 ・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [ 5 ]
- 215/00 同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と水酸基を含有する化合物 [ 5 ]
- 215/02 ・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合している水酸基とアミノ基をもつもの [ 5 ]
- 215/04 ・炭素骨格が飽和のもの [ 5 ]
- 215/06 ・非環式のもの [ 5 ]
- 215/08 ・炭素骨格に結合しているただ 1 個の水酸基と 1 個のアミノ基を有するもの [ 5 ]
- 215/10 ・炭素骨格に結合している 1 個のアミノ基と少なくとも 2 個の水酸基を有するもの [ 5 ]
- 215/12 ・アミノ基の窒素原子がさらに水酸基で置換された炭化水素基に結合しているもの [ 5 ]
- 215/14 ・アミノ基の窒素原子がさらにアミノ基で置換された炭化水素基に結合しているもの [ 5 ]
- 215/16 ・アミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 215/18 ・炭素骨格に結合している水酸基と少なくとも 2 個のアミノ基を有するもの [ 5 ]
- 215/20 ・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]
- 215/22 ・炭素骨格が不飽和のもの [ 5 ]
- 215/24 ・非環式のもの [ 5 ]
- 215/26 ・6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]
- 215/28 ・6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 215/30 ・炭素骨格の同じ炭素原子に結合している水酸基と 6 員芳香環の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
- 215/32 ・炭素骨格の同じ炭素原子に結合している水酸基と 2 個の 6 員芳香環の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
- 215/34 ・炭素骨格の同じ炭素原子に結合している水酸基と 6 員芳香環の炭素原子を含有し, さらに炭素骨格の別の炭素原子に結合している水酸基を少なくとも 1 個含有するもの [ 5 ]
- 215/36 ・アリール アミノ 1 , 3 プロパンジオール [ 5 ]
- 215/38 ・炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [ 5 ]
- 215/40 ・炭素骨格の炭素原子に結合している 4 級窒素原子を有するもの [ 5 ]
- 215/42 ・同じ炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基または水酸基をもつもの [ 5 ]
- 215/44 ・同じ環または同じ縮合環系の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 215/46 ・6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個の水酸基と, 同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
- 215/48 ・6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に, それ以上水酸基で置換されていない炭素鎖で結合されているアミノ基を有するもの [ 5 ]
- 215/50 ・炭素鎖の同じ炭素原子に結合しているアミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系を有するもの [ 5 ]
- 215/52 ・アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 2 個の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [ 5 ]
- 215/54 ・アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 3 個以上の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [ 5 ]
- 215/56 ・6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系にさらに水酸基で置換された炭素鎖で結合されているアミノ基を有するもの [ 5 ]
- 215/58 ・炭素鎖の同じ炭素原子に結合している水酸基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系を有するもの [ 5 ]
- 215/60 ・アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系の間の炭素鎖が 2 個の炭素原子をもつもの [ 5 ]
- 215/62 ・アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系の間の炭素鎖が少なくとも 3 個の炭素原子をもつもの [ 5 ]
- 215/64 ・炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [ 5 ]
- 215/66 ・炭素骨格に結合している 4 級化アミノ基を有するもの [ 5 ]
- 215/68 ・6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と, 同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している水酸基をもつもの [ 5 ]
- 215/70 ・炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [ 5 ]
- 215/72 ・炭素骨格に結合している 4 級化アミノ

	基を有するもの [ 5 ]		
215/74	・ 同一炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合している水酸基とアミノ基をもつもの [ 5 ]	217/24	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環が 6 員芳香環以外の環を含有する縮合環系の一部であるもの [ 5 ]
215/76	・ ・ 同一非縮合 6 員芳香環の [ 5 ]	217/26	・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているただ 1 個のエーテル化された水酸基と 1 個のアミノ基をもち、その炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
215/78	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している水酸基を少なくとも 2 個含有するもの [ 5 ]	217/28	・ ・ ・ 炭素骨格に結合している 1 個のアミノ基と少なくとも 2 個の単結合の酸素原子をもち、その酸素原子のうち少なくとも 1 個はエーテル化された水酸基の一部であるもの、例、ポリヒドロキシアミンのエーテル [ 5 ]
215/80	・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているアミノ基を少なくとも 2 個含有するもの [ 5 ]	217/30	・ ・ ・ エーテル化された水酸基の少なくとも 1 個の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
215/82	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子がさらに他の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	217/32	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系がさらに置換されているもの [ 5 ]
215/84	・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	217/34	・ ・ ・ ・ ・ ハロゲン原子、トリハロメチル、ニトロもしくはニトロソ基または単結合の酸素原子によるもの [ 5 ]
215/86	・ ・ ・ 2 個の環からなるもの [ 5 ]	217/36	・ ・ ・ ・ ・ 酸素原子との結合を少なくとも 2 個もつ炭素原子によるもの [ 5 ]
215/88	・ ・ ・ 少なくとも 3 個の環からなるもの [ 5 ]	217/38	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環が 6 員芳香環以外の環を含有する縮合環系の一部であるもの [ 5 ]
215/90	・ ・ 炭素骨格に結合している 4 級化アミノ基を有するもの [ 5 ]	217/40	・ ・ ・ 炭素骨格の同じ炭素原子に結合している少なくとも 2 個の単結合の酸素原子をもち、その酸素原子の少なくとも 1 個はエーテル化された水酸基の一部であるもの、例、アミノケタール、オルトエステル [ 5 ]
217/00	同一炭素骨格に結合しているアミノ基とエーテル化された水酸基を含有する化合物 [ 5 ]	217/42	・ ・ 炭素骨格に結合しているエーテル化された水酸基と少なくとも 2 個のアミノ基をもつもの [ 5 ]
217/02	・ 同一炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基とアミノ基をもつもの [ 5 ]	217/44	・ 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]
217/04	・ 炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]	217/46	・ 炭素骨格が非環式で不飽和のもの [ 5 ]
217/06	・ ・ 炭素骨格に結合しているただ 1 個のエーテル化された水酸基と 1 個のアミノ基をもち、その炭素骨格がそれ以上置換されていないもの [ 5 ]	217/48	・ 炭素骨格が不飽和で環を含有するもの [ 5 ]
217/08	・ ・ ・ エーテル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	217/50	・ 構造が未決定のヒドロキシアミンのエーテル、例、エポキシドとヒドロキシアミンの反応によって得られたもの [ 5 ]
217/10	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有する炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	217/52	・ 同一炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基またはアミノ基をもつもの [ 5 ]
217/12	・ ・ ・ エーテル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	217/54	・ 少なくとも 1 個の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
217/14	・ ・ ・ エーテル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	217/56	・ ・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有す
217/16	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系がそれ以上置換されていないもの [ 5 ]		
217/18	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系がさらに置換されているもの [ 5 ]		
217/20	・ ・ ・ ・ ・ ハロゲン原子またはトリハロメチル、ニトロもしくはニトロソ基または単結合の酸素原子によるもの [ 5 ]		
217/22	・ ・ ・ ・ ・ 酸素原子との結合を少なくとも 2 個もつ炭素原子によるもの [ 5 ]		



	る縮合環系にそれ以上単結合の酸素原子で置換されていない炭素鎖で結合されているアミノ基を有するもの [ 5 ]	217/88	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
217/58	・ ・ ・ 炭素鎖の同じ炭素原子に結合しているアミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する結合環系を有するもの [ 5 ]	217/90	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの, 例 . アミノ ジフェニルエーテル [ 5 ]
217/60	・ ・ ・ アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 2 個の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [ 5 ]	217/92	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
217/62	・ ・ ・ アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 3 個以上の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [ 5 ]	217/94	・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と, 同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
217/64	・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系にさらに単結合の酸素原子で置換されている炭素鎖で結合されているアミノ基をもつもの [ 5 ]	219/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とエステル化された水酸基を含有する化合物 [ 5 ]
217/66	・ ・ ・ 炭素鎖の同じ炭素原子に単結合の酸素原子と 6 員芳香環が結合しているもの [ 5 ]	219/02	・ 同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化された水酸基とアミノ基をもつもの [ 5 ]
217/68	・ ・ ・ ・ 炭素鎖の同じ炭素原子に単結合の酸素原子, 6 員芳香環およびアミノ基が結合しているもの [ 5 ]	219/04	・ 炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]
217/70	・ ・ ・ ・ アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 2 個の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [ 5 ]	219/06	・ ・ ・ 水素原子または非環式飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された水酸基をもつもの [ 5 ]
217/72	・ ・ ・ ・ アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 3 個以上の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [ 5 ]	219/08	・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [ 5 ]
217/74	・ 炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [ 5 ]	219/10	・ ・ ・ 環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [ 5 ]
217/76	・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と, 同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]	219/12	・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [ 5 ]
217/78	・ 同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]	219/14	・ ・ ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [ 5 ]
217/80	・ 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とエーテル化された水酸基をもつもの [ 5 ]	219/16	・ ・ ・ 無機酸またはその誘導体でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [ 5 ]
217/82	・ ・ ・ 同じ非縮合 6 員芳香環の [ 5 ]	219/18	・ 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]
217/84	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	219/20	・ 炭素骨格が不飽和のもの [ 5 ]
217/86	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有する炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	219/22	・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
		219/24	・ 同じ炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエステル化された

	水酸基またはアミノ基をもつもの [ 5 ]		子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
219/26	・ 少なくとも 1 個の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエステル化された水酸基と, 同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	225/22	・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
219/28	・ ・ 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	225/24	・ 炭素骨格がキノン環の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
219/30	・ ・ ・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系にさらに単結合の酸素原子で置換された炭素鎖で結合されたアミノ基をもつもの [ 5 ]	225/26	・ ・ キノン環またはキノン環を含有する縮合環系の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
219/32	・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と, 同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエステル化された水酸基をもつもの [ 5 ]	225/28	・ ・ ・ 非縮合キノン環のもの [ 5 ]
219/34	・ 同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とエステル化された水酸基をもつもの [ 5 ]	225/30	・ ・ ・ 2 個の環からなる縮合キノン環のもの [ 5 ]
221/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と二重結合の酸素原子を含有する化合物の製造 [ 5 ]	225/32	・ ・ ・ 少なくとも 3 個の環からなる縮合キノン環のもの [ 5 ]
223/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と C H O 基を含有する化合物 [ 5 ]	225/34	・ ・ ・ ・ アミノアントラキノン [ 5 ]
223/02	・ 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	225/36	・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
223/04	・ 炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	227/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とカルボキシル基を含有する化合物の製造 [ 5 ]
223/06	・ 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	227/02	・ アミノ基を含有する化合物におけるカルボキシル基の形成, 例 . アミノアルコールの酸化 [ 5 ]
225/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と二重結合の酸素原子を含有する化合物で, 二重結合の酸素原子の少なくとも 1 個が C H O 基の一部でないもの, 例 . アミノケトン [ 5 ]	227/04	・ カルボキシル基を含有する化合物におけるアミノ基の形成 [ 5 ]
225/02	・ 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	227/06	・ ・ 酸の炭素骨格の炭素原子数の増加を伴わない付加または置換反応によるもの [ 5 ]
225/04	・ ・ 炭素骨格が飽和のもの [ 5 ]	227/08	・ ・ ・ アンモニアまたはアミンと官能基を含有する酸との反応によるもの [ 5 ]
225/06	・ ・ ・ 非環式のもの [ 5 ]	227/10	・ ・ 炭素骨格における炭素原子数の増加が同時におこるもの [ 5 ]
225/08	・ ・ ・ 環を含有するもの [ 5 ]	227/12	・ アミノ基とカルボキシル基の形成 [ 5 ]
225/10	・ ・ ・ ・ 環の一部ではない炭素原子に結合している二重結合の酸素原子をもつもの [ 5 ]	227/14	・ すでにアミノ基とカルボキシル基を含有している化合物またはその誘導体からのもの [ 5 ]
225/12	・ ・ ・ ・ 環の一部である炭素原子に結合している二重結合の酸素原子をもつもの [ 5 ]	227/16	・ ・ アミノ基およびカルボキシル基が関与しない反応によるもの [ 5 ]
225/14	・ ・ 炭素骨格が不飽和のもの [ 5 ]	227/18	・ ・ アミノ基またはカルボキシル基が関与する反応によるもの, 例 . エステルまたはアミドの加水分解, ハライド, 塩またはエステルの形成 [ 5 ]
225/16	・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]	227/20	・ ・ ・ N アシル化アミノ酸またはその誘導体の加水分解によるもの, 例 . カルバマートの加水分解 [ 5 ]
225/18	・ ・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環以外の環も含有するもの [ 5 ]	227/22	・ ラクタム, 環式ケトンまたは環式オキシムからのもの, 例 . ベックマン転位が関与する反応によるもの [ 5 ]
225/20	・ 炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原	227/24	・ ヒダントインからのもの [ 5 ]
		227/26	・ カルボキシル基を含有する化合物と H C N もしくはその塩およびアミンとの反応によるもの, またアミノニトリルからのもの [ 5 ]
		227/28	・ 天然物からのもの [ 5 ]

- 227/30 ・光学異性体の製造 [ 5 ]
- 227/32 ・・立体特異的合成によるもの [ 5 ]
- 227/34 ・・光学異性体の分離によるもの [ 5 ]
- 227/36 ・光学異性体のラセミ化 [ 5 ]
- 227/38 ・分離；精製；安定化；添加剤の使用（光学異性体の分離 C 0 7 C 2 2 7 / 3 4 ） [ 5 ]
- 227/40 ・・分離；精製 [ 5 ]
- 227/42 ・・・結晶化 [ 5 ]
- 227/44 ・・安定化；添加剤の使用 [ 5 ]
- 229/00 同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とカルボキシル基を含有する化合物 [ 5 ]
- 229/02 ・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/04 ・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]
- 229/06 ・・・炭素骨格に結合しているただ 1 個のアミノ基と 1 個のカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/08 ・・・・アミノ基の窒素原子がさらに水素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 229/10 ・・・・アミノ基の窒素原子がさらに非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 229/12 ・・・・・非環式炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 229/14 ・・・・・環を含有する炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 229/16 ・・・・・アミノ基またはカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの、例．エチレンジアミン 4 酢酸，イミノジ酢酸 [ 5 ]
- 229/18 ・・・・アミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 229/20 ・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
- 229/22 ・・・炭素骨格がさらに酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 229/24 ・・・炭素骨格に結合している 2 個以上のカルボキシル基をもつもの、例．アスパラギン酸 [ 5 ]
- 229/26 ・・・炭素骨格に結合している 2 個以上のアミノ基をもつもの、例．リジン [ 5 ]
- 229/28 ・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]
- 229/30 ・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [ 5 ]
- 229/32 ・・炭素骨格が不飽和で、6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]
- 229/34 ・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 229/36 ・・・炭素骨格の同じ炭素原子に結合している少なくとも 1 個のアミノ基と 1 個のカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/38 ・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基と 6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/40 ・同じ炭素骨格の少なくとも 1 個の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と、非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/42 ・・6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、飽和炭素鎖で連結しているカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/44 ・・6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、不飽和炭素鎖で連結しているカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/46 ・同じ炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基またはカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/48 ・・同じ非縮合環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/50 ・・同じ縮合環系の一部である炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/52 ・同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/54 ・・同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/56 ・・・オルト位に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/58 ・・・・少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの、例．N フェニル アントラニル酸 [ 5 ]
- 229/60 ・・・メタまたはパラ位に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/62 ・・・同じ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と少なくとも 2 個のカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/64 ・・・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 229/66 ・・・炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 229/68 ・・同じ縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [ 5 ]
- 229/70 ・・・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 229/72 ・・・炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 229/74 ・・・・縮合環系が少なくとも 3 個の環で

	形成されたもの，例．アミノアントラキノンカルボン酸 [ 5 ]		環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
229/76	・アミノカルボン酸の金属錯体 [ 5 ]	233/10	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が6員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/00	カルボン酸アミドの製造 [ 5 ]		
231/02	・アンモニアまたはアミンとの反応によるカルボン酸そのエステル，無水物またはハロゲン化物からの製造 [ 5 ]	233/11	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が6員芳香環を含有する不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/04	・アンモニアまたはアミンとの反応によるケテンからの製造 [ 5 ]	233/12	・・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/06	・シアノ基のカルボン酸アミド基への変換によるニトリルからの製造 [ 5 ]	233/13	・・・・置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
231/08	・カルボン酸アミド基の窒素原子における反応によるアミドからの製造 [ 5 ]	233/14	・・・・置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に6員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
231/10	・C 0 7 C 2 3 1 / 0 2 ~ C 0 7 C 2 3 1 / 0 8 に含まれない化合物からの製造 [ 5 ]	233/15	・・・・置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に6員芳香環の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
231/12	・カルボン酸アミド基の形成の関与しない反応による製造 [ 5 ]	233/16	・・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/14	・カルボン酸アミド基の形成の関与しない反応を伴う，カルボン酸アミド基の形成による製造 [ 5 ]	233/17	・・・・置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
231/16	・光学異性体の製造 [ 5 ]		
231/18	・・・・立体特異的合成によるもの [ 5 ]	233/18	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/20	・・・・光学異性体の分離によるもの [ 5 ]	233/19	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/22	・分離；精製；安定化；添加剤の使用（光学異性体の分離 C 0 7 C 2 3 1 / 2 0 ） [ 5 ]	233/20	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
231/24	・・・・分離；精製 [ 5 ]	233/21	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が6員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/00	カルボン酸アミド [ 5 ]	233/22	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が6員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/01	・カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/23	・・・・置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に6員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/02	・・・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/24	・・・・置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に6員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/03	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/25	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が
233/04	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		
233/05	・・・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		
233/06	・・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		
233/07	・・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		
233/08	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		
233/09	・・・・カルボン酸アミド基の炭素原子が非		

	水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/26	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/42	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/27	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/43	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/28	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/44	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/29	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/45	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/30	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/46	・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/31	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]	233/47	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/32	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]	233/48	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/33	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]	233/49	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/34	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がアミノ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/50	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/35	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]	233/51	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/36	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/52	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/37	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/53	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/38	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/54	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/39	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/55	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/40	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/56	・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子がカルボキシル基の炭素原子に結合しているもの、例．オキサミド [ 5 ]
233/41	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸	233/57	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している

	もの [ 5 ]		[ 5 ]
233/58	・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/75	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/59	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/76	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が、二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/60	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/77	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が、アミノ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/61	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/78	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/62	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がアミノ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/79	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/63	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/80	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/64	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/81	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
233/65	・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/82	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]
233/66	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/83	・ ・ ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
233/67	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	233/84	・ ・ ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
233/68	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]	233/85	・ ・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
233/69	・ ・ ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]	233/86	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
233/70	・ ・ ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]	233/87	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
233/71	・ ・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]	233/88	・ カルボン酸アミド基の窒素原子が非環式炭素原子と、少なくとも 1 個のオルト位の水素原子が置換されている 6 員芳香環の炭素原子とに結合しているもの [ 5 ]
233/72	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]	233/89	・ カルボン酸アミド基の窒素原子が 4 級化されているもの [ 5 ]
233/73	・ ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]	233/90	・ カルボン酸アミド基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [ 5 ]
233/74	・ ・ ・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [ 5 ]	233/91	・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
		233/92	・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
		235/00	酸部分の炭素骨格がさらに酸素原子で置換

	されているカルボン酸アミド [ 5 ]	235/38	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/02	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式炭素原子に結合し、それと同じ炭素骨格に単結合の酸素原子が結合しているもの [ 5 ]	235/40	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合し、それと同じ炭素骨格に単結合の酸素原子が結合しているもの [ 5 ]
235/04	・ ・ 炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]	235/42	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合し、それと同じ炭素骨格に単結合の酸素原子が結合しているもの [ 5 ]
235/06	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/44	・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子と単結合の酸素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/08	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/46	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/10	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/48	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/12	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/50	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/14	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/52	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/16	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/54	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/18	・ ・ ・ 少なくとも 1 個の単結合の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子と結合しているもの、例、フェノキシアセトアミド [ 5 ]	235/56	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/20	・ ・ ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/58	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子と単結合の酸素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子にオルト位で結合しているもの [ 5 ]
235/22	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/60	・ ・ ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/24	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	235/62	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/26	・ ・ 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]	235/64	・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
235/28	・ ・ 炭素骨格が非環式で不飽和のもの [ 5 ]	235/66	・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が縮合環系的一部分である 6 員芳香環の炭素原子に結合し、同一炭素骨格に単結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
235/30	・ ・ 炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]		
235/32	・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]		
235/34	・ ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		
235/36	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		

- の [ 5 ]
- 235/68 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が非環式炭素原子と少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が非環式炭素原子と少なくとも 1 個のオルト位の水素原子が置換されている 6 員芳香環の炭素原子とに結合しているもの [ 5 ]
- 235/70 ・ カルボン酸アミド基の炭素原子と二重結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
- 235/72 ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 235/74 ・ ・ ・ 飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
- 235/76 ・ ・ ・ 不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [ 5 ]
- 235/78 ・ ・ ・ ・ 環を含有する炭素骨格 [ 5 ]
- 235/80 ・ ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子とケト基の炭素原子とが同じ炭素原子に結合しているもの、例、アセト酢酸アミド [ 5 ]
- 235/82 ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 235/84 ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 235/86 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 4 級化されているもの [ 5 ]
- 235/88 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [ 5 ]
- 237/00 酸部分の炭素骨格がさらにアミノ基で置換されているカルボン酸アミド [ 5 ]
- 237/02 ・ カルボン酸アミド基の炭素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/04 ・ ・ 炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]
- 237/06 ・ ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/08 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/10 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/12 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/14 ・ ・ 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]
- 237/16 ・ ・ 炭素骨格が非環式で不飽和のもの [ 5 ]
- 237/18 ・ ・ 炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]
- 237/20 ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 237/22 ・ ・ アミノ基の窒素原子が酸部分の炭素骨格に結合し、さらにアシル化されているもの [ 5 ]
- 237/24 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/26 ・ ・ 少なくとも 4 個の環からなる縮合環系の一部である環、例、テトラサイクリン [ 5 ]
- 237/28 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が炭素骨格の非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/30 ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/32 ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/34 ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/36 ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/38 ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/40 ・ ・ カルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/42 ・ ・ アミノ基の窒素原子が酸部分の炭素骨格に結合し、さらにアシル化されているもの [ 5 ]
- 237/44 ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子、アミノ基および単結合の酸素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/46 ・ ・ カルボン酸アミド基の炭素原子、アミノ基および少なくとも 3 個の酸素またはヨウ素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/48 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が同じ炭素骨格の縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 237/50 ・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 4 級化されているもの [ 5 ]



- 237/52 ・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [ 5 ]
- 239/00 窒素 ハロゲン結合を含有する化合物；ヒドロキシルアミノ化合物またはそのエーテルもしくはエステル [ 5 ]
- 239/02 ・窒素 ハロゲン結合を含有する化合物 [ 5 ]
- 239/04 ・・N ハロゲン化アミン [ 5 ]
- 239/06 ・・N ハロゲン化カルボン酸アミド [ 5 ]
- 239/08 ・ヒドロキシルアミノ化合物またはそのエーテルもしくはエステル [ 5 ]
- 239/10 ・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらに不飽和炭化水素基または、ハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 239/12 ・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらに単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 239/14 ・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらに二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 239/16 ・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 239/18 ・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらにカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 239/20 ・・ヒドロキシルアミノ基の酸素原子がエーテル化されているもの [ 5 ]
- 239/22 ・・ヒドロキシルアミノ基の酸素原子がエステル化されているもの [ 5 ]
- 241/00 互いに単結合で結合している窒素原子鎖を含有する化合物の製造，例．ヒドラジン，トリアザン [ 5 ]
- 241/02 ・ヒドラジンの製造 [ 5 ]
- 241/04 ・ヒドラジドの製造 [ 5 ]
- 243/00 互いに単結合で結合している窒素原子鎖を含有する化合物，例．ヒドラジン，トリアザン [ 5 ]
- 243/02 ・N ニトロ化合物 [ 5 ]
- 243/04 ・N ニトロソ化合物 [ 5 ]
- 243/06 ・・N ニトロソ アミン [ 5 ]
- 243/08 ・・N ニトロソ カルボン酸アミド [ 5 ]
- 243/10 ・ヒドラジン [ 5 ]
- 243/12 ・・ヒドラジノ基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/14 ・・・飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 243/16 ・・・不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 243/18 ・・・環を含有するもの [ 5 ]
- 243/20 ・・ヒドラジノ基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/22 ・・ヒドラジノ基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/24 ・ヒドラジノ基の窒素原子がカルボン酸でアシル化されているヒドラジン [ 5 ]
- 243/26 ・・アシル化しているカルボキシル基が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/28 ・・・水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/30 ・・・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/32 ・・・炭素骨格が環を含有するもの [ 5 ]
- 243/34 ・・・さらに窒素原子で置換された炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/36 ・・アシル化しているカルボキシル基が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/38 ・・アシル化しているカルボキシル基が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 243/40 ・ヒドラジノ基の窒素原子が4級化されているヒドラジン [ 5 ]
- 243/42 ・ヒドラジノ基の窒素原子がさらに異種原子に単結合で結合しているヒドラジン [ 5 ]
- 245/00 少なくとも1個の窒素 窒素多重結合をもつ窒素原子鎖を含有する化合物 ( アゾキシ化合物 C 0 7 C 2 9 1 / 0 8 ) [ 5 ]
- 245/02 ・アゾ化合物，すなわち N = N 基が異なった原子に結合している化合物，例．ジアゾヒドロキシド [ 5 ]
- 245/04 ・・アゾ基の窒素原子が非環式炭素原子または6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 245/06 ・・アゾ基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 245/08 ・・・アゾ基の2個の窒素原子が6員芳香環に結合しているもの，例．アゾベンゼン [ 5 ]
- 245/10 ・・・アゾ基の窒素原子が縮合環系の一部である6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 245/12 ・ジアゾ化合物，すなわち > N<sub>2</sub> 基が同じ炭素原子に結合している化合物 [ 5 ]
- 245/14 ・・炭素骨格の非環式炭素原子に結合するジアゾ基をもつもの [ 5 ]
- 245/16 ・・・ジアゾメタン [ 5 ]
- 245/18 ・・・炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されているもの [ 5 ]

- 245/20 ・ジアゾニウム化合物 [ 5 ]
- 245/22 ・1 個以上の窒素 窒素二重結合を持つ 3 個以上の窒素原子からなる窒素鎖を含有するもの [ 5 ]
- 245/24 ・・ 3 個の窒素原子からなる窒素鎖, 例, ジアゾアミン [ 5 ]
- 247/00 アジド基を含有する化合物 [ 5 ]
- 247/02 ・炭素骨格の非環式炭素原子に結合するアジド基をもつもの [ 5 ]
- 247/04 ・・飽和のもの [ 5 ]
- 247/06 ・・・環を含有するもの [ 5 ]
- 247/08 ・・不飽和のもの [ 5 ]
- 247/10 ・・・環を含有するもの [ 5 ]
- 247/12 ・・さらにカルボキシル基で置換されているもの [ 5 ]
- 247/14 ・アジド基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 247/16 ・アジド基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 247/18 ・・さらにカルボキシル基で置換されているもの [ 5 ]
- 247/20 ・アジド基がカルボン酸でアシル化されているもの [ 5 ]
- 247/22 ・・アシル化しているカルボキシル基が水素原子, 非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 247/24 ・・少なくとも 1 個のアシル化しているカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 249/00 炭素骨格に二重結合で結合している窒素原子を含有する化合物の製造 (ジアゾ化合物の製造 C 0 7 C 2 4 5 / 1 2 ) [ 5 ]
- 249/02 ・イミノ基を含有する化合物の [ 5 ]
- 249/04 ・オキシムの [ 5 ]
- 249/06 ・・炭化水素または置換炭化水素のニトロソ化によるもの [ 5 ]
- 249/08 ・・ヒドロキシルアミンとカルボニル化合物との反応によるもの [ 5 ]
- 249/10 ・・ニトロ化合物またはその塩からのもの [ 5 ]
- 249/12 ・・オキシイミノ基の形成が関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 249/14 ・・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [ 5 ]
- 249/16 ・ヒドラゾンの [ 5 ]
- 251/00 炭素骨格に二重結合で結合している窒素原子を含有する化合物 (ジアゾ化合物 C 0 7 C 2 4 5 / 1 2 ) [ 5 ]
- 251/02 ・イミノ基を含有するもの [ 5 ]
- 251/04 ・・イミノ基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/06 ・・・飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/08 ・・・炭素骨格が非環式のもの [ 5 ]
- 251/10 ・・・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/12 ・・・炭素骨格が非環式のもの [ 5 ]
- 251/14 ・・・炭素骨格が 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]
- 251/16 ・・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 251/18 ・・イミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/20 ・・イミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の一部であるもの [ 5 ]
- 251/22 ・・・キノンイミン [ 5 ]
- 251/24 ・・イミノ基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/26 ・・イミノ基の窒素原子がさらにハロゲン原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/28 ・・イミノ基の窒素原子がアシル化されているもの [ 5 ]
- 251/30 ・・イミノ基の窒素原子が 4 級化されているもの [ 5 ]
- 251/32 ・オキシム [ 5 ]
- 251/34 ・・オキシイミノ基の酸素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/36 ・・・オキシイミノ基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/38 ・・・・飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/40 ・・・・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/42 ・・・少なくとも 1 個のオキシイミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/44 ・・・少なくとも 1 個のオキシイミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の一部であるもの [ 5 ]
- 251/46 ・・・・キノンオキシム [ 5 ]
- 251/48 ・・・少なくとも 1 個のオキシイミノ基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/50 ・・オキシイミノ基の酸素原子が置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 251/52 ・・・炭化水素基がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
- 251/54 ・・・炭化水素基が単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 251/56 ・・・炭化水素基が二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 251/58 ・・・炭化水素基がニトロまたはニトロソ

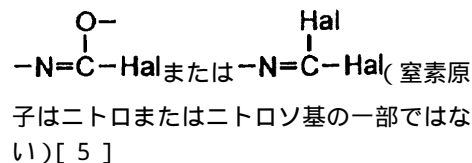
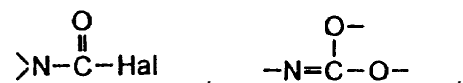
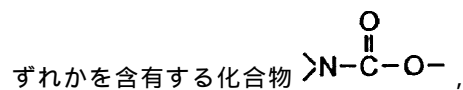
	基の一部でない窒素原子で置換されているもの [ 5 ]		たはエーテル化もしくはエステル化された水酸基を含有する化合物との反応によるもの [ 5 ]
251/60	・炭化水素基がカルボキシル基で置換されているもの [ 5 ]	253/18	・アンモニアまたはアミンと、6員芳香環以外に炭素 炭素多重結合を含有する化合物との反応によるもの [ 5 ]
251/62	・オキシミノ基の酸素原子がエステル化されているもの [ 5 ]	253/20	・カルボン酸アミドの脱水によるもの [ 5 ]
251/64	・カルボン酸によるもの [ 5 ]	253/22	・カルボキシル基のシアノ基による置換を伴う、アンモニアとカルボン酸の反応によるもの [ 5 ]
251/66	・エステル化されたカルボキシル基が水素原子または、非環式炭素原子もしくは6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	253/24	・炭化水素の、または置換された炭化水素のアンモキシデーションによるもの [ 5 ]
251/68	・少なくとも1個のエステル化されたカルボキシル基が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	253/26	・炭素 炭素多重結合を含有するもの、例．不飽和アルデヒド [ 5 ]
251/70	・オキシムの金属錯体 [ 5 ]	253/28	・6員芳香環を含有するもの、例．スチレン [ 5 ]
251/72	・ヒドラゾン [ 5 ]	253/30	・シアノ基の形成の関与しない反応によるもの [ 5 ]
251/74	・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	253/32	・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 5 ]
251/76	・飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	253/34	・分離；精製 [ 5 ]
251/78	・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	255/00	カルボン酸ニトリル（シアンまたはその化合物 C 0 1 C 3 / 0 0 ） [ 5 ]
251/80	・炭素骨格が環を含有するもの [ 5 ]	255/01	・非環式炭素原子に結合しているシアノ基をもつもの [ 5 ]
251/82	・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	255/02	・非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
251/84	・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が6員芳香環以外の環の一部であるもの [ 5 ]	255/03	・モノニトリル [ 5 ]
251/86	・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	255/04	・炭素骨格に結合している2個のシアノ基を含有するもの [ 5 ]
251/88	・他方の窒素原子も炭素原子に二重結合で結合しているもの、例．アジン [ 5 ]	255/05	・炭素骨格に結合している少なくとも3個のシアノ基を含有するもの [ 5 ]
253/00	カルボン酸ニトリルの製造（シアンまたはその化合物 C 0 1 C 3 / 0 0 ） [ 5 ]	255/06	・非環式で不飽和の炭素骨格の [ 5 ]
253/02	・窒素酸化物と有機化合物との反応によるもの [ 5 ]	255/07	・モノニトリル [ 5 ]
253/04	・ハロゲン化シアン、例．C 1 C N、と有機化合物との反応によるもの [ 5 ]	255/08	・アクリロニトリル；メタクリロニトリル [ 5 ]
253/06	・N ホルミル化アミノ化合物からのもの [ 5 ]	255/09	・炭素骨格に結合している少なくとも2個のシアノ基を含有するもの [ 5 ]
253/08	・シアン化水素またはその塩の不飽和化合物への付加によるもの [ 5 ]	255/10	・シアノ基と、同じ非環式炭素骨格に結合しているハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基とを含有するもの [ 5 ]
253/10	・炭素 炭素二重結合を含有する化合物への付加 [ 5 ]	255/11	・シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している単結合の酸素原子とを含有するもの [ 5 ]
253/12	・炭素 炭素三重結合を含有する化合物への付加 [ 5 ]	255/12	・シアノ基と、炭素骨格に結合している水酸基とを含有するもの [ 5 ]
253/14	・ハロゲン原子のシアノ基による置換を伴う、シアン化物とハロゲン含有化合物との反応によるもの [ 5 ]	255/13	・シアノ基と、炭素骨格に結合しているエーテル化された水酸基とを含有するもの [ 5 ]
253/16	・シアン化物と、ラクトンまたは水酸基ま	255/14	・シアノ基と、炭素骨格に結合しているエステル化された水酸基とを含有するもの [ 5 ]
		255/15	・シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している単結合の酸素原子とを含有するもの [ 5 ]

- 255/16 ・ ・ シアノ基と、非環式炭素骨格の同じ炭素原子に結合している単結合の酸素原子とを含有するもの [ 5 ]
- 255/17 ・ ・ シアノ基と、同じ非環式炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子とを含有するもの [ 5 ]
- 255/18 ・ ・ カルボキシル基の炭素原子に結合しているシアノ基を含有するもの [ 5 ]
- 255/19 ・ ・ シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している、シアノ基以外のカルボキシル基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/20 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 255/21 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 255/22 ・ ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のカルボキシル基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/23 ・ ・ シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している、シアノ基以外のカルボキシル基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/24 ・ ・ シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合しておりさらに他の異種原子に結合していない単結合の窒素原子とを含有するもの [ 5 ]
- 255/25 ・ ・ ・ アミノアセトニトリル [ 5 ]
- 255/26 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているシアノ基、アミノ基および単結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 255/27 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているシアノ基、アミノ基および二重結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 255/28 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているシアノ基、アミノ基およびシアノ基以外のカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 255/29 ・ ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合しているアシル化されたアミノ基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/30 ・ ・ シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合しており、さらに異種原子に結合していない単結合の窒素原子とを含有するもの [ 5 ]
- 255/31 ・ ・ シアノ基が、6 員芳香環以外の環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/32 ・ ・ シアノ基が、少なくとも 1 個の 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/33 ・ ・ ・ シアノ基が、6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に飽和炭素鎖で結合しているもの [ 5 ]
- 255/34 ・ ・ ・ シアノ基が、6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、不飽和炭素鎖で結合しているもの [ 5 ]
- 255/35 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [ 5 ]
- 255/36 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに水酸基で置換されているもの [ 5 ]
- 255/37 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにエーテル化された水酸基で置換されているもの [ 5 ]
- 255/38 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにエステル化された水酸基で置換されてくるもの [ 5 ]
- 255/39 ・ ・ ・ 2, 2 ジメチルシクロプロパンカルボン酸誘導体、例、菊酸、でエステル化されている水酸基を有するもの [ 5 ]
- 255/40 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 255/41 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにシアノ基以外のカルボキシル基で置換されているもの [ 5 ]
- 255/42 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の窒素原子で置換されており、さらに他の異種原子に結合していないもの [ 5 ]
- 255/43 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [ 5 ]
- 255/44 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個の単結合の窒素原子がアシル化されているもの [ 5 ]
- 255/45 ・ シアノ基が、6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/46 ・ ・ 非縮合環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/47 ・ ・ 縮合環系の一部である環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/48 ・ ・ 2, 2 ジメチルシクロプロパン環の炭素原子に結合しているもの、例、菊酸のニトリル [ 5 ]
- 255/49 ・ シアノ基が、炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/50 ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/51 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のシアノ基を含有するもの [ 5 ]
- 255/52 ・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 255/53 ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合している水酸基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/54 ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合しているエーテル化された水酸基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/55 ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合しているエステル化された水酸基とを含有するもの [ 5 ]
- 255/56 ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子とを含有するもの [ 5 ]
- 255/57 ・ ・ シアノ基と、炭素骨格に結合している

	シアノ基以外のカルボキシル基とを含有するもの [ 5 ]		子に結合しているもの [ 5 ]
255/58	・ シアノ基と、炭素骨格に結合しており他の異種原子に結合していない単結合の窒素原子とを含有するもの [ 5 ]	257/16	・ ・ アミジノ基の炭素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
255/59	・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]	257/18	・ ・ アミジノ基の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
255/60	・ ・ ・ 少なくとも1個の単結合の窒素原子がアシル化されているもの [ 5 ]	257/20	・ ・ アミジノ基の窒素原子がアシル化されているもの [ 5 ]
255/61	・ シアノ基と、同じ炭素骨格に結合しているイミノ基の一部である窒素原子とを含有するもの [ 5 ]	257/22	・ ・ アミジノ基の窒素原子がさらに窒素原子に結合しているもの、例・ヒドラジン [ 5 ]
255/62	・ シアノ基と、同じ炭素骨格に結合しているオキシイミノ基の一部である酸素原子を含有するもの [ 5 ]	259/00	カルボキシル基の酸素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置き換えられ、その窒素原子がさらに酸素原子に結合しているカルボキシル基を含有する化合物 [ 5 ]
255/63	・ シアノ基と、同じ炭素骨格に結合している、ニトロもしくはニトロソ基の酸素原子以外の異種原子にさらに結合する窒素原子を有するもの [ 5 ]	259/02	・ カルボキシル基の他方の酸素原子がハロゲン原子で置き換えられているもの [ 5 ]
255/64	・ ・ 窒素原子がさらに酸素原子に結合しているもの [ 5 ]	259/04	・ カルボキシル基の他方の酸素原子が置き換えられていないもの、例・ヒドロキサム酸 [ 5 ]
255/65	・ ・ 窒素原子がさらに窒素原子に結合しているもの [ 5 ]	259/06	・ ・ ヒドロキサム酸基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
255/66	・ ・ ・ シアノ基と、同じ炭素骨格に結合しているヒドラジノ基またはヒドラゾノ基の一部である窒素原子とをもつもの [ 5 ]	259/08	・ ・ ヒドロキサム酸基の炭素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
255/67	・ ・ ・ シアノ基と同じ炭素骨格に結合しているアジド基をもつもの [ 5 ]	259/10	・ ・ ヒドロキサム酸基の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
257/00	カルボキシル基の二重結合で結合している酸素原子が、二重結合で結合している窒素原子で置き換えられていて、かつその窒素原子はそれ以上酸素原子と結合していないカルボキシル基を含有する化合物、例・イミノ エーテル、アミジン [ 5 ]	259/12	・ カルボキシル基の他方の酸素原子が窒素原子で置き換えられているもの、例・N ヒドロキシアミジン [ 5 ]
257/02	・ カルボキシル基の一方の酸素原子がハロゲン原子で置き換えられているもの、低・イミノ ハライド [ 5 ]	259/14	・ ・ ヒドロキシアミジン基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
257/04	・ カルボキシル基の一方の酸素原子が置き換えられていないもの、例・イミノ エーテル [ 5 ]	259/16	・ ・ ヒドロキシアミジン基の炭素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
257/06	・ ・ イミノ カルボキシル基の炭素原子が水素原子、非環式炭素原子または6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	259/18	・ ・ ヒドロキシアミジン基の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
257/08	・ ・ イミノ カルボキシル基の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	259/20	・ ・ ヒドロキシアミジン基の少なくとも1個の窒素原子が他の窒素原子に結合しているもの [ 5 ]
257/10	・ カルボキシル基の他方の酸素原子が窒素原子で置き換えられているもの、例・アミジン [ 5 ]	261/00	シアン酸誘導体 [ 5 ]
257/12	・ ・ アミジノ基の炭素原子が水素原子に結合しているもの [ 5 ]	261/02	・ シアナート [ 5 ]
257/14	・ ・ アミジノ基の炭素原子が非環式炭素原	261/04	・ シアナミド ( 非置換シアナミド C 0 1 C 3 / 1 6 ) [ 5 ]
		263/00	イソシアン酸誘導体の製造 [ 5 ]
		263/02	・ ハロゲン化物と、イソシアン酸またはその誘導体との反応によるもの [ 5 ]
		263/04	・ カルバマートまたはカルバモイルハライドからのもの、またはそれらを経由する

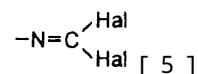
- もの [ 5 ]
- 263/06 ・ 尿素からのもの、または尿素を経由するもの [ 5 ]
- 263/08 ・ 複素環化合物からのもの、またはそれを経由するもの、例・フロキサンの熱分解 [ 5 ]
- 263/10 ・ アミンとカルボニルハロゲン化物、例・ホスゲン、との反応によるもの [ 5 ]
- 263/12 ・ カルボン酸の窒素誘導体、例・ヒドロキサム酸、からのものまたはそれを経由するもの、ホフマン、クルチウスまたはロッセン型転位反応を含む ( C 0 7 C 2 0 9 / 5 6 が優先 ) [ 5 ]
- 263/14 ・ ニトロ化合物と一酸化炭素との触媒反応によるもの [ 5 ]
- 263/16 ・ イソシアナート基の形成の関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 263/18 ・ 分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [ 5 ]
- 263/20 ・ ・ 分離 ; 精製 [ 5 ]
- 265/00 イソシアノン酸誘導体 [ 5 ]
- 265/02 ・ イソシアナート基が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 265/04 ・ ・ 飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 265/06 ・ ・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 265/08 ・ ・ ・ 炭素骨格が環を含有するもの [ 5 ]
- 265/10 ・ イソシアナート基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 265/12 ・ イソシアナート基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 265/14 ・ 少なくとも 2 個のイソシアナート基が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
- 265/16 ・ イソシアナート基がアシル化されているもの [ 5 ]
- 267/00 カルボジイミド [ 5 ]
- 269/00 カルバミン酸誘導体、すなわち以下の基のいずれかを含有する化合物、の製造
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{>N}-\text{C}-\text{O}- \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{>N}-\text{C}-\text{Hal} \end{array},$$
- $$\begin{array}{c} \text{O}- \\ | \\ -\text{N}=\text{C}-\text{O}- \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O}- \\ | \\ -\text{N}=\text{C}-\text{Hal} \end{array} \text{ または }$$
- $$\begin{array}{c} \text{Hal} \\ | \\ -\text{N}=\text{C}-\text{Hal} \end{array} \text{ ( 窒素原子はニトロまたはニトロソ基の一部ではない ) [ 5 ] }$$
- 269/02 ・ カルバマート基の形成を伴うイソシアナートからのもの [ 5 ]
- 269/04 ・ カルバマート基の形成を伴うアミンからのもの [ 5 ]
- 269/06 ・ カルバマート基の形成の関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 269/08 ・ 分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [ 5 ]

271/00 カルバミン酸誘導体、すなわち、以下のい

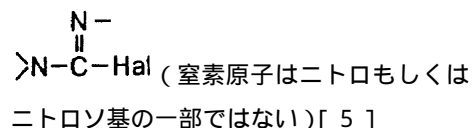
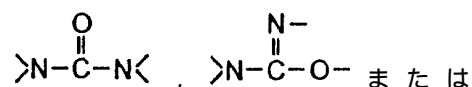


- 271/02 ・ カルバミン酸 ; カルバミン酸の塩 ( 非置換カルバミン酸またはその塩 C 0 1 B 2 1 / 1 2 ) [ 5 ]
- 271/04 ・ カルバミン酸ハライド [ 5 ]
- 271/06 ・ カルバミン酸エステル [ 5 ]
- 271/08 ・ ・ カルバマート基の酸素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/10 ・ ・ ・ カルバマート基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/12 ・ ・ ・ 水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/14 ・ ・ ・ ハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/16 ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/18 ・ ・ ・ 二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/20 ・ ・ ・ ニトロもしくはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭素水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/22 ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/24 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/26 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/28 ・ ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/30 ・ ・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/32 ・ ・ カルバマート基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/34 ・ ・ ・ カルバマート基の窒素原子が水素原

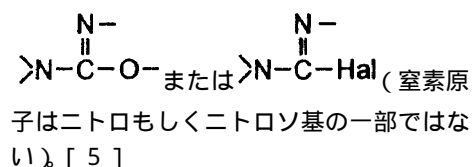
- 子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/36 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/38 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/40 ・ ・ カルバマート基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/42 ・ ・ ・ カルバマート基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/44 ・ ・ ・ 水素原子または非置換炭化水素の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/46 ・ ・ ・ ハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/48 ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/50 ・ ・ ・ 二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/52 ・ ・ ・ ニトロもしくはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/54 ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/56 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/58 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/60 ・ カルバマート基の酸素原子が窒素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 271/62 ・ 以下の基のいずれかを含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{O}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{Hal}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{O}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- または  $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{Hal}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$  ( X は異種原子, Y は任意の原子を表わす ) 例 . N アシルカルバマート [ 5 ]
- 271/64 ・ ・ Y が水素原子または炭素原子であるもの, 例 . ベンゾイルカルバマート [ 5 ]
- 271/66 ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
- 271/68 ・ 以下の基のいずれかを含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{O}- \\ \parallel \\ -\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{O}- \\ \searrow \text{O}- \end{array} \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O}- \\ \parallel \\ -\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{O}- \\ \searrow \text{Hal} \end{array} \end{array} \text{ または}$$



- 273/00 尿素またはその誘導体, すなわち, 以下の基のいずれかを含有する化合物, の製造



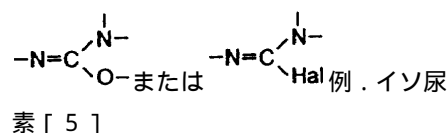
- 273/02 ・ 尿素, その塩, 錯体または付加化合物の製造 [ 5 ]
- 273/04 ・ ・ 二酸化炭素とアンモニアからのもの [ 5 ]
- 273/06 ・ ・ シアナミドまたはカルシウムシアナミドからのもの [ 5 ]
- 273/08 ・ ・ アンモニア性溶液からのもの [ 5 ]
- 273/10 ・ ・ アンモニアの合成と組み合わせたもの [ 5 ]
- 273/12 ・ ・ メラミンの合成と組み合わせたもの [ 5 ]
- 273/14 ・ ・ 分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [ 5 ]
- 273/16 ・ ・ ・ 分離; 精製 [ 5 ]
- 273/18 ・ 置換尿素の製造 [ 5 ]
- 275/00 尿素の誘導体, すなわち以下の基いずれか



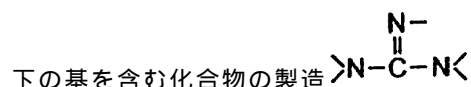
- 275/02 ・ 塩; 錯体; 付加化合物 [ 5 ]
- 275/04 ・ 尿素基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 275/06 ・ ・ 非環式で飽和の炭素骨格の [ 5 ]
- 275/08 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されたもの [ 5 ]
- 275/10 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 275/12 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 275/14 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 275/16 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたもの [ 5 ]
- 275/18 ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 275/20 ・ ・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 275/22 ・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]

- 275/24 ・ ・ ・炭素骨格が6員芳香環を含有するものの〔5〕
- 275/26 ・ 尿素基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているものの〔5〕
- 275/28 ・ 尿素基の窒素原子が炭素骨格の6員芳香環の炭素原子に結合しているものの〔5〕
- 275/30 ・ ・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているものの〔5〕
- 275/32 ・ ・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたものの〔5〕
- 275/34 ・ ・ ・尿素基の窒素原子と単結合の酸素原子が同じ非縮合6員芳香環の炭素原子に結合しているものの〔5〕
- 275/36 ・ ・ ・少なくとも1個の酸素原子がさらに6員芳香環の炭素原子に結合しているもの、例、N-アリールオキシフェニル尿素〔5〕
- 275/38 ・ ・炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたものの〔5〕
- 275/40 ・ ・炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたものの〔5〕
- 275/42 ・ ・炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたものの〔5〕
- 275/44 ・ 尿素基の窒素原子が二重結合で炭素原子に結合しているものの〔5〕
- 275/46 ・ 以下の基のいずれかを含有する化合物  

$$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{>N-C-N-C}^{\text{X}} \\ \quad \quad \quad \diagdown \\ \quad \quad \quad \text{Y} \end{array} \text{または} \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{>N-C-N=C}^{\text{X}} \\ \quad \quad \quad \diagdown \\ \quad \quad \quad \text{Y} \end{array} \quad (\text{Xは異種原子, Yは任意の原子を表わす}) \text{例、アシル尿素}〔5〕$$
- 275/48 ・ ・ Yが水素原子または炭素原子であるものの〔5〕
- 275/50 ・ ・ ・ Yが水素原子または非環式炭素原子であるものの〔5〕
- 275/52 ・ ・ ・ Yが6員芳香環以外の環の炭素原子であるものの〔5〕
- 275/54 ・ ・ ・ Yが6員芳香環の炭素原子であるもの、例、ベンゾイル尿素〔5〕
- 275/56 ・ ・ ・ Xが窒素原子であるものの〔5〕
- 275/58 ・ ・ Yが異種原子であるものの〔5〕
- 275/60 ・ ・ ・ Yが酸素原子であるもの、例、アロファン酸〔5〕
- 275/62 ・ ・ ・ Yが窒素原子であるもの、例、ピウレット〔5〕
- 275/64 ・ 尿素基の窒素原子が単結合で酸素原子に結合しているものの〔5〕
- 275/66 ・ 尿素基の窒素がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基に結合しているものの〔5〕
- 275/68 ・ ・ N-ニトロソ尿素〔5〕
- 275/70 ・ 以下の基のいずれかを含有する化合物



277/00 グアニジンまたはその誘導体、すなわち以



(単結合で結合している窒素原子はニトロまたはニトロソ基の一部ではない)〔5〕

277/02 ・ シアナミド、カルシウムシアナミドまたはジシアンジアミドからのグアニジンの製造〔5〕

277/04 ・ アンモニウムチオシアナートからのグアニジンの製造〔5〕

277/06 ・ グアニジンの精製または分離〔5〕

277/08 ・ 置換グアニジンの製造〔5〕

279/00 グアニジンの誘導体、すなわち以下の基を



279/02 ・ グアニジン；その塩、錯体または付加化合物〔5〕

279/04 ・ グアニジン基の窒素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているものの〔5〕

279/06 ・ ・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されたものの〔5〕

279/08 ・ ・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたものの〔5〕

279/10 ・ ・炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたものの〔5〕

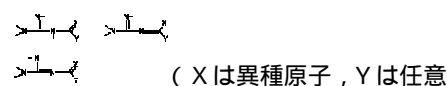
279/12 ・ ・炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたものの〔5〕

279/14 ・ ・炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたものの〔5〕

279/16 ・ グアニジン基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているものの〔5〕

279/18 ・ グアニジン基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているものの〔5〕

279/20 ・ 以下の基のいずれかを含有する化合物



279/22 ・ ・ Yが水素または炭素原子であるもの、例、ベンゾイルグアニジン〔5〕

279/24 ・ ・ Yが異種原子であるものの〔5〕



279/26	・ ・ ・ XとYが窒素原子であるもの，すなわちビグアニド [ 5 ]		
279/28	・ グアニジン基の窒素原子がシアノ基に結合しているもの，例，シアノグアニジン，ジシアンジアミド [ 5 ]	291/02	・ 窒素 オキシド結合を含有するもの [ 5 ]
279/30	・ グアニジン基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基に結合しているもの [ 5 ]	291/04	・ ・ アミノオキシド結合を含有するもの [ 5 ]
279/32	・ ・ N ニトログアニジン類 [ 5 ]	291/06	・ ・ ニトリルオキシド [ 5 ]
279/34	・ ・ ・ N ニトログアニジン [ 5 ]	291/08	・ ・ アゾキシ化合物 [ 5 ]
279/36	・ ・ ・ 置換N ニトログアニジン [ 5 ]	291/10	・ イソシアニド [ 5 ]
281/00	その官能基の少なくとも1個の窒素原子がさらにニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子に結合しているグループ C 0 7 C 2 6 9 / 0 0 ~ C 0 7 C 2 7 9 / 0 0 までに属する官能基を含有する炭酸誘導体 [ 5 ]	291/12	・ 雷酸エステル [ 5 ]
281/02	・ 以下の基のいずれかを含む化合物， $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{O}- \end{array} \text{または} \begin{array}{c} \text{O}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{O}- \end{array} \text{例，カルバジン酸エステル [ 5 ]}$	291/14	・ ニトロまたはニトロソ基との結合と異種原子への二重結合とをもつ少なくとも1個の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
281/04	・ ・ 一方の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	<u>硫黄，セレンもしくはテルルとともに炭素を含有し水素，ハロゲン，酸素もしくは窒素有するかまたは有しない化合物 [ 5 ]</u>	
281/06	・ 以下の基のいずれかを含有する化合物 $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{N}< \end{array}, \begin{array}{c} \text{O}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}=\text{C}-\text{N}< \end{array} \text{または}$ $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}=\text{N}- \end{array} \text{例，セミカルバジド [ 5 ]}$	301/00	亜硫酸エステル [ 5 ]
281/08	・ ・ 上記他の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの，例，セミカルバゾン [ 5 ]	301/02	・ 亜硫酸基が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
281/10	・ ・ ・ 炭素原子がさらに非環式炭素原子または6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	303/00	硫酸エステルまたはアミドの製造；スルホン酸またはそのエステル，ハライド，無水物またはアミドの製造 [ 5 ]
281/12	・ ・ ・ 炭素原子が6員芳香環以外の環の一部であるもの [ 5 ]	303/02	・ スルホン酸またはそのハロゲン化物の製造 [ 5 ]
281/14	・ ・ ・ 炭素骨格がさらに6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	303/04	・ ・ 水素原子をスルホ基またはハロスルホニル基で置換することによるもの [ 5 ]
281/16	・ 以下の基のいずれかを含有する化合物 $\begin{array}{c} \text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{N}< \end{array} \text{または} \begin{array}{c} -\text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}=\text{C}-\text{N}< \end{array} \text{例，アミノグアニジン [ 5 ]}$	303/06	・ ・ ・ 硫酸または三酸化イオウとの反応によるもの [ 5 ]
281/18	・ ・ 上記他の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの，例，グアニルヒドラゾン [ 5 ]	303/08	・ ・ ・ ハロゲノスルホン酸との反応によるもの [ 5 ]
281/20	・ 官能基の2個の窒素原子が互いに二重結合で結合しているもの，例，アゾホルムアミド [ 5 ]	303/10	・ ・ ・ 二酸化イオウおよびハロゲンとの反応またはハロゲン化スルフィリルとの反応によるもの [ 5 ]
291/00	炭素と窒素有し，グループ C 0 7 C 2 0 1 / 0 0 ~ C 0 7 C 2 8 1 / 0 0 に包含	303/12	・ ・ ・ ハロゲン化チオニルとの反応によるもの [ 5 ]
		303/14	・ ・ スルホキシデーションすなわちスルホ基またはハロスルホニル基の形成を伴う二酸化硫黄および酸素との反応によるもの [ 5 ]
		303/16	・ ・ スルホ基またはハロスルホニル基の形成を伴うチオール，スルフィド，ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドの酸化によるもの [ 5 ]
		303/18	・ ・ スルホ基またはハロスルホニル基の形成を伴う置換可能な基を持つ化合物とスルフィドの反応によるもの [ 5 ]
		303/20	・ ・ 炭素 炭素多重結合を持つ化合物に亜硫酸またはその塩を付加することによるもの [ 5 ]
		303/22	・ ・ スルホ基またはハロスルホニル基の形成が関与しない反応によるスルホン酸からのもの [ 5 ]
		303/24	・ 硫酸エステルの製造 [ 5 ]
		303/26	・ スルホン酸エステルの製造 [ 5 ]

- 303/28 ・ ・ ヒドロキシ化合物とスルホン酸またはその誘導体との反応によるもの [ 5 ]
- 303/30 ・ ・ エステル化されたスルホ基の形成が関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 303/32 ・ スルホン酸塩の製造 [ 5 ]
- 303/34 ・ 硫酸アミドの製造 [ 5 ]
- 303/36 ・ スルホン酸アミドの製造 [ 5 ]
- 303/38 ・ ・ アンモニアまたはアミンとスルホン酸，またはそのエステル，無水物またはハロゲン化物との反応によるもの [ 5 ]
- 303/40 ・ ・ スルホンアミド基の形成が関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 303/42 ・ 分離；精製；安定化；添加剤の使用 [ 5 ]
- 303/44 ・ ・ 分離；精製 [ 5 ]
- 303/46 ・ ・ ・ 鉱油を硫酸で精製する際の副生成物からのもの [ 5 ]
- 305/00 硫酸エステル [ 5 ]
- 305/02 ・ 硫酸基の酸素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 305/04 ・ ・ 非環式で飽和のもの [ 5 ]
- 305/06 ・ ・ ・ 硫酸水素エステル [ 5 ]
- 305/08 ・ ・ ・ 硫酸ジアルキル；置換硫酸ジアルキル [ 5 ]
- 305/10 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 305/12 ・ ・ 飽和で環を含有するもの [ 5 ]
- 305/14 ・ ・ 非環式で不飽和のもの [ 5 ]
- 305/16 ・ ・ 不飽和で環を含有するもの [ 5 ]
- 305/18 ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 305/20 ・ 硫酸基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 305/22 ・ 硫酸基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 305/24 ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の [ 5 ]
- 305/26 ・ ハロゲン硫酸エステル，すなわちハロゲン硫酸のモノエステル [ 5 ]
- 307/00 硫酸のアミド，すなわち硫酸基の単結合で結合している酸素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された化合物 [ 5 ]
- 307/02 ・ 硫酸またはそのエステルのモノアミド，例．スルファミン酸 [ 5 ]
- 307/04 ・ 硫酸のジアミド [ 5 ]
- 307/06 ・ ・ スルファミド基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 307/08 ・ ・ スルファミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 307/10 ・ ・ スルファミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/00 スルホン酸；そのハライド，エステルまたは無水物 [ 5 ]
- 309/01 ・ スルホン酸 [ 5 ]
- 309/02 ・ ・ スルホン酸基が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/03 ・ ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/04 ・ ・ ・ ・ たゞ 1 個のスルホン酸基を含有するもの [ 5 ]
- 309/05 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のスルホン酸基を含有するもの [ 5 ]
- 309/06 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基を含有するもの [ 5 ]
- 309/07 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/08 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している水酸基を含有するもの [ 5 ]
- 309/09 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているエーテル化された水酸基を含有するもの [ 5 ]
- 309/10 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/11 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のエーテル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/12 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているエステル化された水酸基を含有するもの [ 5 ]
- 309/13 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/14 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているアミノ基を含有するもの [ 5 ]
- 309/15 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子が以下の基のいずれかの一部と  

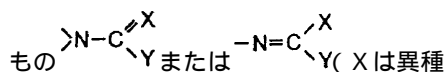
$$\text{>N}-\overset{\text{X}}{\underset{\text{||}}{\text{C}}}-\text{Y}$$
または  

$$-\text{N}=\overset{\text{X}}{\underset{\text{Y}}{\text{C}}}$$
( X は異種原子，Y は任意の原子を表わす ) [ 5 ]
- 309/16 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している二重結合の窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/17 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 309/18 ・ ・ ・ ・ ・ 同じ炭素骨格に結合しているアミノ基を含有するもの [ 5 ]
- 309/19 ・ ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/20 ・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/21 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/22 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 309/23 ・ ・ ・ 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]

- 309/24 ・ ・ ・ 6 員芳香環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/25 ・ ・ スルホン酸基が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/26 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/27 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 309/28 ・ ・ スルホン酸基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/29 ・ ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の [ 5 ]
- 309/30 ・ ・ ・ ・ アルキル基置換 6 員芳香環の [ 5 ]
- 309/31 ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 3 個の炭素原子を含有するアルキル基で置換されたもの [ 5 ]
- 309/32 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格に少なくとも 2 個の非縮合 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 309/33 ・ ・ ・ 6 員芳香環が縮合環系の一部であるもの [ 5 ]
- 309/34 ・ ・ ・ ・ 2 個の環から成るもの [ 5 ]
- 309/35 ・ ・ ・ ・ ・ ナフタレンスルホン酸 [ 5 ]
- 309/36 ・ ・ ・ ・ ・ アルキル基で置換されているもの [ 5 ]
- 309/37 ・ ・ ・ ・ ・ ・ アルキル基が少なくとも 3 個の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/38 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 3 個の環から成るもの [ 5 ]
- 309/39 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているハロゲン原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/40 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基を含有するもの [ 5 ]
- 309/41 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/42 ・ ・ ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているスルホン酸基をもつもの [ 5 ]
- 309/43 ・ ・ ・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個のスルホン酸基をもつもの [ 5 ]
- 309/44 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/45 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/46 ・ ・ ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているスルホン酸基をもつもの [ 5 ]
- 309/47 ・ ・ ・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個のスルホン酸基をもつもの [ 5 ]
- 309/48 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにハロゲン原子で置換されたもの [ 5 ]
- 309/49 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 309/50 ・ ・ ・ ・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個のスルホン酸基をもつもの [ 5 ]
- 309/51 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの
- $$\begin{array}{c} \text{>N-C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \text{または} \begin{array}{c} \text{-N=C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) [ 5 ]$$
- 309/52 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 309/53 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がキノン環の炭素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/54 ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの
- $$\begin{array}{c} \text{>N-C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \text{または} \begin{array}{c} \text{-N=C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) [ 5 ]$$
- 309/55 ・ ・ ・ ・ ・ ・ Y が水素または炭素原子であるもの [ 5 ]
- 309/56 ・ ・ ・ ・ ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
- 309/57 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 309/58 ・ ・ ・ カルボン酸基またはそのエステル [ 5 ]
- 309/59 ・ ・ ・ ・ カルボキシル基の窒素同族体 [ 5 ]
- 309/60 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 309/61 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 309/62 ・ ・ 構造不明のスルホン化脂肪, 脂肪油またはワックス [ 5 ]
- 309/63 ・ スルホン酸エステル [ 5 ]
- 309/64 ・ ・ エステル化されたスルホン酸基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/65 ・ ・ ・ 飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/66 ・ ・ ・ ・ メタンスルホン酸エステル [ 5 ]
- 309/67 ・ ・ ・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/68 ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭素骨格の [ 5 ]
- 309/69 ・ ・ ・ ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭素骨格の [ 5 ]
- 309/70 ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭素骨格の [ 5 ]
- 309/71 ・ ・ エステル化されたスルホン酸基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/72 ・ ・ エステル化されたスルホン酸基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]

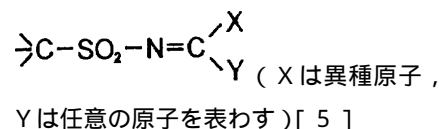
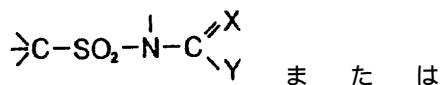
- 309/73 ・ ・ ・ 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/74 ・ ・ ・ 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 309/75 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/76 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/77 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 309/78 ・ スルホン酸ハライド [ 5 ]
- 309/79 ・ ・ 非環式炭素原子に結合しているハロスルホニル基をもつもの [ 5 ]
- 309/80 ・ ・ ・ 飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/81 ・ ・ ・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 309/82 ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭素骨格の [ 5 ]
- 309/83 ・ ・ ・ ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭素骨格の [ 5 ]
- 309/84 ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭素骨格の [ 5 ]
- 309/85 ・ ・ 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているハロスルホニル基をもつもの [ 5 ]
- 309/86 ・ ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているハロスルホニル基をもつもの [ 5 ]
- 309/87 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/88 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]
- 309/89 ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
- 311/00 スルホン酸アミド, すなわちスルホン酸基の単結合で結合している酸素原子がニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置き換えられている化合物 [ 5 ]
- 311/01 ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/02 ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/03 ・ ・ ・ スルホン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/04 ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/05 ・ ・ ・ ・ ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/06 ・ ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/07 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/08 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/09 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに少なくとも 2 個のハロゲン原子で置換されたもの [ 5 ]
- 311/10 ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/11 ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/12 ・ ・ 環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/13 ・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 311/14 ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/15 ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/16 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/17 ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/18 ・ ・ ・ ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/19 ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/20 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/21 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/22 ・ 酸部分の炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたスルホン酸アミド [ 5 ]
- 311/23 ・ ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/24 ・ ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/25 ・ ・ ・ 環を含有する飽和炭素の骨格の [ 5 ]
- 311/26 ・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/27 ・ ・ ・ 環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/28 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 311/29 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/30 ・ 酸部分の炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない単結合の窒素原

- 子で置換されたスルホン酸アミド [ 5 ]
- 311/31 ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/32 ・ ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/33 ・ ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/34 ・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/35 ・ ・ ・ 環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 311/36 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/37 ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/38 ・ ・ ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子と同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合したアミノ基をもつもの [ 5 ]
- 311/39 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/40 ・ ・ ・ ・ ・ 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/41 ・ ・ ・ ・ ・ ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/42 ・ ・ ・ ・ ・ カルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/43 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/44 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/45 ・ ・ 少なくとも 1 個の単結合の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっている



原子, Y は任意の原子を表わす) 例. N  
アシルアミノスルホンアミド [ 5 ]

- 311/46 ・ ・ ・ Y が水素または炭素原子であるもの [ 5 ]
- 311/47 ・ ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
- 311/48 ・ スルホン酸アミド基の窒素原子がさらに他の異種原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/49 ・ ・ 窒素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/50 ・ 以下のいずれかの基を含有する化合物



- 311/51 ・ ・ Y は水素または炭素原子であるもの [ 5 ]
- 311/52 ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
- 311/53 ・ ・ ・ X と Y が窒素原子でないもの, 例. N スルホニルカルバミン酸 [ 5 ]
- 311/54 ・ ・ ・ X と Y のいずれか一方のみが窒素原子であるもの, 例. N スルホニル尿素 [ 5 ]
- 311/55 ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/56 ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/57 ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/58 ・ ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/59 ・ ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/60 ・ ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/61 ・ ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の窒素原子がさらに他の異種原子に結合しているもの [ 5 ]
- 311/62 ・ ・ ・ ・ ・ スルホニル尿素基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [ 5 ]
- 311/63 ・ ・ ・ ・ N スルホニルイソ尿素 [ 5 ]
- 311/64 ・ ・ ・ X と Y が窒素原子であるもの, 例. N スルホニルグアニジン [ 5 ]
- 311/65 ・ N スルホニルイソシアナート [ 5 ]
- 313/00 スルフィン酸; スルフェン酸; それらのハライド, エステルまたは無水物; スルフィン酸またはスルフェン酸のアミド, すなわちスルフィン酸またはスルフェン酸の単結合で結合している酸素原子がニトロ基またはニトロソ基の一部でない窒素原子で置き換えられている化合物 [ 5 ]
- 313/02 ・ スルフィン酸; その誘導体 [ 5 ]
- 313/04 ・ ・ スルフィン酸; そのエステル [ 5 ]
- 313/06 ・ ・ スルフィン酸アミド [ 5 ]
- 313/08 ・ スルフェン酸; その誘導体 [ 5 ]
- 313/10 ・ ・ スルフェン酸; そのエステル [ 5 ]
- 313/12 ・ ・ ・ スルフェン酸の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 313/14 ・ ・ ・ スルフェン酸の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]

- の [ 5 ]
- 313/16 ・ ・ ・ スルフェン酸の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 313/18 ・ ・ スルフェン酸アミド [ 5 ]
- 313/20 ・ ・ ・ スルフェン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 313/22 ・ ・ ・ スルフェン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 313/24 ・ ・ ・ スルフェン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 313/26 ・ ・ ・ 以下のいずれかの基を含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{X} \\ | \\ \text{>C-S-N-C-Y} \\ || \\ \text{X} \end{array} \quad \text{ま た は}$$
- $$\begin{array}{c} \text{X} \\ | \\ \text{>C-S-N=C-Y} \end{array} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) [ 5 ]$$
- 313/28 ・ ・ ・ ・ Y が水素または炭素原子であるもの [ 5 ]
- 313/30 ・ ・ ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
- 313/32 ・ ・ ・ ・ X と Y が窒素原子でないもの, 例 . N スルフェニルカルバミン酸 [ 5 ]
- 313/34 ・ ・ ・ ・ X と Y のいずれか一方のみ窒素原子であるもの, 例 . N スルフェニル尿素 [ 5 ]
- 313/36 ・ ・ ・ スルフェン酸アミド基の窒素原子がさらに他の異種原子に結合しているもの [ 5 ]
- 313/38 ・ ・ ・ N スルフェニルイソシアナート [ 5 ]
- 315/00 スルホンの製造; スルホキシドの製造 [ 5 ]
- 315/02 ・ スルフィドの酸化によるスルホンまたはスルホキシド基の形成, またはスルホキシドの酸化によるスルホン基の形成によるもの [ 5 ]
- 315/04 ・ スルホンまたはスルホキシド基の形成が関与しない反応によるもの [ 5 ]
- 315/06 ・ 分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [ 5 ]
- 317/00 スルホン; スルホキシド [ 5 ]
- 317/02 ・ スルホンまたはスルホキシド基が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/04 ・ ・ 非環式飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 317/06 ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 317/08 ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 317/10 ・ ・ 環を含有する不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 317/12 ・ スルホンまたはスルホキシド基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/14 ・ スルホンまたはスルホキシド基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/16 ・ スルホンまたはスルホキシド基と単結合
- の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
- 317/18 ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/20 ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/22 ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/24 ・ スルホンまたはスルホキシド基と二重結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
- 317/26 ・ スルホンまたはスルホキシド基とニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
- 317/28 ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/30 ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/32 ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/34 ・ ・ ・ スルホンまたはスルホキシド基とアミノ基が同じ非縮合環の一部である 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/36 ・ ・ ・ ・ アミノ基の窒素原子が水素原子または炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 317/38 ・ ・ ・ ・ 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子が以下の基のいずれかの一部であるもの
- $$\begin{array}{c} \text{X} \\ || \\ \text{>N-C-Y} \end{array} \quad \text{または} \quad \begin{array}{c} \text{X} \\ \diagup \\ \text{-N=C} \end{array} \text{Y} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) \quad \text{例 . N アシルアミノスルホン} [ 5 ]$$
- 317/40 ・ ・ ・ ・ Y が水素または炭素原子であるもの [ 5 ]
- 317/42 ・ ・ ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
- 317/44 ・ スルホンまたはスルホキシド基とカルボキシル基が同じ炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
- 317/46 ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 317/48 ・ ・ 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない単結合の窒素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 317/50 ・ ・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの
- $$\begin{array}{c} \text{X} \\ \diagup \\ \text{>N-C} \end{array} \text{Y} \quad \text{または} \quad \begin{array}{c} \text{X} \\ \diagup \\ \text{-N=C} \end{array} \text{Y} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす})$$

	Yは任意の原子を表わす)[ 5 ]	321/26	・・チオール[ 5 ]
319/00	チオール, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドの製造[ 5 ]	321/28	・・6員芳香環の炭素原子に結合しているチオ基をもつスルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド[ 5 ]
319/02	・チオールの製造[ 5 ]		
319/04	・・不飽和化合物に硫化水素またはその塩を付加させることによるもの[ 5 ]	321/30	・・・少なくとも1個のチオ基の硫黄原子が6員芳香環の2個の炭素原子に結合しているスルフィド[ 5 ]
319/06	・・スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドからのもの[ 5 ]	323/00	ハロゲン, 酸素, 窒素原子またはチオ基の一部でない硫黄原子で置換されたチオール, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド[ 5 ]
319/08	・・水酸基またはエーテル化もしくはエステル化された水酸基の置換によるもの[ 5 ]	323/01	・チオ基と同じ炭素骨格に結合しているハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基を含有するもの[ 5 ]
319/10	・・・6員芳香環の炭素原子に結合した水酸基またはエーテル化もしくはエステル化された水酸基の置換によるもの[ 5 ]	323/02	・・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子結合しているもの[ 5 ]
319/12	・・メルカプト基の形成が関与しない反応によるもの[ 5 ]	323/03	・・・炭素骨格が非環式で飽和のもの[ 5 ]
319/14	・スルフィドの製造[ 5 ]	323/04	・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの[ 5 ]
319/16	・・不飽和化合物に硫化水素またはその塩を付加させることによるもの[ 5 ]	323/05	・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの[ 5 ]
319/18	・・不飽和化合物にチオールを付加させることによるもの[ 5 ]	323/06	・・・炭素骨格が不飽和で6員芳香環以外の環を含有するもの[ 5 ]
319/20	・・スルフィド基の形成が関与しない反応によるもの[ 5 ]	323/07	・・・炭素骨格が6員芳香環を含有するもの[ 5 ]
319/22	・ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドの製造[ 5 ]	323/08	・・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの[ 5 ]
319/24	・・硫黄 硫黄結合の形成が関与する反応によるもの[ 5 ]	323/09	・・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の6員芳香環の炭素原子に結合しているもの[ 5 ]
319/26	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用[ 5 ]	323/10	・チオ基と同じ炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの[ 5 ]
319/28	・・分離; 精製[ 5 ]	323/11	・・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの[ 5 ]
319/30	・・・鉱油精製の副産物からのもの[ 5 ]	323/12	・・・炭素骨格が非環式で飽和のもの[ 5 ]
321/00	チオール, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド[ 5 ]	323/13	・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの[ 5 ]
321/02	・非環式炭素原子に結合しているメルカプト基をもつチオール[ 5 ]	323/14	・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの[ 5 ]
321/04	・・非環式飽和炭素骨格の[ 5 ]	323/15	・・・炭素骨格が不飽和で6員芳香環以外の環を含有するもの[ 5 ]
321/06	・・環を含有する飽和炭素骨格の[ 5 ]	323/16	・・・炭素骨格が6員芳香環を含有するもの[ 5 ]
321/08	・・非環式不飽和炭素骨格の[ 5 ]	323/17	・・少なくとも1個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの[ 5 ]
321/10	・・環を含有する不飽和炭素骨格の[ 5 ]	323/18	・・少なくとも1個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の6員芳香環の炭素原子に結合しているもの[ 5 ]
321/12	・非環式炭素原子に結合したチオ基をもつスルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド[ 5 ]	323/19	・・・炭素骨格の非環式炭素原子に結合している単結合の酸素原子をもつもの[ 5 ]
321/14	・・非環式飽和炭素骨格の[ 5 ]	323/20	・・・同じ非縮合6員芳香環の炭素原子に結合している単結合の酸素原子をもつもの[ 5 ]
321/16	・・環を含有する飽和炭素骨格の[ 5 ]	323/21	・・・チオ基の硫黄原子が縮合環系の一部
321/18	・・非環式不飽和炭素骨格の[ 5 ]		
321/20	・・環を含有する不飽和炭素骨格の[ 5 ]		
321/22	・6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているチオ基をもつチオール, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド[ 5 ]		
321/24	・6員芳香環の炭素原子に結合しているチオ基をもつチオール, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド[ 5 ]		

	である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/43	・ ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
323/22	・ チオ基と同じ炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子を含有するもの [ 5 ]	323/44	・ ・ ・ ・ X または Y が窒素原子であるもの [ 5 ]
323/23	・ チオ基と同じ炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [ 5 ]	323/45	・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が炭素骨格に二重結合で結合しているもの [ 5 ]
323/24	・ ・ チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/46	・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子がさらに他の異種原子に結合し、ニトロまたはニトロソ基の一部でないもの [ 5 ]
323/25	・ ・ ・ 炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]	323/47	・ ・ ・ 酸素原子に結合しているもの [ 5 ]
323/26	・ ・ ・ 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]	323/48	・ ・ ・ 窒素原子に結合しているもの [ 5 ]
323/27	・ ・ ・ 炭素骨格が非環式で不飽和のもの [ 5 ]	323/49	・ ・ ・ 硫黄原子に結合しているもの [ 5 ]
323/28	・ ・ ・ 炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]	323/50	・ チオ基と同じ炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [ 5 ]
323/29	・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]	323/51	・ ・ チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
323/30	・ ・ 少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/52	・ ・ ・ 炭素骨格が非環式で飽和のもの [ 5 ]
323/31	・ ・ 少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/53	・ ・ ・ 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [ 5 ]
323/32	・ ・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/54	・ ・ ・ 炭素骨格が非環式で不飽和のもの [ 5 ]
323/33	・ ・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/55	・ ・ ・ 炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [ 5 ]
323/34	・ ・ ・ チオ基がメルカプト基であるもの [ 5 ]	323/56	・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
323/35	・ ・ ・ チオ基がスルフィド基であるもの [ 5 ]	323/57	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されているもの [ 5 ]
323/36	・ ・ ・ ・ スルフィド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/58	・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]
323/37	・ ・ ・ ・ スルフィド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/59	・ ・ ・ ・ 炭素骨格に結合しているアシル化されたアミノ基をもつもの [ 5 ]
323/38	・ ・ ・ チオ基の硫黄原子が縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	323/60	・ ・ ・ 少なくとも 1 個のカルボキシル基の炭素原子が窒素原子に結合しているもの [ 5 ]
323/39	・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの	323/61	・ ・ 少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
	$\begin{array}{c} \text{X} \\ \parallel \\ \text{>N-C-Y} \end{array} \text{または} \begin{array}{c} \text{X} \\ \diagup \\ \text{-N=C} \end{array} \text{Y} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) [ 5 ]$	323/62	・ ・ 少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
323/40	・ ・ ・ Y が水素または炭素原子であるもの [ 5 ]	323/63	・ ・ ・ 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [ 5 ]
323/41	・ ・ ・ ・ Y が水素または非環式炭素原子であるもの [ 5 ]	323/64	・ チオ基と同じ炭素骨格に結合したチオ基の一部でない硫黄原子を含有するもの [ 5 ]
323/42	・ ・ ・ ・ Y が 6 員芳香環の炭素原子であるもの [ 5 ]	323/65	・ ・ スルホンまたはスルホキシド基の硫黄原子が炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
		323/66	・ ・ スルホン酸基、エステル化されたスルホン酸基またはハロスルホニル基の硫黄原子が炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
		323/67	・ ・ スルホン酸アミド基の硫黄原子が炭素骨格に結合しているもの [ 5 ]
		325/00	チオアルデヒド; チオケトン; チオキノン;



	それらのオキシド [ 5 ]	327/42	・ ・ ・ 水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
325/02	・ チオケトン ; それらのオキシド [ 5 ]	327/44	・ ・ ・ 不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
325/04	・ チオキノン ; それらのオキシド [ 5 ]	327/46	・ ・ チオカルボキサミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/00	チオカルボン酸 [ 5 ]	327/48	・ ・ チオカルボキサミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/02	・ モノチオカルボン酸 [ 5 ]	327/50	・ ・ 以下のいずれかの基を含有する化合物
327/04	・ ・ チオカルボキシル基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]		$\begin{array}{c} \text{S} \quad \text{X} \\ \parallel \quad   \\ -\text{C}-\text{N}-\text{C}-\text{Y} \end{array} \text{または} \begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ -\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) [ 5 ]$
327/06	・ ・ ・ 水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	327/52	・ ・ ・ Y が水素または炭素原子であるもの [ 5 ]
327/08	・ ・ ・ 環を含有する飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	327/54	・ ・ ・ Y が異種原子であるもの [ 5 ]
327/10	・ ・ ・ 非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	327/56	・ ・ チオカルボキサミド基の窒素原子がさらに他の異種原子に結合しているもの [ 5 ]
327/12	・ ・ ・ 環を含有する不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	327/58	・ 二重結合の酸素原子が窒素原子で置換されたチオカルボン酸誘導体, 例 . イミノチオエーテル [ 5 ]
327/14	・ ・ チオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	327/60	・ チオカルボキシル基の硫黄原子がさらに二重結合で酸素原子に結合しているチオカルボン酸 [ 5 ]
327/16	・ ・ チオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/00	チオ炭酸 ; それらのハライド , エステル , または無水物 [ 5 ]
327/18	・ ジチオカルボン酸 [ 5 ]	329/02	・ モノチオ炭酸 ; その誘導体 [ 5 ]
327/20	・ モノチオカルボン酸のエステル [ 5 ]	329/04	・ ・ モノチオ炭酸のエステル [ 5 ]
327/22	・ ・ エステル化されたチオカルボキシル基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/06	・ ・ ・ チオ炭酸基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/24	・ ・ エステル化されたチオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/08	・ ・ ・ チオ炭酸基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/26	・ ・ エステル化されたチオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/10	・ ・ ・ チオ炭酸基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/28	・ ・ エステル化されたチオカルボキシル基の硫黄原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/12	・ ジチオ炭酸 ; その誘導体 [ 5 ]
327/30	・ ・ エステル化されたチオカルボキシル基の硫黄原子がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/14	・ ・ ジチオ炭酸のエステル [ 5 ]
327/32	・ ・ エステル化されたチオカルボキシル基の硫黄原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	329/16	・ ・ ・ ジチオ炭酸基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/34	・ ・ ・ 同じ炭化水素基に結合しているアミノ基をもつもの [ 5 ]	329/18	・ ・ ・ ジチオ炭酸基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/36	・ ジチオカルボン酸のエステル [ 5 ]	329/20	・ ・ ・ ジチオ炭酸基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
327/38	・ チオカルボン酸のアミド [ 5 ]	331/00	チオシアン酸またはイソチオシアン酸誘導体 [ 5 ]
327/40	・ ・ チオカルボキサミド基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]	331/02	・ チオシアナート [ 5 ]
		331/04	・ ・ チオシアナート基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
		331/06	・ ・ チオシアナート基の硫黄原子が 6 員芳香

- 香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/08 ・ ・ チオシアナート基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/10 ・ ・ チオシアナート基の硫黄原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/12 ・ ・ チオシアナート基の硫黄原子がニトロ基またはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/14 ・ ・ チオシアナート基の硫黄原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/16 ・ イソチオシアナート [ 5 ]
- 331/18 ・ ・ イソチオシアナート基が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/20 ・ ・ ・ 飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 331/22 ・ ・ ・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 331/24 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 331/26 ・ ・ イソチオシアナート基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/28 ・ ・ イソチオシアナート基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 331/30 ・ ・ 同じ炭素骨格に結合するイソチオシアナート基を少なくとも 2 個以上含有するもの [ 5 ]
- 331/32 ・ ・ イソチオシアナート基がアシル化されたもの [ 5 ]
- 333/00 チオカルバミン酸の誘導体, すなわち以下のいずれかの基を含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{S}- \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{S}- \end{array},$$
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{O}- \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{Hal} \end{array},$$
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ -\text{N}=\text{C}-\text{S}- \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O}- \\ | \\ >\text{N}=\text{C}-\text{S}- \end{array} \text{ または }$$
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}=\text{C}-\text{Hal} \end{array} \text{ ( 窒素原子はニトロ基またはニトロソ基の一部ではない ) [ 5 ] }$$
- 333/02 ・ モノチオカルバミン酸; その誘導体 [ 5 ]
- 333/04 ・ ・ チオカルバミン酸基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/06 ・ ・ チオカルバミン酸基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]

- 333/08 ・ ・ チオカルバミン酸基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/10 ・ ・ チオカルバミン酸基の窒素原子が以下のいずれかの基の一部であるもの
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{S}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ -\text{O}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array},$$
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ \text{Hal}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{S}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array},$$
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ -\text{O}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \quad \begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ \text{Hal}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array} \text{ ( X は異種原子, Y は任意の原子を表わす ) 例 . N アシルチオカルバマート [ 5 ] }$$
- 333/12 ・ ・ チオカルバミン酸基の窒素原子が他の異種原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/14 ・ ジチオカルバミン酸; その誘導体 [ 5 ]
- 333/16 ・ ・ ジチオカルバミン酸の塩 [ 5 ]
- 333/18 ・ ・ ジチオカルバミン酸のエステル [ 5 ]
- 333/20 ・ ・ ・ ジチオカルバマート基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/22 ・ ・ ・ ジチオカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/24 ・ ・ ・ ジチオカルバマート基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/26 ・ ・ ・ 以下のいずれかの基を含有するもの
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ -\text{S}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array} \text{ または } \begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ -\text{S}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- ( X は異種原子, Y は任意の原子を表わす ) 例 . N アシルジチオカルバマート [ 5 ]
- 333/28 ・ ・ ・ ジチオカルバマート基の窒素原子が他の異種原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/30 ・ ・ ジチオカルバミン酸基の硫黄原子が他の硫黄原子に結合しているもの [ 5 ]
- 333/32 ・ ・ ・ チウラムスルフィド; チウラムポリスルフィド [ 5 ]
- 335/00 チオ尿素, すなわち以下のいずれかの基を含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N} < \end{array} \text{ または }$$
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ -\text{N}=\text{C}-\text{N} < \end{array} \text{ ( 窒素原子はニトロまたはニトロソ基の一部ではない ) [ 5 ] }$$
- 335/02 ・ チオ尿素 [ 5 ]
- 335/04 ・ チオ尿素の誘導体 [ 5 ]

- 335/06 ・チオ尿素基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 335/08 ・ ・ ・ 飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 335/10 ・ ・ ・ 不飽和炭素骨格の [ 5 ]
- 335/12 ・ ・ ・ ・ 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [ 5 ]
- 335/14 ・チオ尿素基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 335/16 ・チオ尿素基の窒素原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 335/18 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 335/20 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにニトロ基またはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [ 5 ]
- 335/22 ・ ・ ・ 炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたもの [ 5 ]
- 335/24 ・ ・ 以下のいずれかの基を含有するもの
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \text{または} \begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- ( X は異種原子, Y は任意の原子を表わす ) [ 5 ]
- 335/26 ・ ・ ・ Y は水素または炭素原子であるもの, 例 . ベンゾイルチオ尿素 [ 5 ]
- 335/28 ・ ・ ・ Y が異種原子であるもの, 例 . チオピウレット [ 5 ]
- 335/30 ・イソチオ尿素 [ 5 ]
- 335/32 ・ ・ イソチオ尿素基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 335/34 ・ ・ イソチオ尿素基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 335/36 ・ ・ イソチオ尿素基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 335/38 ・ ・ 以下のいずれかの基を含有するもの
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}-\text{C}=\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}=\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}, \text{または}$$
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ -\text{N}=\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- は ( X は異種原子, Y は任意の原子を表わす ) [ 5 ]
- 335/40 ・チオ尿素基またはイソチオ尿素基の窒素原子がさらに他の異種原子と結合しているもの [ 5 ]
- 335/42 ・ ・ スルホニルチオ尿素 ; スルホニルイソチオ尿素 [ 5 ]
- 335/44 ・ ・ スルフェニルチオ尿素 ; スルフェニルイソチオ尿素 [ 5 ]
- 337/00 その官能基の少なくとも 1 個の窒素原子が
- さらにニトロまたはニトロソ基の一部ではない他の窒素原子に結合しているグループ C 0 7 C 3 3 3 / 0 0 または C 0 7 C 3 3 5 / 0 0 に包含される官能基を含有するチオ炭酸誘導体 [ 5 ]
- 337/02 ・ 以下のいずれかの基を含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{S}- \end{array}, \begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}-\text{N}=\text{C}-\text{S}- \end{array},$$
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{O}- \end{array}, \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{S}- \end{array} \text{または}$$
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}-\text{N}=\text{C}-\text{O}- \end{array} \text{例 . チオカルバジン酸エステル [ 5 ]}$$
- 337/04 ・ ・ 上記他の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの [ 5 ]
- 337/06 ・ 以下のいずれかの基を含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}-\text{N} \begin{array}{l} \nearrow \\ \searrow \end{array} \end{array}, \begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}-\text{N}=\text{C}-\text{N} \begin{array}{l} \nearrow \\ \searrow \end{array} \end{array} \text{または}$$
- $$\begin{array}{c} \text{S}- \\ | \\ >\text{N}-\text{N}-\text{C}=\text{N}- \end{array} \text{例 . チオセミカルバジド [ 5 ]}$$
- 337/08 ・ ・ 上記他の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの, 例 . チオセミカルバゾン [ 5 ]
- 337/10 ・ 官能基の 2 個の窒素原子が互いに二重結合で結合しているもの [ 5 ]
- 381/00 炭素および硫黄を含有し, C 0 7 C 3 0 1 / 0 0 ~ C 0 7 C 3 3 7 / 0 0 のグループに包含されない官能基をもつ化合物 [ 5 ]
- 381/02 ・チオ硫酸エステル [ 5 ]
- 381/04 ・チオスルホン酸 [ 5 ]
- 381/06 ・ 2 個の窒素原子のみに結合している硫黄原子を含有する化合物 [ 5 ]
- 381/08 ・ ・ 少なくとも 1 個の窒素原子がアシル化されているもの [ 5 ]
- 381/10 ・ 窒素原子に二重結合で結合している硫黄原子を含有する化合物 [ 5 ]
- 381/12 ・スルホニウム化合物 [ 5 ]
- 381/14 ・ 異種原子に対する二重結合をもち, さらに酸素原子に対する二重結合をもつ硫黄原子に対して少なくとも 1 個の結合をもつ, 異種原子に対して 4 個の結合を有する炭素原子を含有する化合物 [ 5 ]
- 391/00 セレンを含有する化合物 [ 5 ]
- 391/02 ・ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているセレン原子をもつもの [ 5 ]
- 395/00 テルルを含有する化合物 [ 5 ]
- 401/00 コレステロールまたはその誘導体の照射産

	物；照射をせずに化学的製造によって得られたビタミンD誘導体，9，10 セコシクロペンタ〔a〕フェナントレンまたはその類似体〔5〕		
403/00	シクロヘキサン環またはシクロヘキセン環に直接結合した少なくとも4個の炭素原子よりなる非環式不飽和部分を含有する側鎖をもつシクロヘキサンまたはシクロヘキセン誘導体，例．ビタミンA，カロチン，イオノン〔5〕	409/14	・ ・ その炭素原子が6員芳香環以外の環に属するもの〔5〕
403/02	・ 側鎖が炭素と水素原子のみを含有するもの〔5〕	409/16	・ O - O - 基がさらに酸素で置換されていない2個の炭素原子の間に結合しているもの，すなわち，パーオキサイド〔5〕
403/04	・ 側鎖がハロゲン原子で置換されたもの〔5〕	409/18	・ ・ 少なくとも1個の炭素原子が6員芳香環以外の環に属するもの〔5〕
403/06	・ 側鎖が単結合の酸素原子で置換されたもの〔5〕	409/20	・ O - O - 基がさらに単結合の酸素原子で置換されている炭素原子に結合しているもの〔5〕
403/08	・ ・ 水酸基で置換されたもの〔5〕	409/22	・ ・ 炭素原子に結合している2個の - O - O - 基をもつもの〔5〕
403/10	・ ・ エーテル化された水酸基で置換されたもの〔5〕	409/24	・ O - O - 基が > C = O 基と水素原子との間に結合しているもの，すなわち過酸〔5〕
403/12	・ ・ エステル化された水酸基で置換されたもの〔5〕	409/26	・ ・ 過酢酸〔5〕
403/14	・ 側鎖が二重結合の酸素原子で置換されたもの〔5〕	409/28	・ ・ 1個の > C = O 基が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの〔5〕
403/16	・ ・ C H O 基の一部でないもの〔5〕	409/30	・ ・ 1個の > C = O 基が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの〔5〕
403/18	・ 側鎖が窒素原子で置換されたもの〔5〕	409/32	・ O - O - 基が2個の > C = O 基の間に結合しているもの〔5〕
403/20	・ 側鎖がカルボキシル基で置換されたもの〔5〕	409/34	・ ・ 両者ともカルボン酸に属しているもの〔5〕
403/22	・ 側鎖が硫黄原子で置換されたもの〔5〕	409/36	・ ・ ・ ジアセチルパーオキサイド〔5〕
403/24	・ 側鎖が6員非芳香環で置換されたもの，例．カロチン〔5〕	409/38	・ O - O - 基が > C = O 基とさらに酸素原子で置換されていない炭素原子との間に結合しているもの，すなわち，過酸のエステル〔5〕
405/00	互いにオルト位にある2個の側鎖と，その側鎖の1個の対するオルト位に環に直接結合する酸素原子をもつ5員環を含有する化合物であって，その1個の側鎖は，異種原子に対する3個の結合を有しそのうち多くても1個の結合はハロゲンに対する結合である炭素原子であって環に直接結合しないものを含有し，他の側鎖は環に対し の位置に結合する酸素原子を有するもの，例．プロスタグランジン〔5〕	409/40	・ 窒素原子を含有するもの〔5〕
407/00	パーオキシ化合物の製造〔5〕	409/42	・ 硫黄原子を含有するもの〔5〕
409/00	パーオキシ化合物〔5〕	409/44	・ ・ 硫黄原子が直接 - O - O - 基に結合しているもの，例．過スルホン酸〔5〕
409/02	・ - O - O - 基が，さらに酸素で置換されていない炭素原子と水素原子との間に結合しているもの，すなわちハイドロパーオキサイド〔5〕		
409/04	・ ・ その炭素原子が非環式のもの〔5〕		
409/06	・ ・ ・ 6員芳香環以外の環を含有する化合物〔5〕		
409/08	・ ・ ・ 6員芳香環を含有する化合物〔5〕		
409/10	・ ・ ・ ・ クメンハイドロパーオキシド〔5〕		
409/12	・ ・ ・ ・ 2個の ， ジアルキルメチル		